

# 介護予防・日常生活圏域二一ズ調査

## 報 告 書

令和 2 年 3 月

北 広 島 市



---

---

## 目 次

---

---

<b>1. アンケート調査概要と回収結果</b>	<b>1</b>
1.1 アンケート調査概要	1
1.2 アンケート回収結果	1
1.3 調査結果の見方	1
<b>2. アンケート調査結果</b>	<b>2</b>
2.1 回答者の属性	2
2.2 家族構成や生活状況について	3
2.3 健康について	11
2.4 からだを動かすことについて	20
2.5 食べることについて	32
2.6 毎日の生活について	42
2.7 地域での活動について	63
2.8 たすけあいについて	74
2.9 認知症にかかる相談窓口の把握について	88
<b>【参考資料】</b>	
令和元年度介護予防・日常生活圏域ニーズ調査票	92

# 1. アンケート調査概要と回収結果

---

## 1. 1 アンケート調査概要

### (1) 調査目的

本調査は、高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画策定にあたり基礎資料とすることを目的とした。

### (2) 調査対象

65歳以上の北広島市民3,000人（※要介護1・2・3・4・5認定者を除く）。

### (3) 調査方法

- ・「住民基本台帳」から対象者を無作為に抽出し、郵送による調査票の送付・回収を行った。
- ・調査期間は、令和元年12月13日（発送）～12月27日（投函締切り）とした。

### (4) 調査基準日

令和元年10月1日現在

## 1. 2 アンケート回収結果

調査票回収数：2,239票（回収率：74.6%） ※令和2年1月23日までの回収分を集計

## 1. 3 調査結果の見方

（集計結果）

- ・各質問に対する回答割合（%）は、無回答分を含めた回答者を母数として算出している。
- ・各質問の回答規則に反する回答は「無効回答」として除外しているため、母数が調査分析対象数（2,239票）と同じにならない場合がある。
- ・集計結果の割合は、すべて小数点以下第二位を四捨五入して、少数点以下第一位までを表示している。そのため、単数回答の回答比率の合計が100%にならない場合がある。
- ・複数回答の質問では、質問に対する回答者数を母数として回答割合を算出しているため、合計が100%を超える場合がある。

（回答者属性）

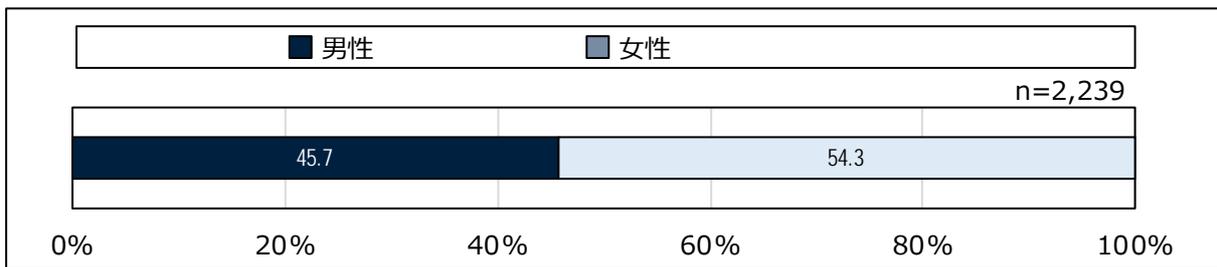
- ・回答者の属性（性別・年齢・要介護度・生活圏域）は、アンケート調査票に付与した番号と結びつけられた属性により集計している。
- ・「事業対象者」は介護予防・日常生活総合支援事業の対象者のうち、新たに導入された基本チェックリストによる判定で、要介護・要支援となるリスクが高いと判定された者を表わしている。なお、「事業対象者」は要介護度に含まれないが、本書では要介護度のなかで整理して示している。

## 2. アンケート調査結果

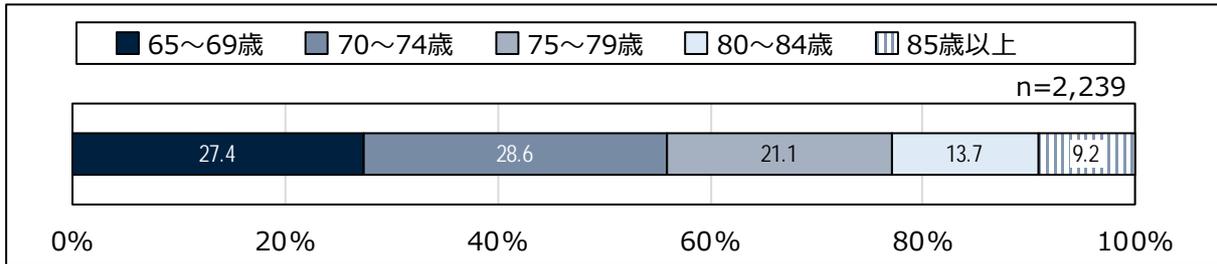
### 2. 1 回答者の属性

- ・性別は、「男性」と「女性」がそれぞれ約5割となっている。
- ・年齢は、前期高齢者（65～74歳）が約6割、後期高齢者（75歳以上）が約4割となっている。
- ・要介護度は、「自立」が約9割を占めている。
- ・生活圏域は、「西地区」「東部地区」がそれぞれ約3割、「北広島団地A地区」「北広島団地B地区」がそれぞれ約2割、「西の里地区」が約1割となっている。

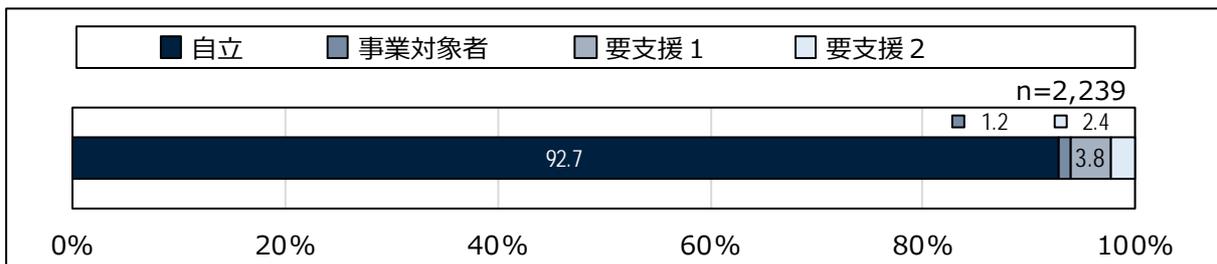
図表 2-1-1 性別



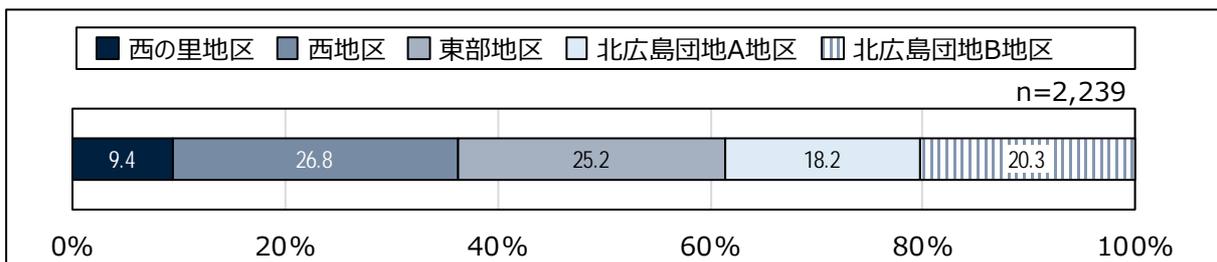
図表 2-1-2 年齢



図表 2-1-3 要介護度



図表 2-1-4 生活圏域

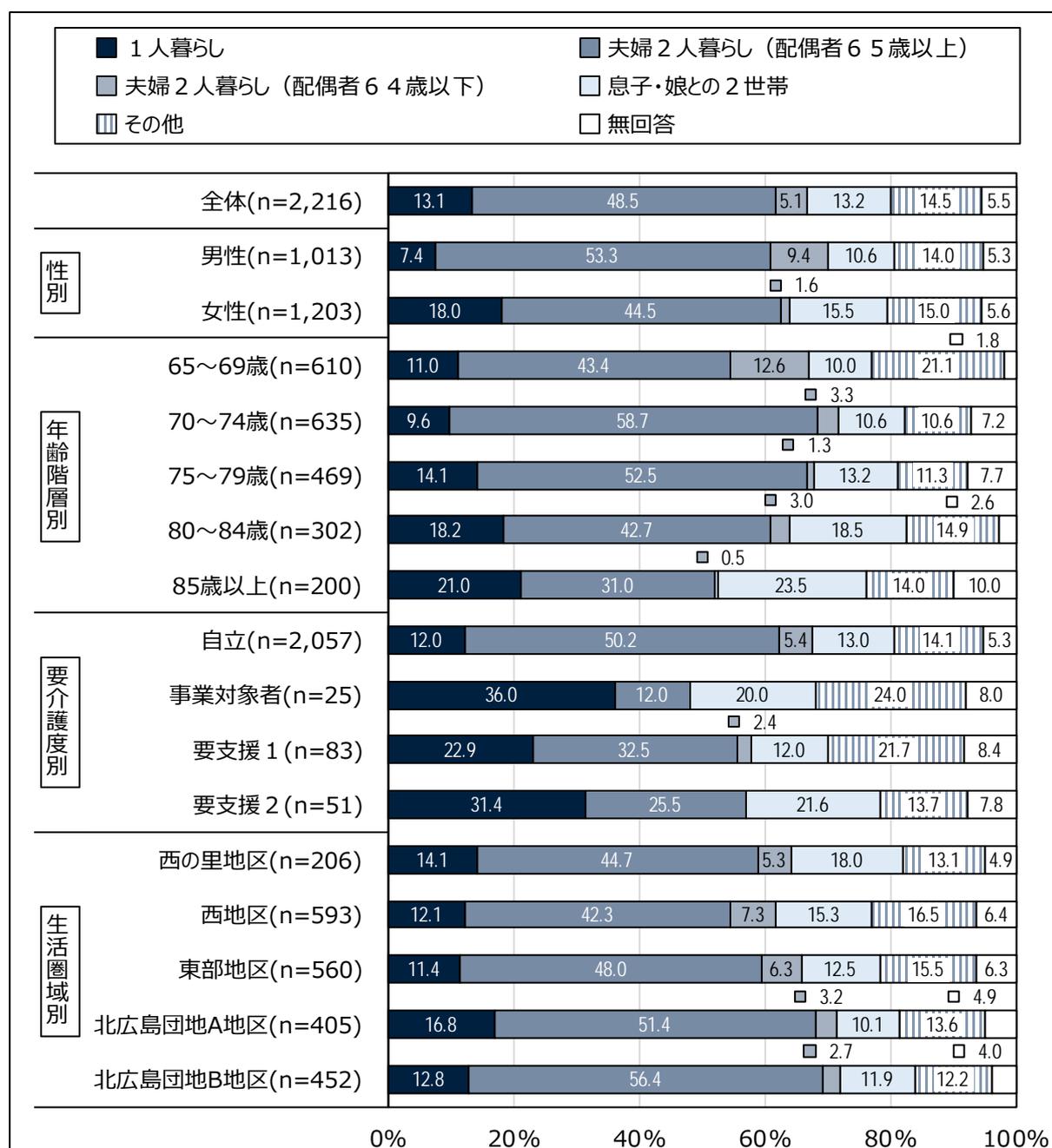


## 2. 2 家族構成や生活状況について

### 問1. (1) 家族構成を教えてください。

- 全体では、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が約5割で最も高くなっており、「1人暮らし」と合わせて約6割が高齢者のみの世帯となっている。
- 年齢階層別にみると、70歳以上は年齢が高くなるにつれて、「1人暮らし」と「息子・娘との2世帯」の割合が高くなり、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」の割合が低くなっている。
- 要介護度別にみると、自立と要支援1は「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」、事業対象者と要支援2は「1人暮らし」の割合が最も高くなっている。

図表 2-2-1 家族構成

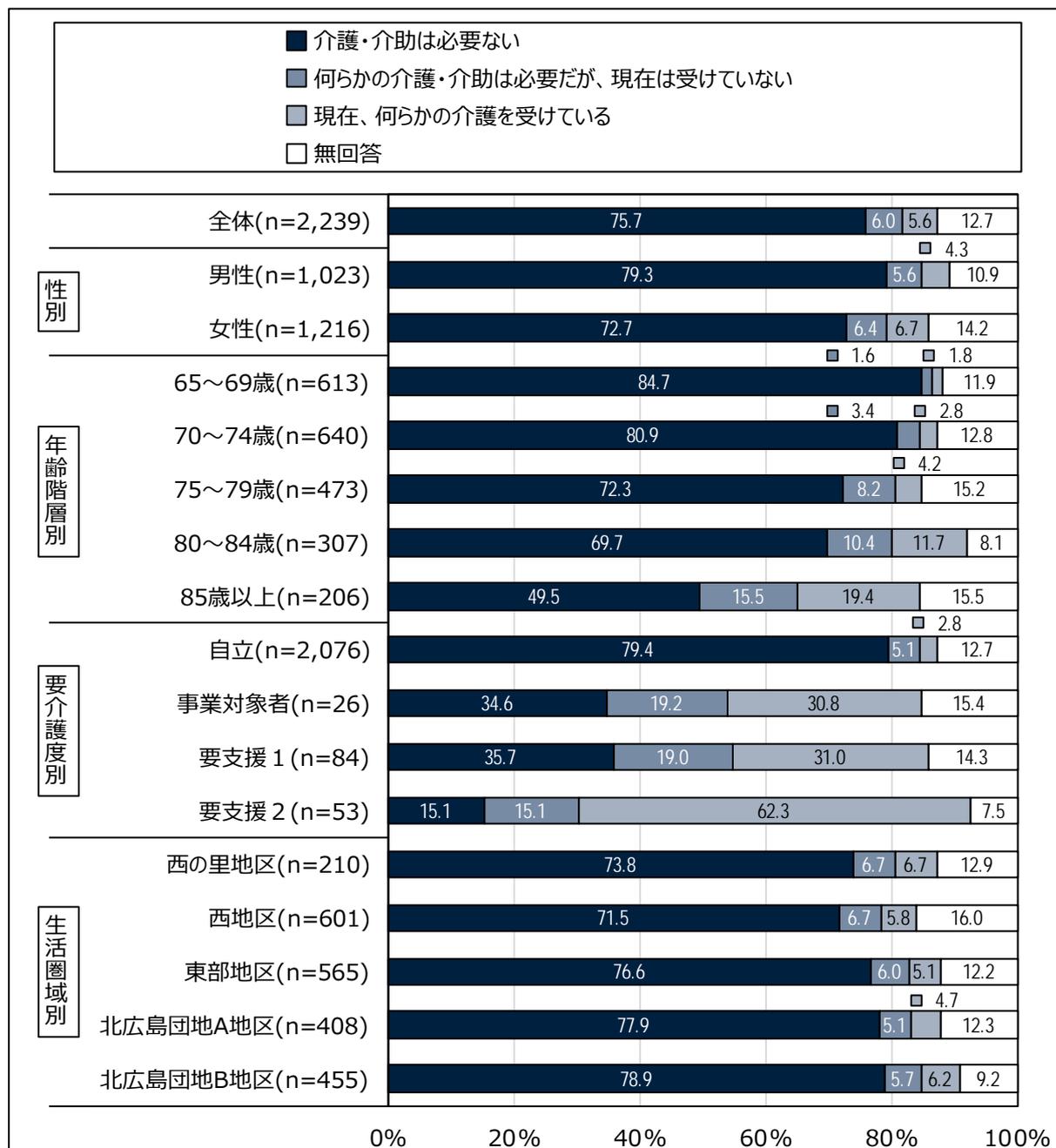


## 問1. (2) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか

※「現在、何らかの介護を受けている」は、介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も該当

- 全体では、「介護・介助は必要ない」が約8割を占めている。
- 年齢階層別にみると、年齢が高くなるにつれて「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」「現在、何らかの介護・介助を受けている」の割合が高くなっている。
- 要介護度別にみると、事業対象者以上は「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が約2割で自立と比べて高くなっている。

図表 2-2-2 普段の生活でどなたかの介護・介助が必要か

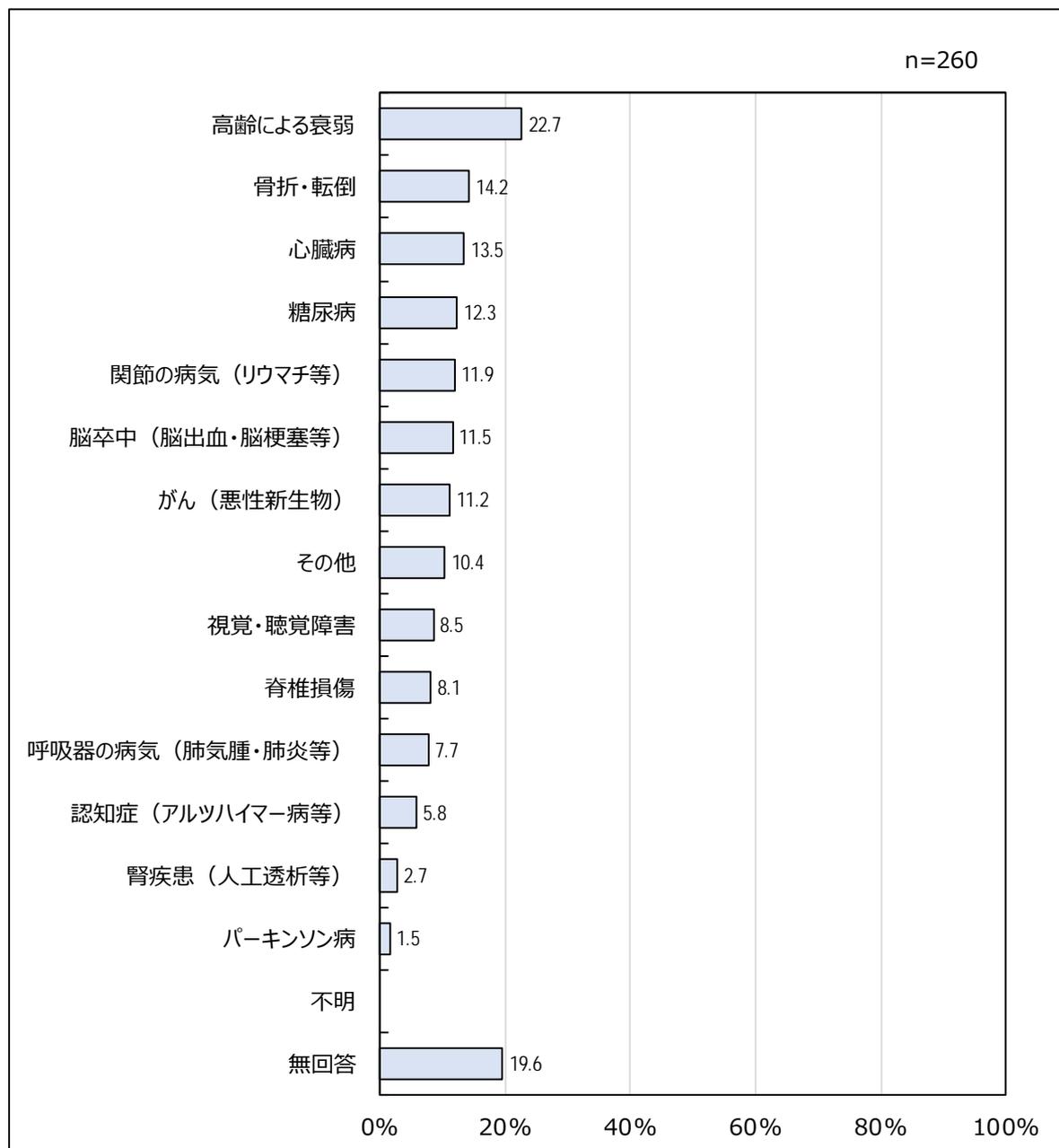


**問1. (2) - 1. 介護・介助が必要になった主な原因は何ですか**

※問1(2)で「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」又は「現在、何らかの介護を受けている」を選択した方が回答

- 全体では、「高齢による衰弱」が約2割で最も高く、そのほか「骨折・転倒」「心臓病」「糖尿病」「関節の病気(リウマチ等)」「脳卒中(脳出血・脳梗塞等)」「がん(悪性新生物)」「その他」が1割以上となっている。
- 年齢階層別にみると、70歳以上は年齢が高くなるにつれて「心臓病」「高齢による衰弱」の割合が高くなっている。
- 要介護度別にみると、要介護度が高くなるにつれて「脳卒中」「骨折・転倒」の割合が高くなっている。

図表 2-2-3 介護・介助が必要になった主な原因(全体)



図表 2-2-4 介護・介助が必要になった主な原因(属性別)

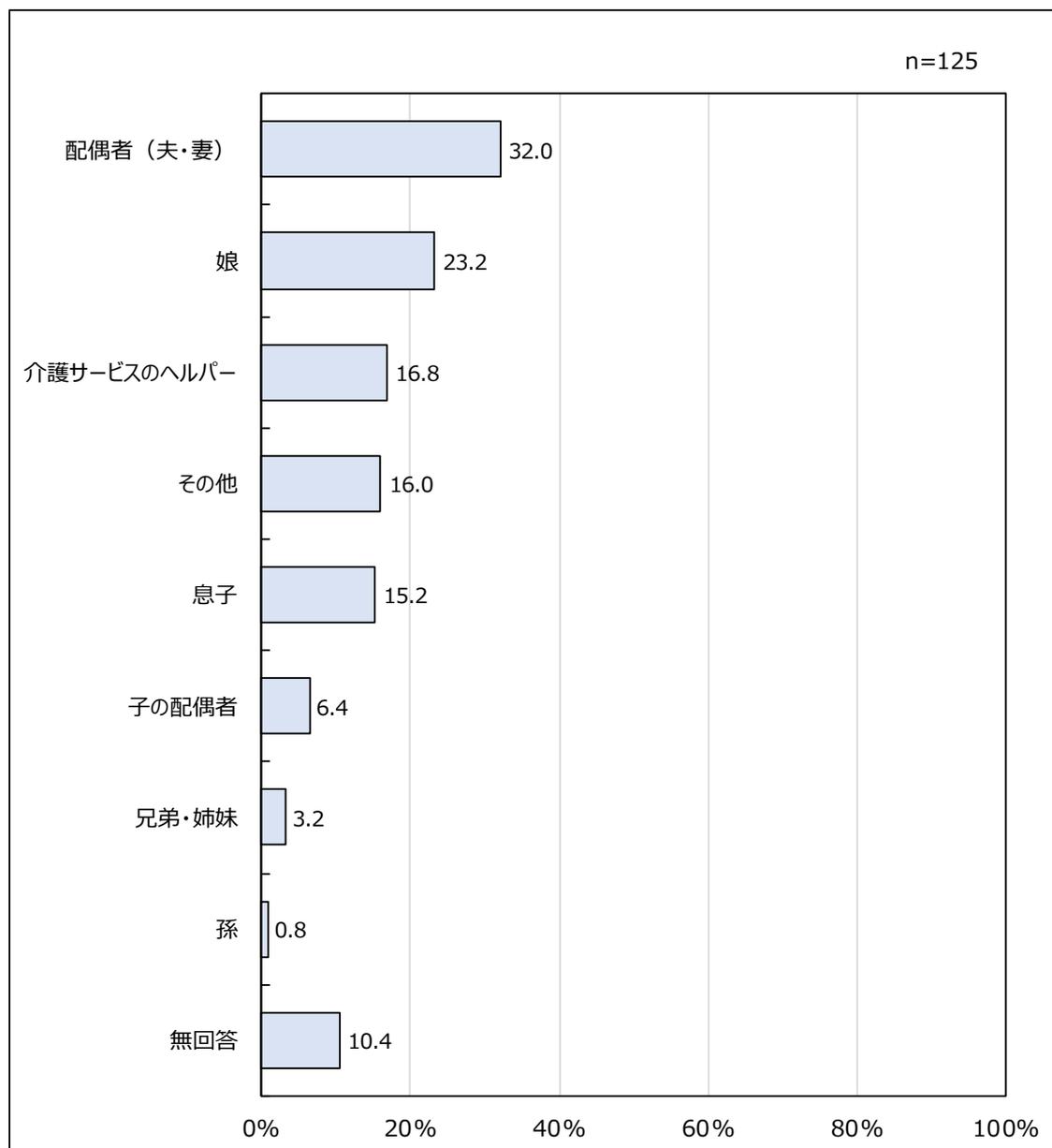
	脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)	心臓病	がん (悪性新生物)	呼吸器の病 気(肺炎等)	関節の病 気(リウマチ等)	認知症 (アルツハイマ ー病等)	パーキン ソン病	糖尿 病	腎疾 患(人工透 析等)	視覚・ 聴覚障 害	骨折・ 転倒	脊 椎損 傷	高 齢に よる 衰 弱	不 明	そ の 他	無 回 答	(%)
全体 (n=260)	11.5	13.5	11.2	7.7	11.9	5.8	1.5	12.3	2.7	8.5	14.2	8.1	22.7	-	10.4	19.6	
性別																	
男性 (n=101)	14.9	15.8	12.9	13.9	10.9	5.9	2.0	14.9	5.0	10.9	6.9	5.0	20.8	-	10.9	16.8	
女性 (n=159)	9.4	11.9	10.1	3.8	12.6	5.7	1.3	10.7	1.3	6.9	18.9	10.1	23.9	-	10.1	21.4	
年齢階層別																	
65～69歳 (n=21)	19.0	9.5	19.0	9.5	4.8	-	-	9.5	4.8	4.8	-	9.5	9.5	-	9.5	19.0	
70～74歳 (n=40)	17.5	2.5	7.5	10.0	15.0	2.5	-	10.0	5.0	10.0	12.5	7.5	2.5	-	7.5	30.0	
75～79歳 (n=59)	6.8	10.2	15.3	6.8	11.9	1.7	-	18.6	3.4	13.6	16.9	6.8	16.9	-	6.8	22.0	
80～84歳 (n=68)	11.8	17.6	16.2	8.8	10.3	11.8	2.9	19.1	2.9	5.9	11.8	7.4	25.0	-	16.2	19.1	
85歳以上 (n=72)	9.7	19.4	2.8	5.6	13.9	6.9	2.8	2.8	-	6.9	19.4	9.7	40.3	-	9.7	12.5	
要介護度別																	
自立 (n=164)	7.9	9.8	10.4	7.3	11.0	6.1	1.8	12.8	3.7	9.8	8.5	6.1	18.9	-	6.1	27.4	
事業対象者 (n=13)	15.4	7.7	15.4	15.4	-	7.7	-	7.7	-	15.4	15.4	7.7	15.4	-	23.1	7.7	
要支援1 (n=42)	16.7	16.7	14.3	9.5	16.7	7.1	-	16.7	2.4	4.8	21.4	7.1	28.6	-	16.7	9.5	
要支援2 (n=41)	19.5	26.8	9.8	4.9	14.6	2.4	2.4	7.3	-	4.9	29.3	17.1	34.1	-	17.1	2.4	
生活圏域別																	
西の里地区 (n=28)	10.7	17.9	3.6	-	10.7	-	7.1	10.7	-	3.6	3.6	10.7	25.0	-	7.1	35.7	
西地区 (n=75)	12.0	10.7	13.3	8.0	10.7	9.3	-	16.0	2.7	5.3	13.3	6.7	21.3	-	10.7	17.3	
東部地区 (n=63)	14.3	19.0	6.3	11.1	15.9	6.3	1.6	11.1	3.2	9.5	14.3	7.9	22.2	-	4.8	19.0	
北広島団地A地区 (n=40)	10.0	7.5	12.5	5.0	12.5	5.0	2.5	7.5	-	12.5	17.5	7.5	25.0	-	15.0	17.5	
北広島団地B地区 (n=54)	9.3	13.0	16.7	9.3	9.3	3.7	-	13.0	5.6	11.1	18.5	9.3	22.2	-	14.8	16.7	

## 問1. (2) - 2. 主にどなたの介護・介助を受けていますか

※問1(2)で「現在、何らかの介護・介助を受けている」を選択した方が回答

- 全体では、「配偶者(夫・妻)」が約3割で最も高く、次いで「娘」「介護サービスのヘルパー」となっている。
- 性別にみると、男性は「配偶者(夫・妻)」の割合が女性に比べて高くなっている。また、女性は「息子」「娘」の割合が男性に比べて高くなっている。
- 年齢階層別にみると、70代は「配偶者(夫・妻)」の割合が高く、80歳以上は「娘」の割合が他の年齢階層と比べて高くなっている。
- 要介護度別にみると、要介護度が高くなるにつれて、「息子」の割合が高くなり、「配偶者(夫・妻)」の割合が低くなっている。また、要支援1以上では「介護サービスのヘルパー」の割合が自立や事業対象者と比べて高くなっている。

図表 2-2-5 主な介護・介助者(全体)



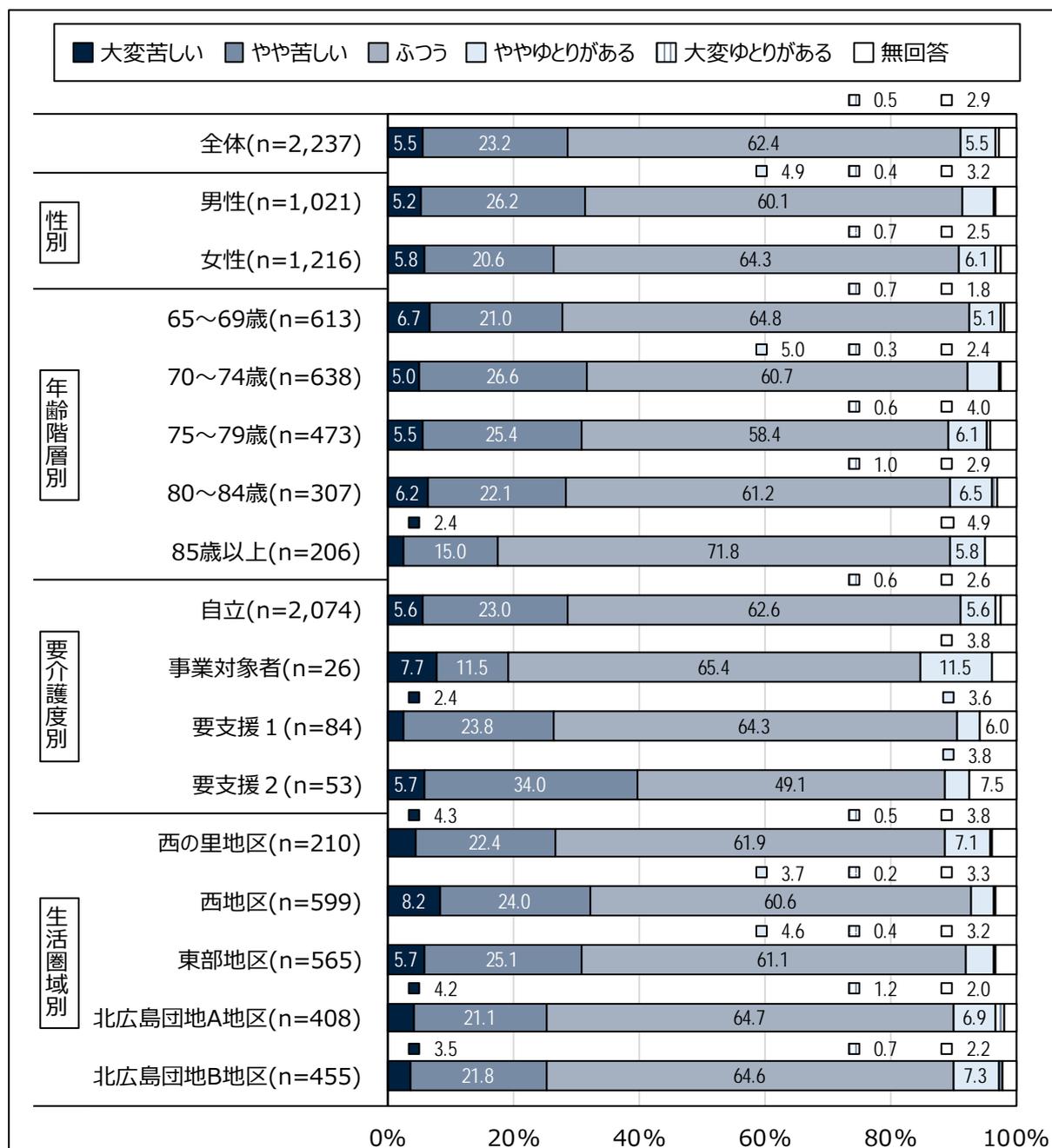
図表 2-2-6 主な介護・介助者（属性別）

	(%)								
	配偶者 (夫・妻)	息子	娘	子の 配偶者	孫	兄弟・ 姉妹	介護サ ービス のヘル パー	その他	無 回 答
全体 (n=125)	32.0	15.2	23.2	6.4	0.8	3.2	16.8	16.0	10.4
性別									
男性 (n=44)	45.5	2.3	18.2	-	-	4.5	15.9	9.1	18.2
女性 (n=81)	24.7	22.2	25.9	9.9	1.2	2.5	17.3	19.8	6.2
年齢階層別									
65～69歳 (n=11)	36.4	-	-	-	-	18.2	-	45.5	-
70～74歳 (n=18)	55.6	22.2	16.7	5.6	-	5.6	16.7	5.6	11.1
75～79歳 (n=20)	55.0	10.0	15.0	10.0	-	5.0	15.0	5.0	10.0
80～84歳 (n=36)	33.3	16.7	36.1	2.8	-	-	22.2	16.7	5.6
85歳以上 (n=40)	7.5	17.5	25.0	10.0	2.5	-	17.5	17.5	17.5
要介護度別									
自立 (n=58)	50.0	10.3	19.0	5.2	-	6.9	5.2	13.8	6.9
事業対象者 (n=8)	25.0	12.5	62.5	-	-	-	12.5	37.5	-
要支援1 (n=26)	23.1	19.2	23.1	7.7	-	-	30.8	15.4	19.2
要支援2 (n=33)	9.1	21.2	21.2	9.1	3.0	-	27.3	15.2	12.1
生活圏域別									
西の里地区 (n=14)	14.3	14.3	7.1	14.3	-	7.1	28.6	21.4	21.4
西地区 (n=35)	22.9	17.1	28.6	8.6	2.9	-	5.7	20.0	8.6
東部地区 (n=29)	37.9	17.2	24.1	-	-	-	17.2	13.8	13.8
北広島団地A地区 (n=19)	31.6	15.8	21.1	5.3	-	5.3	21.1	15.8	5.3
北広島団地B地区 (n=28)	46.4	10.7	25.0	7.1	-	7.1	21.4	10.7	7.1

### 問1. (3) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどのように感じていますか

- 全体では、「ふつう」が約6割で最も高くなっている。『ゆとりがある（ややゆとりがある・大変ゆとりがあるの合計）』が約1割であるのに対し、『苦しい（大変苦しい・やや苦しいの合計）』が約3割となっている。
- 年齢階層別にみると、85歳以上は「ふつう」が約7割で他の年齢階層と比べて高く、『苦しい（大変苦しい、やや苦しい）』が約2割で他の年齢階層と比べて低くなっている。
- 要介護度別にみると、要支援2は『苦しい（大変苦しい、やや苦しい）』が約4割で他の要介護度と比べて高くなっている。

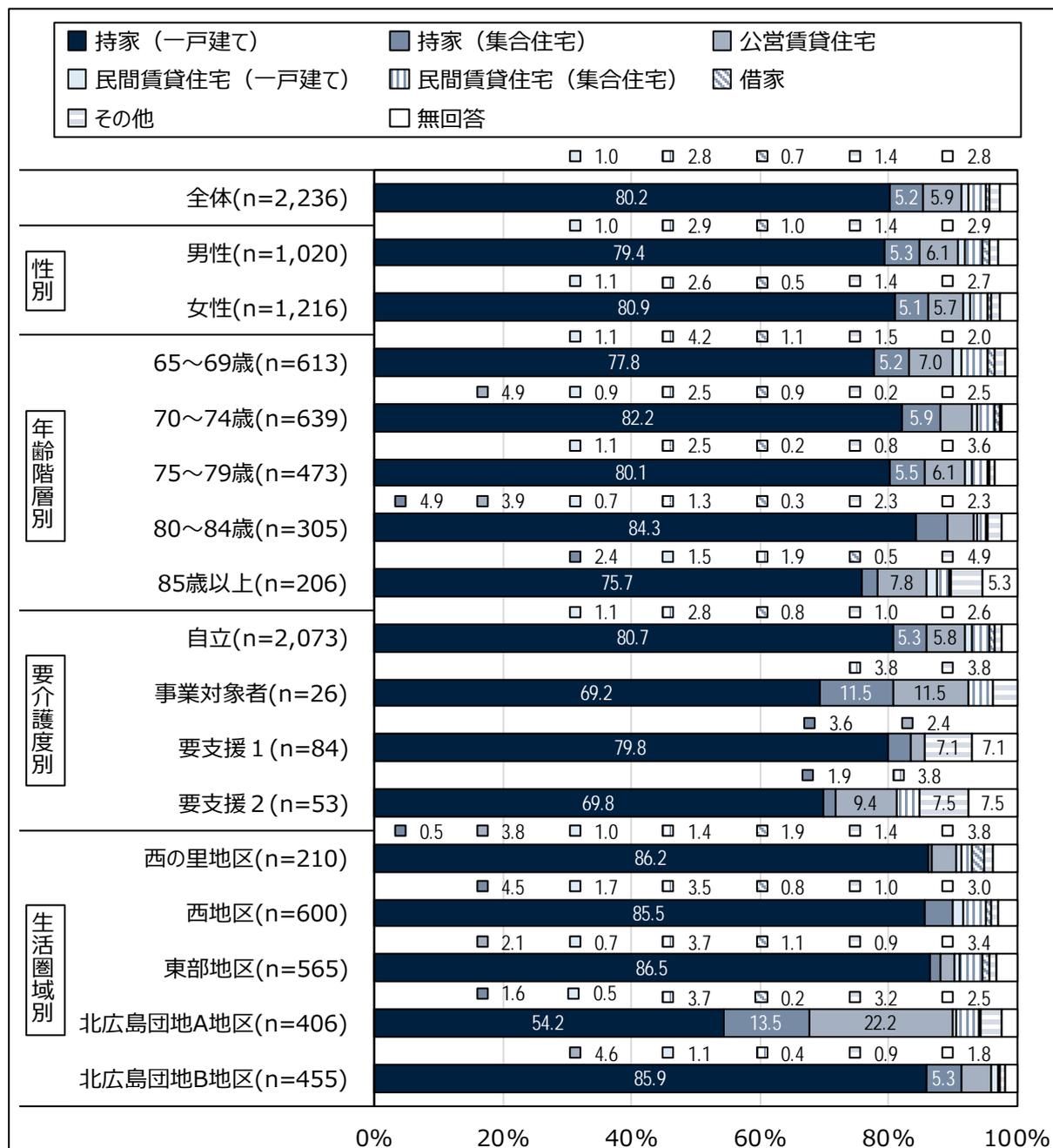
図表 2-2-7 現在の暮らしにおける経済的な状況



問1. (4) お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか

- ・全体では、「持家（一戸建て）」が約8割で最も高くなっている。
- ・要介護度別にみると、事業対象者と要支援2は「持家（一戸建て）」が約7割で自立と要支援1と比べて低くなっている。
- ・生活圏域別にみると、北広島団地A地区は「持家（集合住宅）」「公営賃貸住宅」の割合が他の生活圏域と比べて高く、「持家（一戸建て）」の割合が他の生活圏域と比べて低くなっている。

図表 2-2-8 現在の住まい



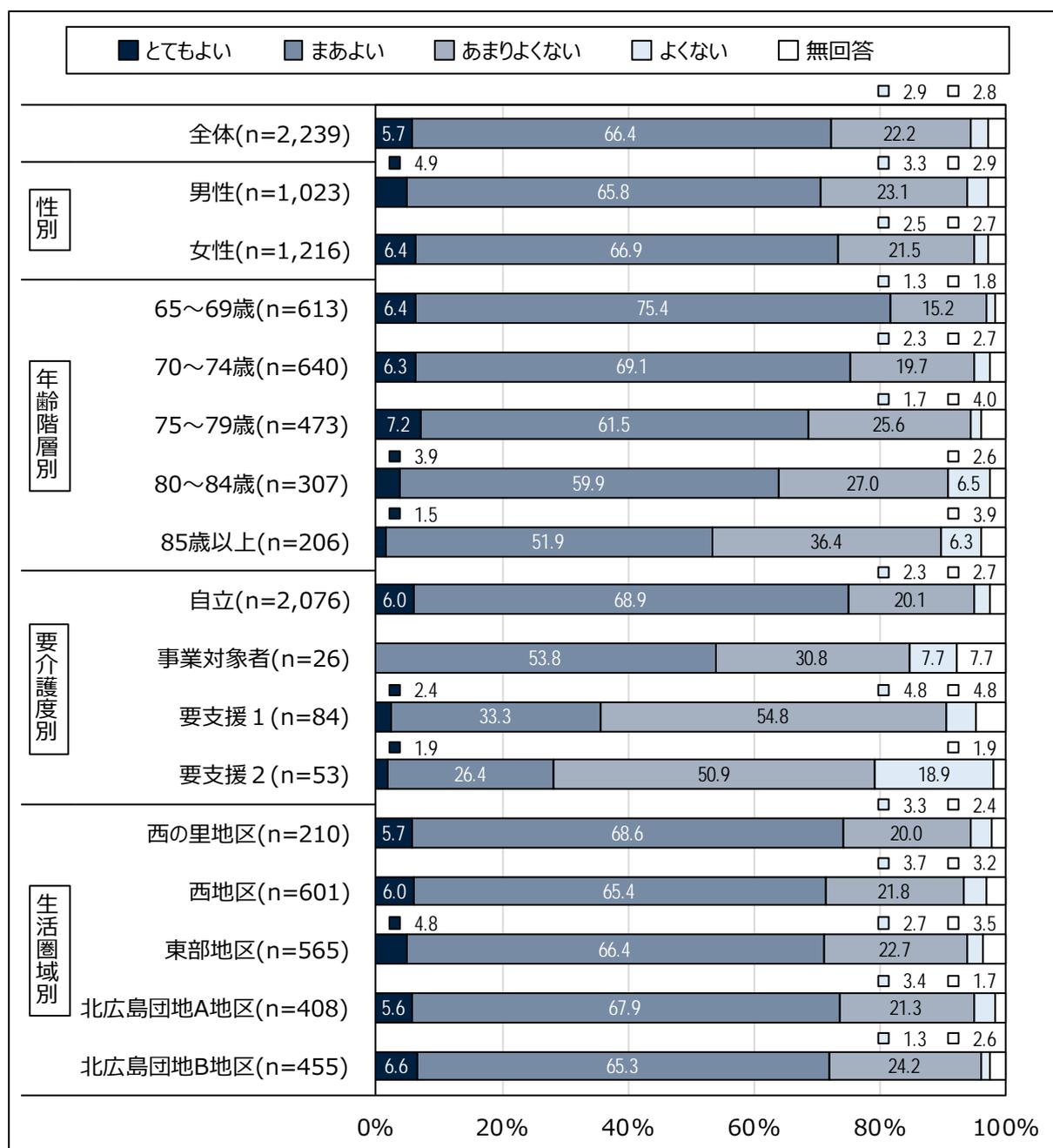


## 2. 3 健康について

### 問2. (1) 現在のあなたの健康状況はいかがですか

- ・全体では、『よい（とてもよい・まあよいの合計）』は約7割、『よくない（あまりよくない・よくないの合計）』は約3割となっている。
- ・年齢階層別にみると、年齢が高くなるにつれて『よい（とてもよい・まあよいの合計）』の割合が低くなり、85歳以上では約5割となっている。
- ・要介護度別にみると、要介護度が高くなるにつれて『よい（とてもよい・まあよいの合計）』の割合が低くなり、要支援2では約3割となっている。

図表 2-3-1 現在の健康状況

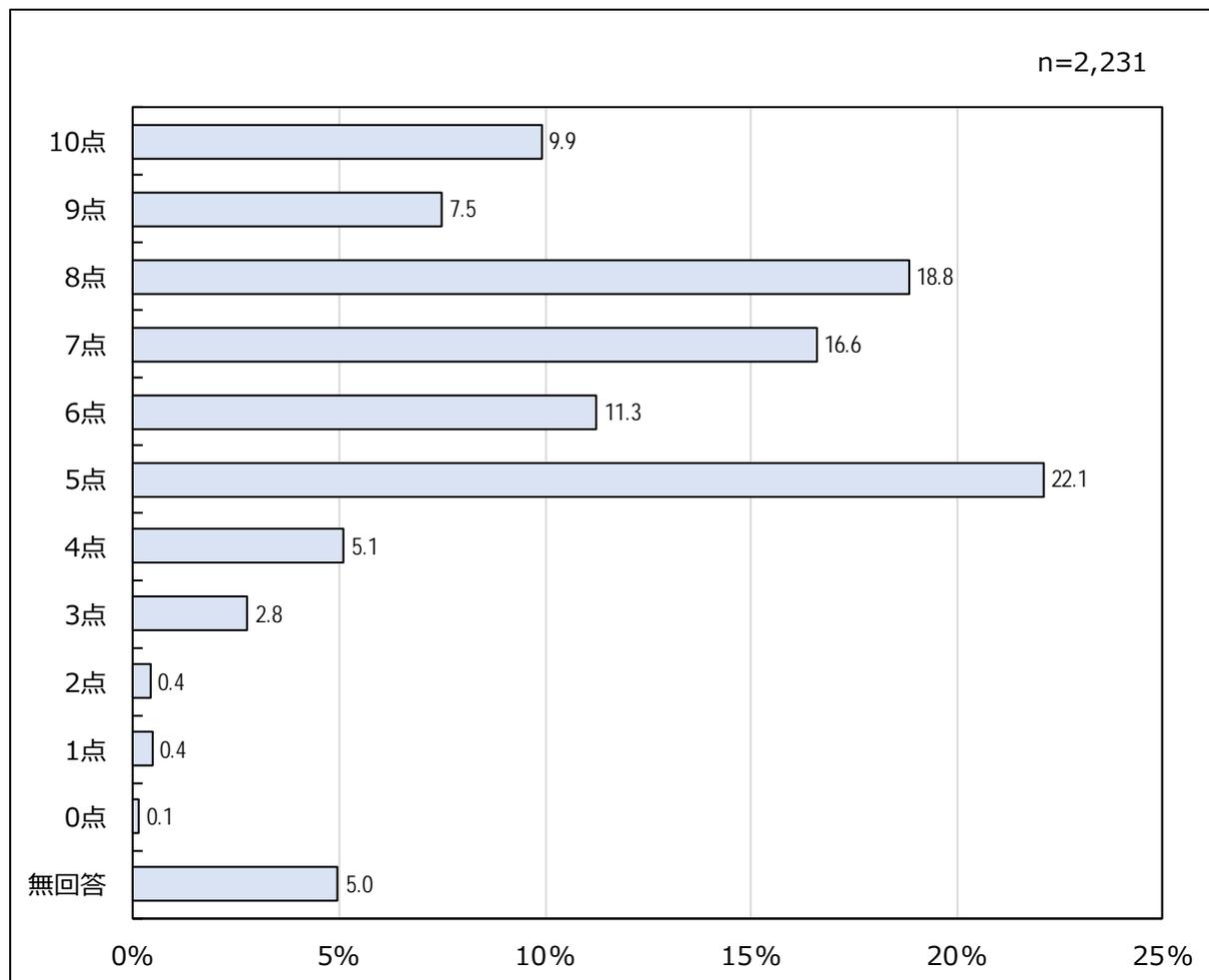


## 問2. (2) あなたは現在どの程度幸せですか

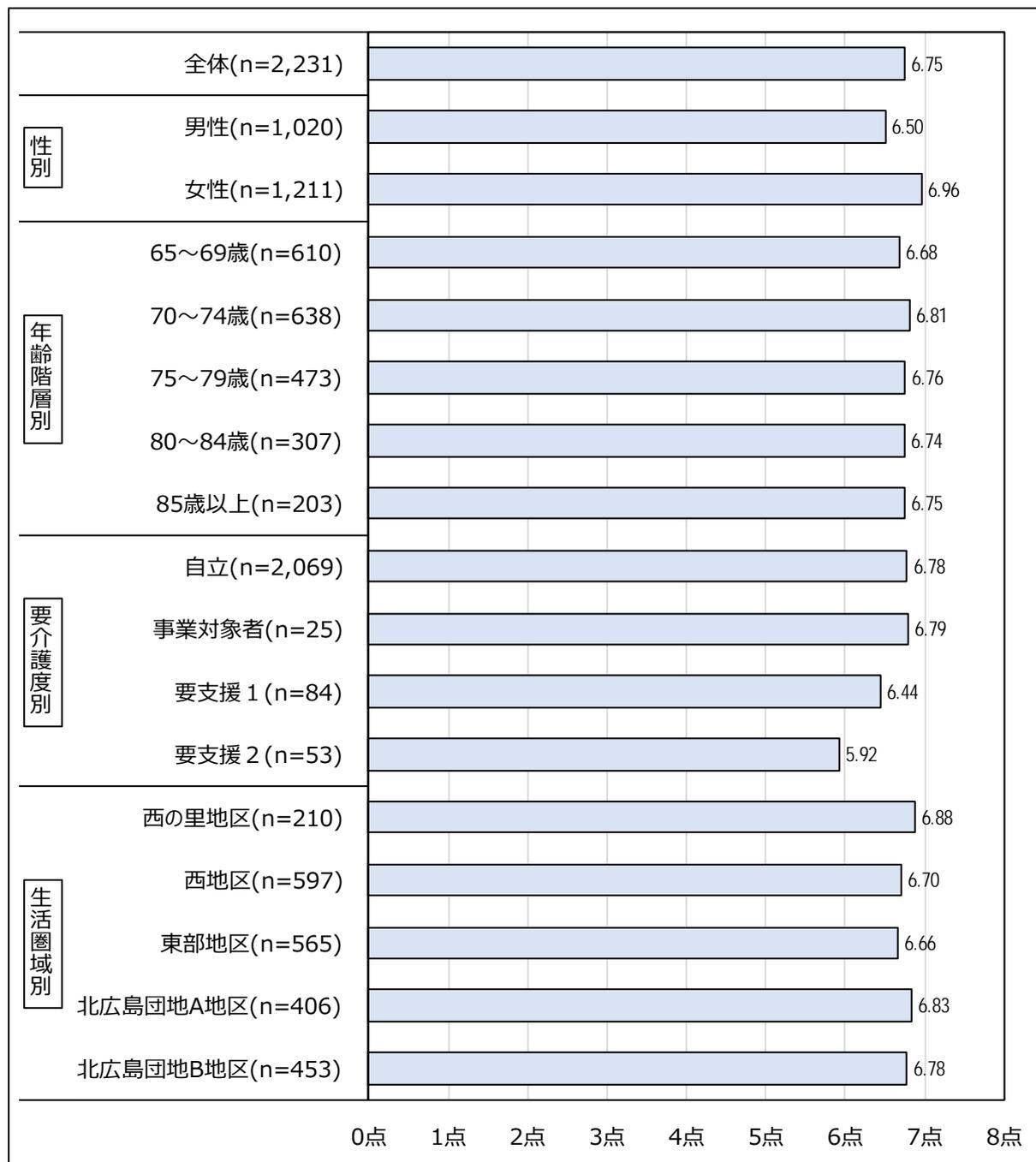
※「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として回答

- 全体では、「5点」が約2割で最も高く、5点以上が約9割を占めている。
- 平均点をみると、全体の平均点は6.75点となっている。属性別では、要支援2が5.92点で他の要介護度と比べて低くなっている。

図表 2-3-2 現在の幸福度



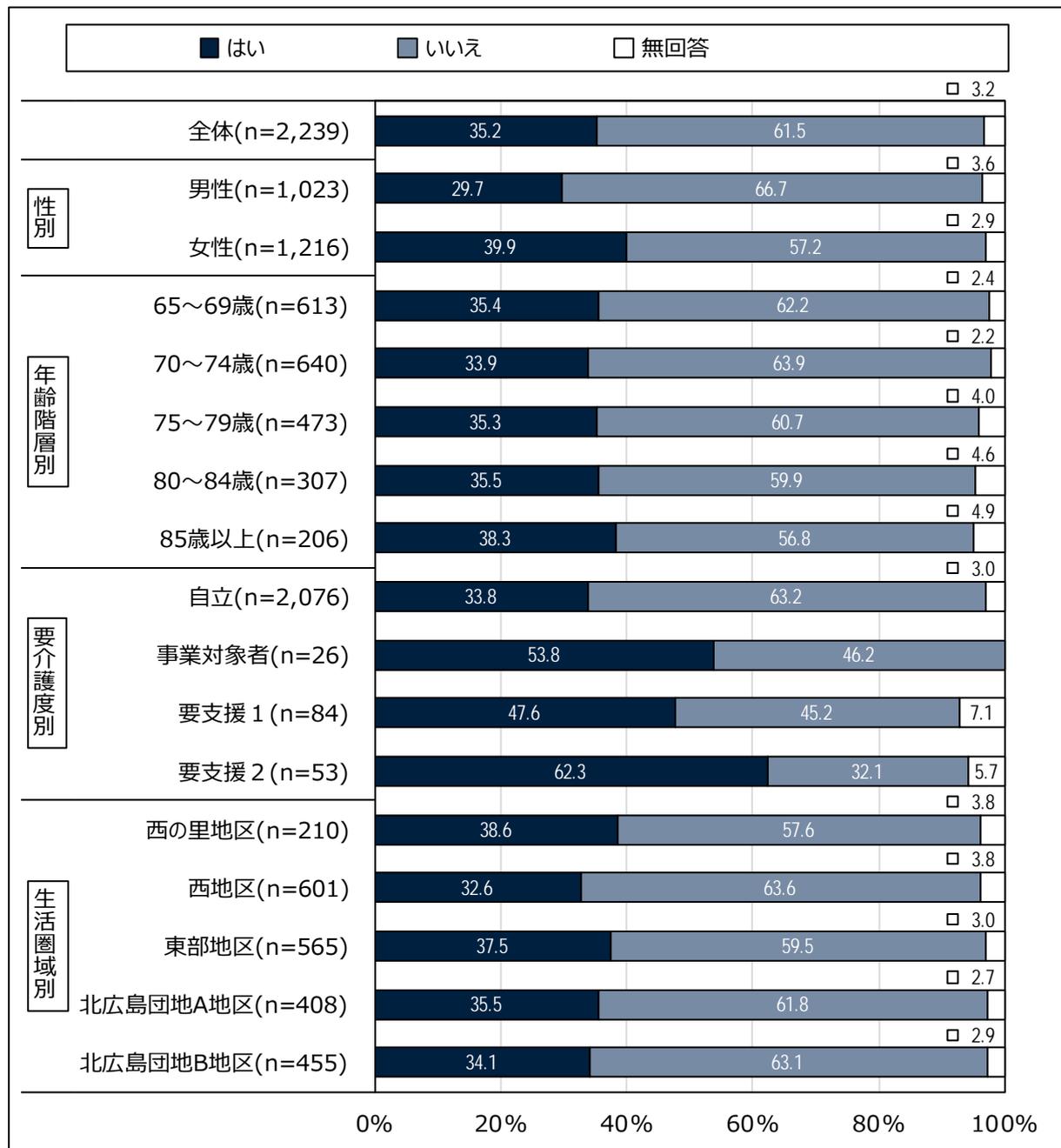
図表 2-3-3 現在の幸福度の平均点（属性別）



問2. (3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか

- 全体では、「はい」が約4割、「いいえ」が約6割となっている。
- 要介護度別にみると、事業対象者以上は「はい」が4割以上で自立と比べて高くなっている。

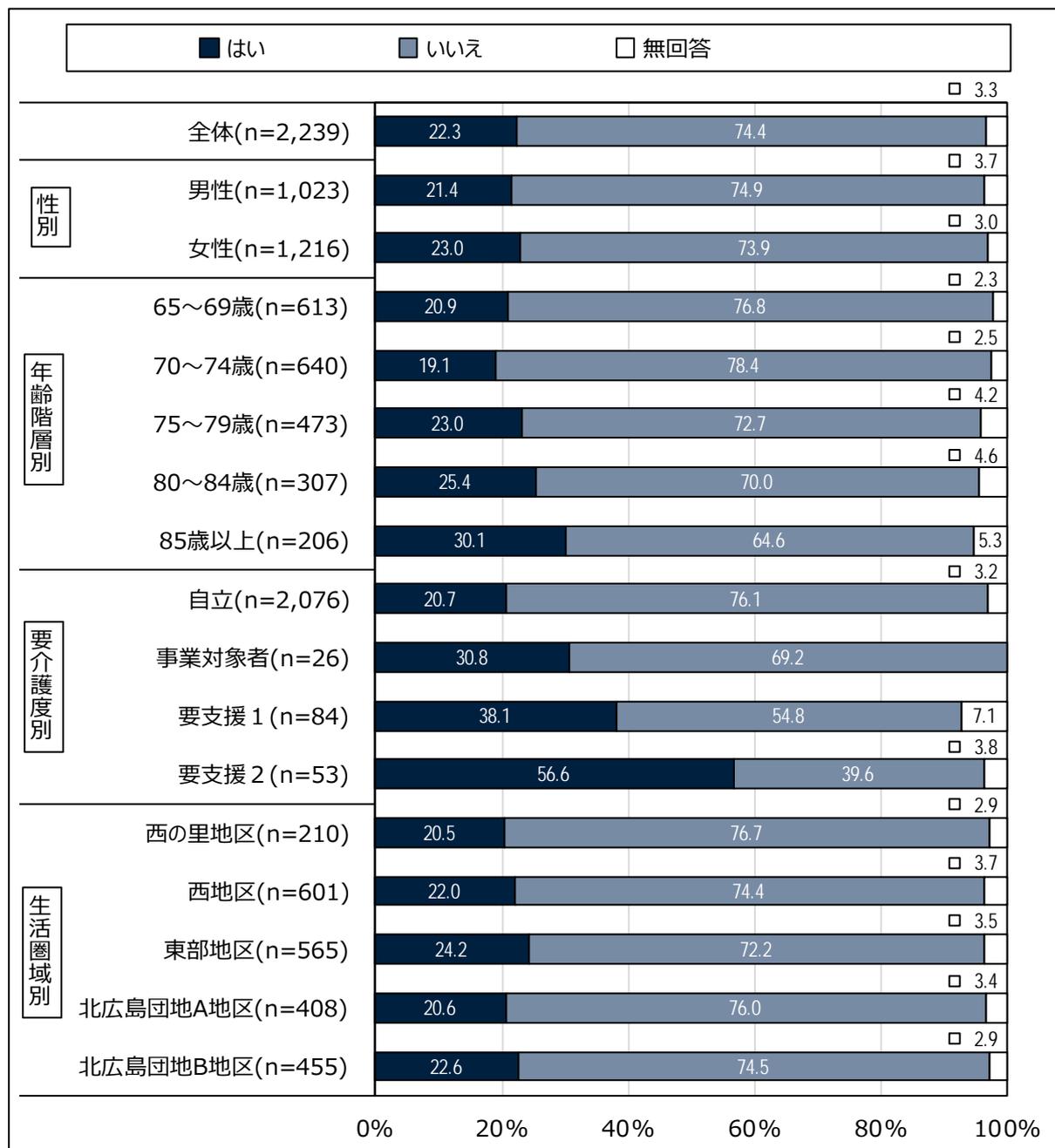
図表 2-3-4 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがあるか



問2. (4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか

- 全体では、「はい」が約2割、「いいえ」が約7割となっている。
- 年齢階層別にみると、70歳以上は年齢が高くなるにつれて「はい」の割合が高くなっている。
- 要介護度別にみると、要介護度が高くなるにつれて「はい」の割合が高くなり、要支援2では約6割となっている。

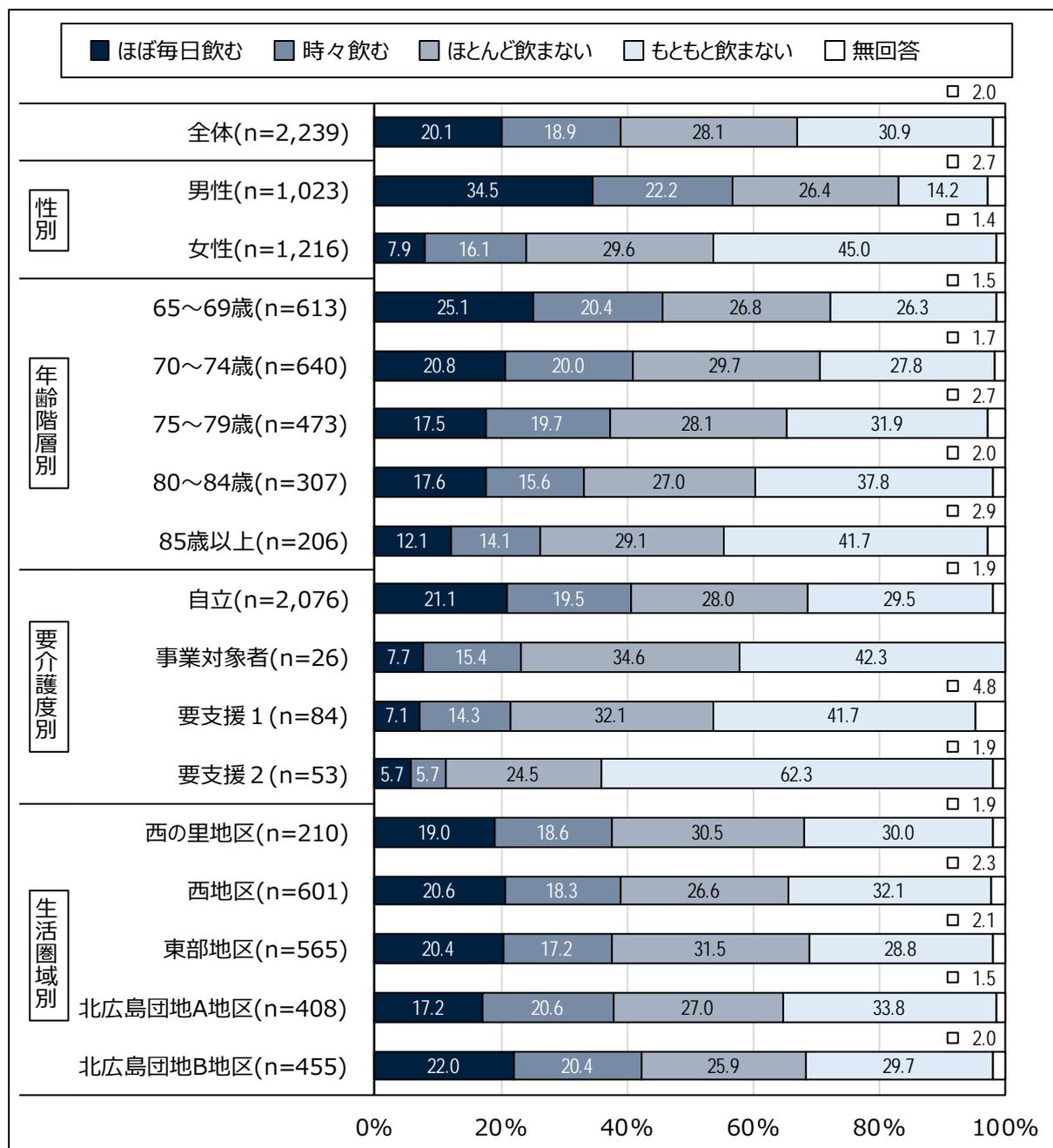
図表 2-3-5 この1か月間、物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくあったか



## 問2. (5) お酒は飲みますか

- 全体では、『飲む（ほぼ毎日飲む・時々飲むの合計）』が約4割、『飲まない（ほとんど飲まない・もともと飲まないの合計）』が約6割となっている。
- 性別にみると、男性は『飲む（ほぼ毎日飲む・時々飲むの合計）』が約6割で女性と比べて高くなっている。
- 年齢階層別にみると、年齢が高くなるにつれて『飲む（ほぼ毎日飲む・時々飲むの合計）』の割合が低くなっている。
- 要介護度別にみると、要介護度が高くなるにつれて『飲む（ほぼ毎日飲む・時々飲むの合計）』の割合が低くなっている。

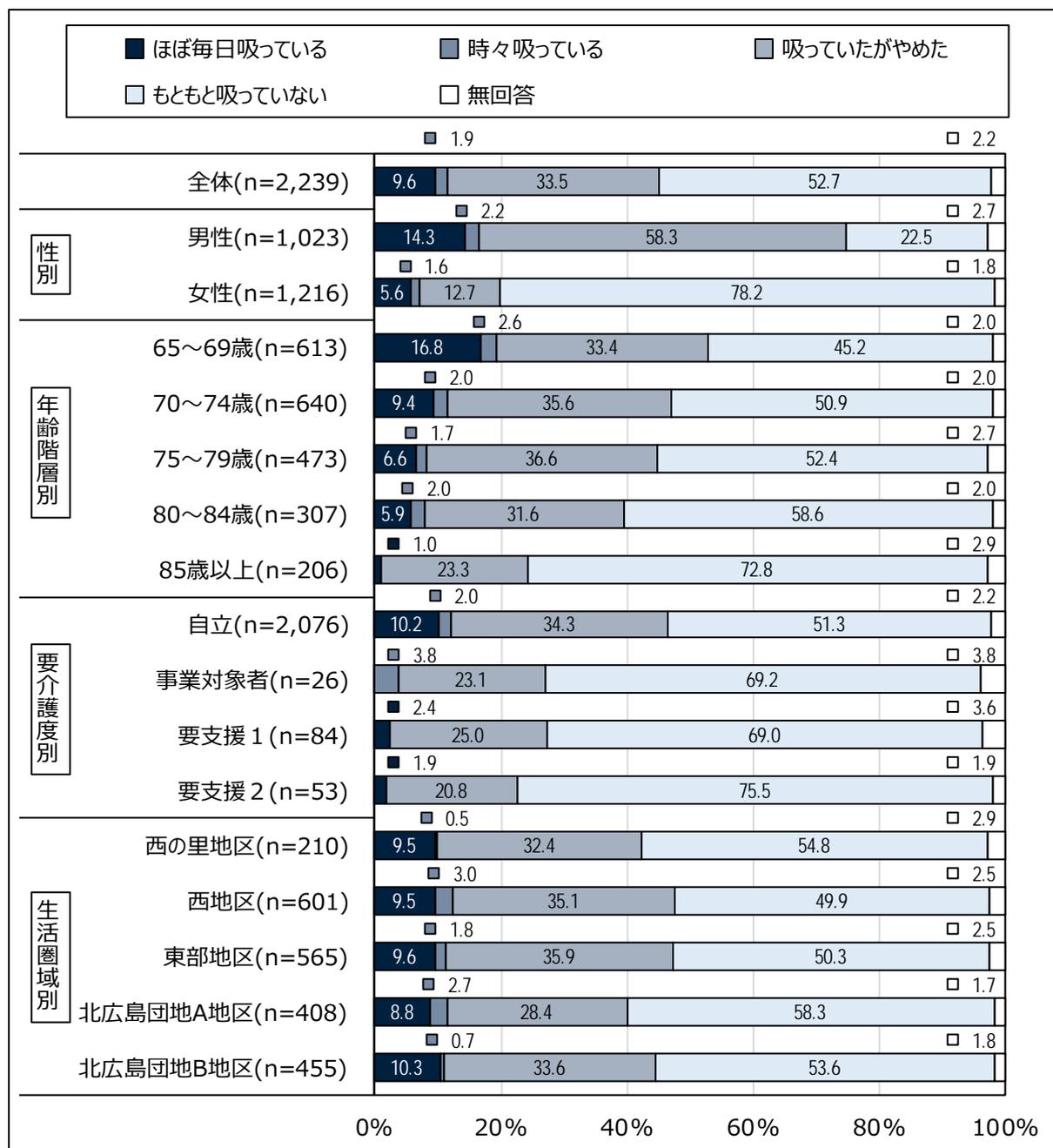
図表 2-3-6 飲酒について



## 問2. (6) タバコは吸っていますか

- 全体では、『喫煙（ほぼ毎日吸っている・時々吸っているの合計）』が約1割、『非喫煙（吸っていたがやめた・もともと吸っていないの合計）』が約9割となっている。
- 性別にみると、男性は『喫煙（ほぼ毎日吸っている・時々吸っているの合計）』の割合が約2割で女性と比べて高くなっている。
- 年齢階層別にみると、年齢が高くなるにつれて『喫煙（ほぼ毎日吸っている・時々吸っているの合計）』の割合が低くなっている。
- 要介護度別にみると、要介護度が高くなるにつれて『喫煙（ほぼ毎日吸っている・時々吸っているの合計）』の割合が低くなっている。

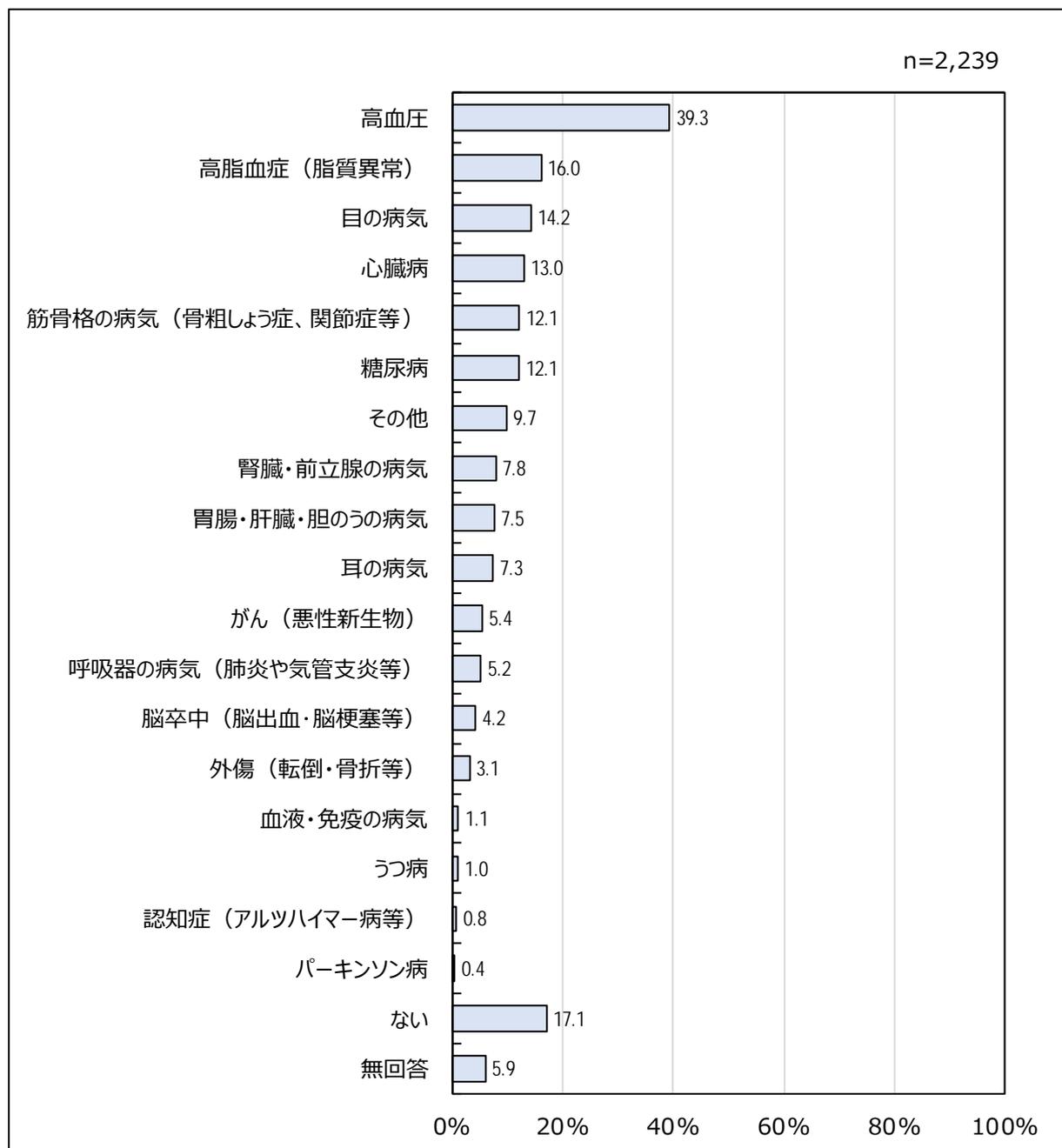
図表 2-3-7 喫煙について



**問2. (7) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか**

- 全体では、「高血圧」が約4割で最も高く、そのほかの病気は2割未満となっている。
- 性別にみると、男性は「心臓病」「糖尿病」「腎臓・前立腺の病気」の割合が女性に比べて高くなっている。また、女性は「筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）」の割合が男性に比べて高くなっている。
- 年齢階層別にみると、年齢が高くなるにつれて「ない」の割合が低くなっている。また、70歳以上は年齢が高くなるにつれて「筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）」の割合が高くなっている。
- 要介護度別にみると、要支援1以上は「心臓病」「筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）」の割合が自立や事業対象者と比べて高く、「ない」の割合が自立や事業対象者と比べて低くなっている。

図表 2-3-8 現在治療中、または後遺症のある病気（全体）



図表 2-3-9 現在治療中、または後遺症のある病気（属性別）

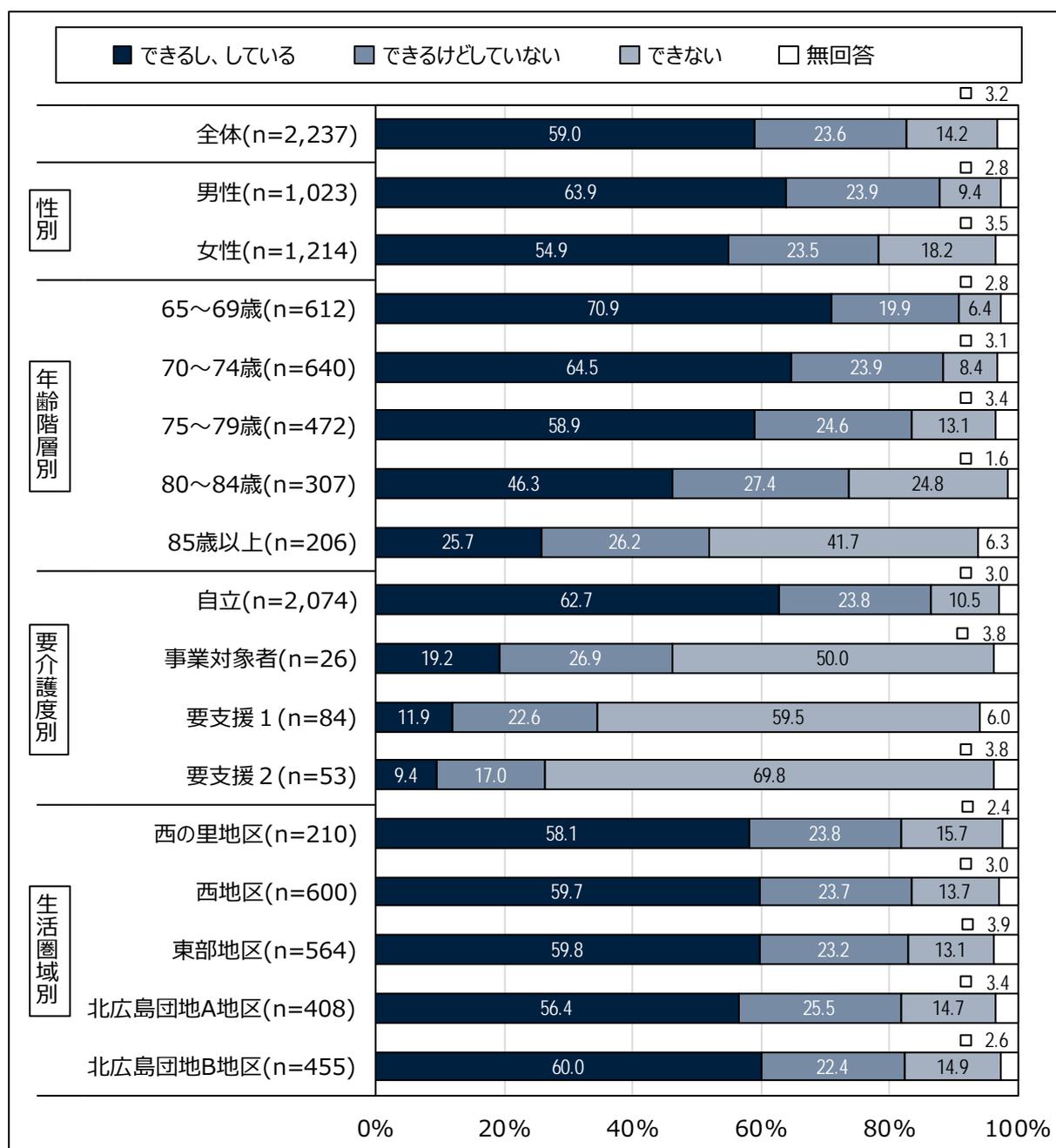
	ない	高血圧	脳卒中（脳出血・脳梗塞等）	心臓病	糖尿病	高脂血症（脂質異常）	呼吸器の病気（肺炎や気管支炎等）	胃腸・肝臓・胆のうの病気	腎臓・前立腺の病気	筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）	外傷（転倒・骨折等）	がん（悪性新生物）	血液・免疫の病気	うつ病	認知症（アルツハイマー病等）	パーキンソン病	目の病気	耳の病気	その他	無回答
全体 (n=2,239)	17.1	39.3	4.2	13.0	12.1	16.0	5.2	7.5	7.8	12.1	3.1	5.4	1.1	1.0	0.8	0.4	14.2	7.3	9.7	5.9
性別																				
男性 (n=1,023)	16.2	42.2	6.0	16.8	16.3	12.3	6.2	7.3	15.3	4.2	1.9	5.9	1.1	0.7	0.8	0.4	12.0	6.7	9.3	5.3
女性 (n=1,216)	17.8	36.8	2.6	9.8	8.6	19.2	4.4	7.7	1.5	18.8	4.1	5.0	1.2	1.2	0.7	0.4	16.1	7.8	10.1	6.4
年齢階層別																				
65～69歳 (n=613)	24.8	33.4	2.9	8.3	10.0	18.8	2.4	6.0	3.8	9.8	1.3	4.4	1.5	1.3	-	-	9.6	4.9	14.4	5.2
70～74歳 (n=640)	16.9	37.8	3.4	12.0	12.8	17.7	5.8	6.1	6.7	9.4	2.3	5.2	1.1	0.9	-	0.5	12.0	5.9	5.2	7.7
75～79歳 (n=473)	14.0	42.3	4.2	14.8	13.1	14.2	6.6	8.2	10.1	12.5	4.9	6.8	0.6	0.8	0.6	0.6	17.1	9.1	6.8	5.5
80～84歳 (n=307)	11.1	46.3	6.2	14.7	15.0	14.0	5.9	8.5	10.4	15.6	3.9	7.5	1.3	1.0	2.0	0.7	18.9	10.4	16.6	3.9
85歳以上 (n=206)	10.7	44.2	6.8	23.3	9.7	10.2	7.3	13.6	14.1	21.8	5.3	2.9	1.0	0.5	3.9	0.5	21.4	10.2	6.8	6.3
要介護度別																				
自立 (n=2,076)	18.0	38.4	3.6	11.9	11.9	16.1	5.0	7.0	7.8	10.5	2.3	4.9	1.1	0.9	0.5	0.4	13.3	6.9	9.5	6.0
事業対象者 (n=26)	15.4	46.2	7.7	15.4	19.2	11.5	3.8	15.4	3.8	19.2	11.5	7.7	-	7.7	3.8	-	23.1	3.8	19.2	3.8
要支援1 (n=84)	1.2	52.4	10.7	23.8	17.9	16.7	10.7	14.3	9.5	38.1	10.7	10.7	2.4	1.2	4.8	1.2	22.6	11.9	9.5	4.8
要支援2 (n=53)	5.7	50.9	13.2	35.8	7.5	13.2	3.8	13.2	7.5	32.1	17.0	15.1	-	1.9	1.9	-	32.1	17.0	13.2	3.8
生活圏域別																				
西の里地区 (n=210)	19.0	38.1	1.9	11.4	12.4	16.2	6.2	7.1	10.0	12.4	1.9	2.9	1.9	0.5	1.4	1.0	10.0	6.7	10.0	6.2
西地区 (n=601)	17.3	39.1	3.8	13.8	13.5	12.8	4.7	6.2	6.5	13.0	2.2	4.2	1.0	1.2	0.2	0.2	14.0	6.3	10.5	7.0
東部地区 (n=565)	16.5	38.9	6.0	14.2	11.9	18.2	5.8	8.7	6.9	10.4	2.8	5.7	0.7	0.7	0.5	0.2	14.9	7.4	9.9	5.0
北広島団地A地区 (n=408)	15.0	41.2	3.4	11.8	12.7	16.9	6.1	9.6	7.4	12.7	3.7	7.4	1.0	1.0	1.2	0.2	15.2	10.0	10.8	5.1
北広島団地B地区 (n=455)	18.5	38.9	4.0	12.3	9.9	16.7	3.7	6.4	10.1	12.5	4.6	6.2	1.5	1.3	1.1	0.9	14.9	6.4	7.5	6.2

## 2. 4 からだを動かすことについて

### 問3. (1) 階段を手すりや壁をつたわずに上っていますか

- ・全体では、「できるし、している」が約6割を占めている。
- ・年齢階層別にみると、年齢が高くなるにつれて「できない」の割合が高くなり、85歳以上では約4割となっている。
- ・要介護度別にみると、事業対象者以上は「できない」が5割以上で、自立と比べて高くなっている。

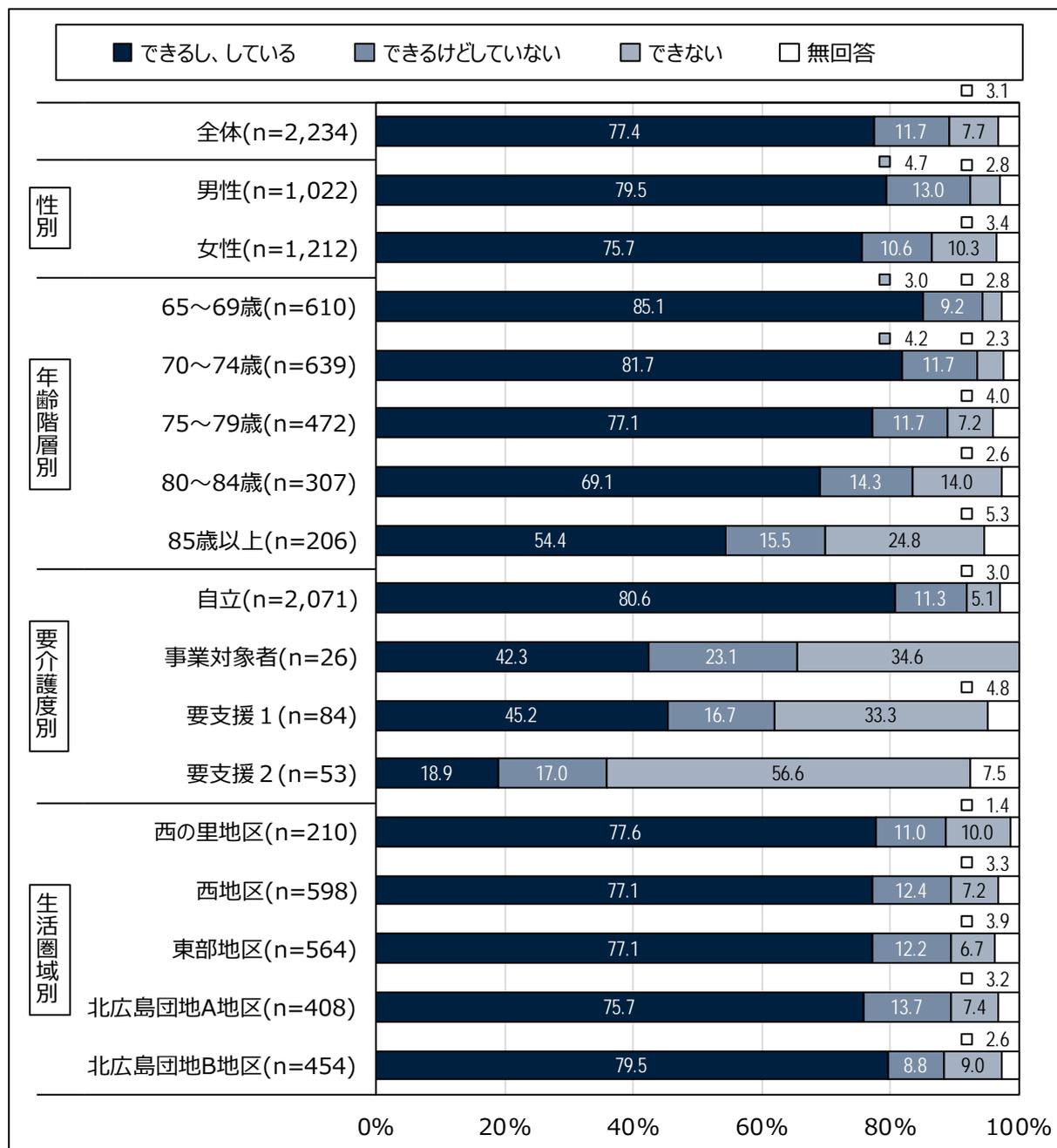
図表 2-4-1 階段を手すりや壁をつたわずに上っているか



### 問3. (2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか

- 全体では、「できるし、している」が約8割を占めている。
- 年齢階層別にみると、年齢が高くなるにつれて「できない」の割合が高くなり、85歳以上では約2割となっている。
- 要介護度別にみると、事業対象者以上は「できない」が3割以上で自立に比べて高くなっている。

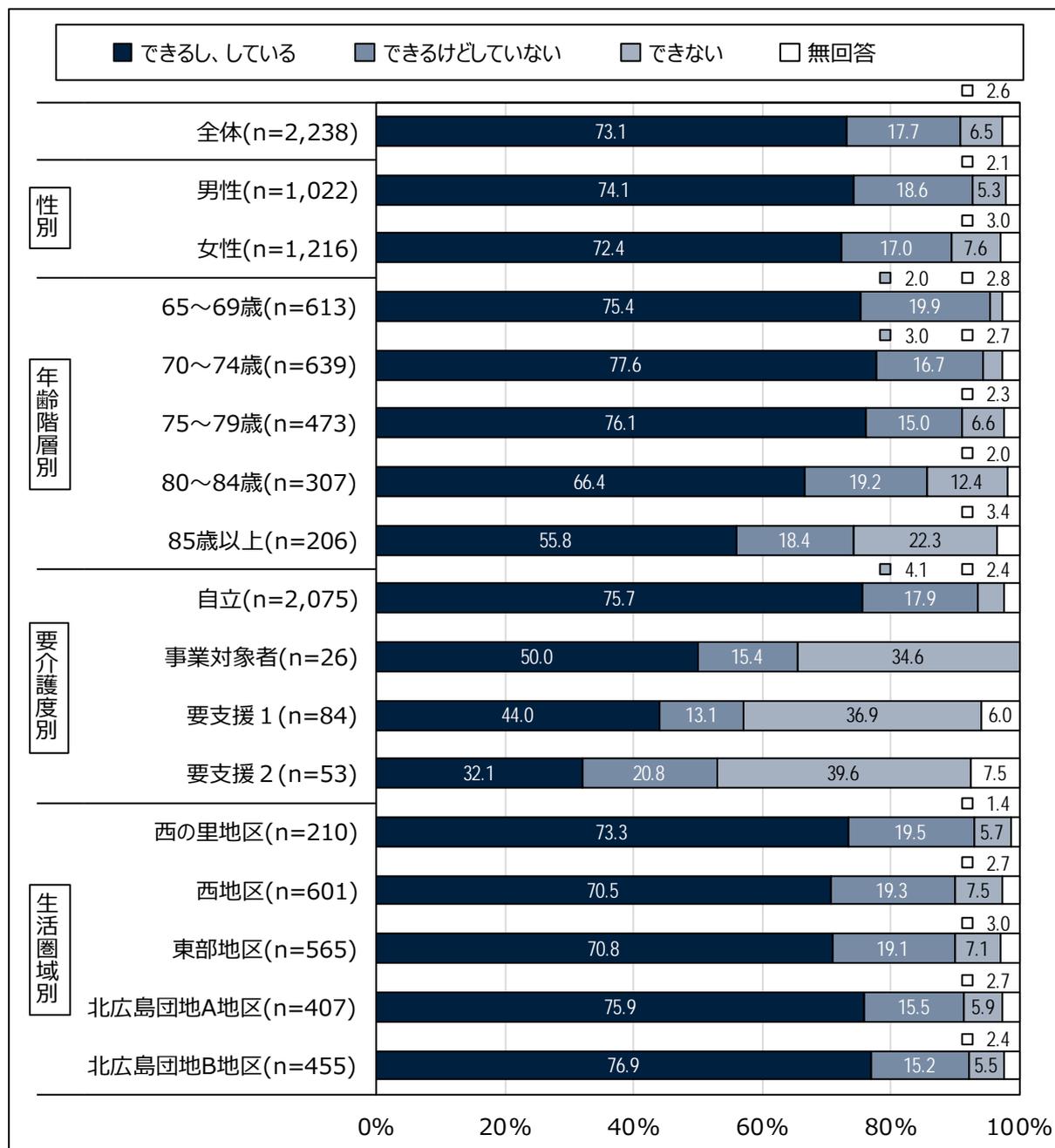
図表 2-4-2 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっているか



### 問3. (3) 15分位続けて歩いていますか

- 全体では、「できるし、している」が約7割を占めている。
- 年齢階層別にみると、年齢が高くなるにつれて「できない」の割合が高くなり、85歳以上では約2割となっている。
- 要介護度別にみると、要介護度が高くなるにつれて「できない」の割合が高くなり、要支援2では約4割となっている。

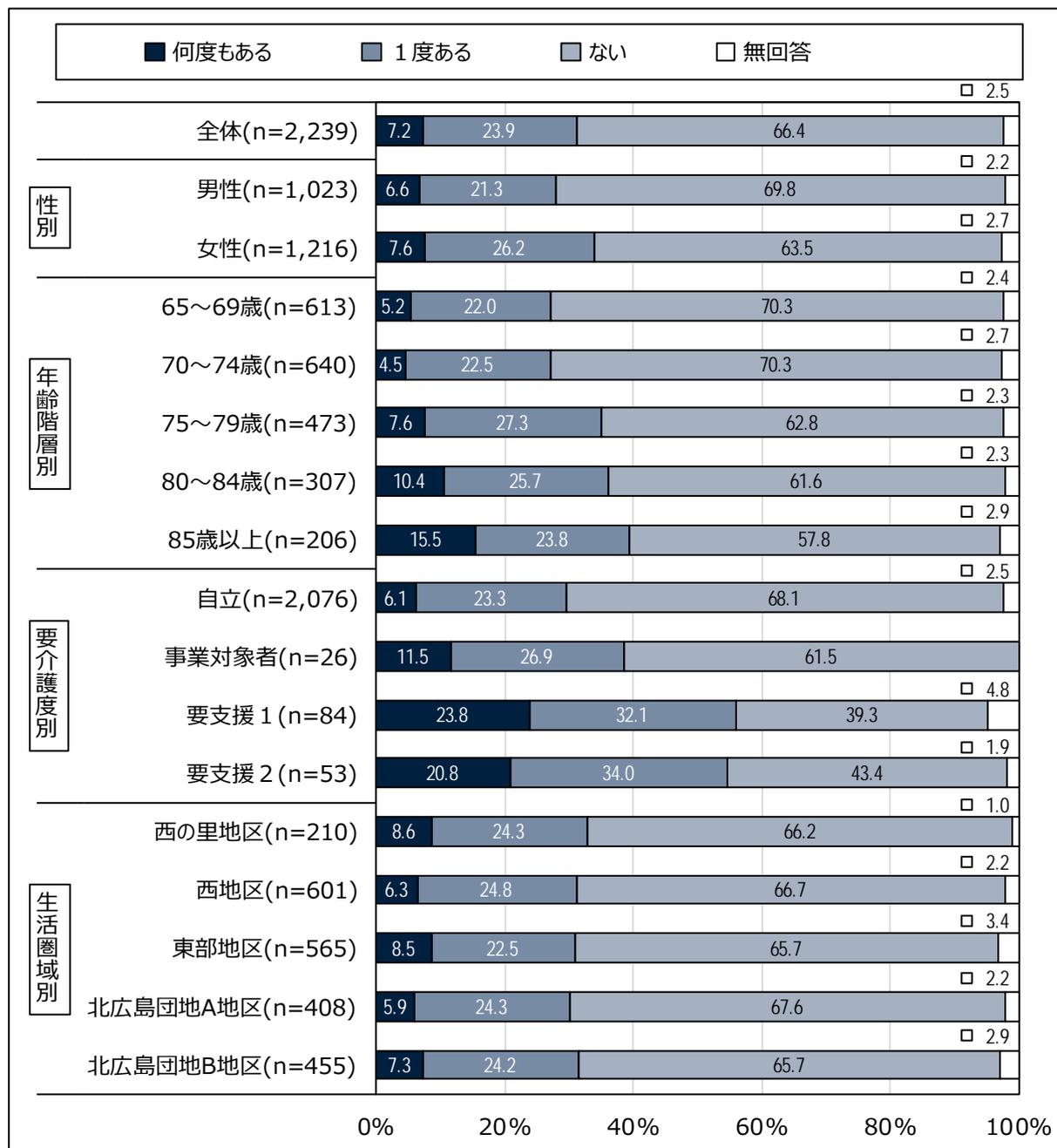
図表 2-4-3 15分位続けて歩いているか



### 問3. (4) 過去1年間に転んだ経験がありますか

- 全体では、「ない」が約7割を占めている。『過去1年間に転んだ経験がある（何度もある・1度あるの合計）』は約3割となっている。
- 年齢階層別にみると、70歳以上は年齢が高くなるにつれて「何度もある」の割合が高くなっている。
- 要介護度別にみると、要支援1以上は「何度もある」が2割以上で、自立や事業対象者と比べて高くなっている。

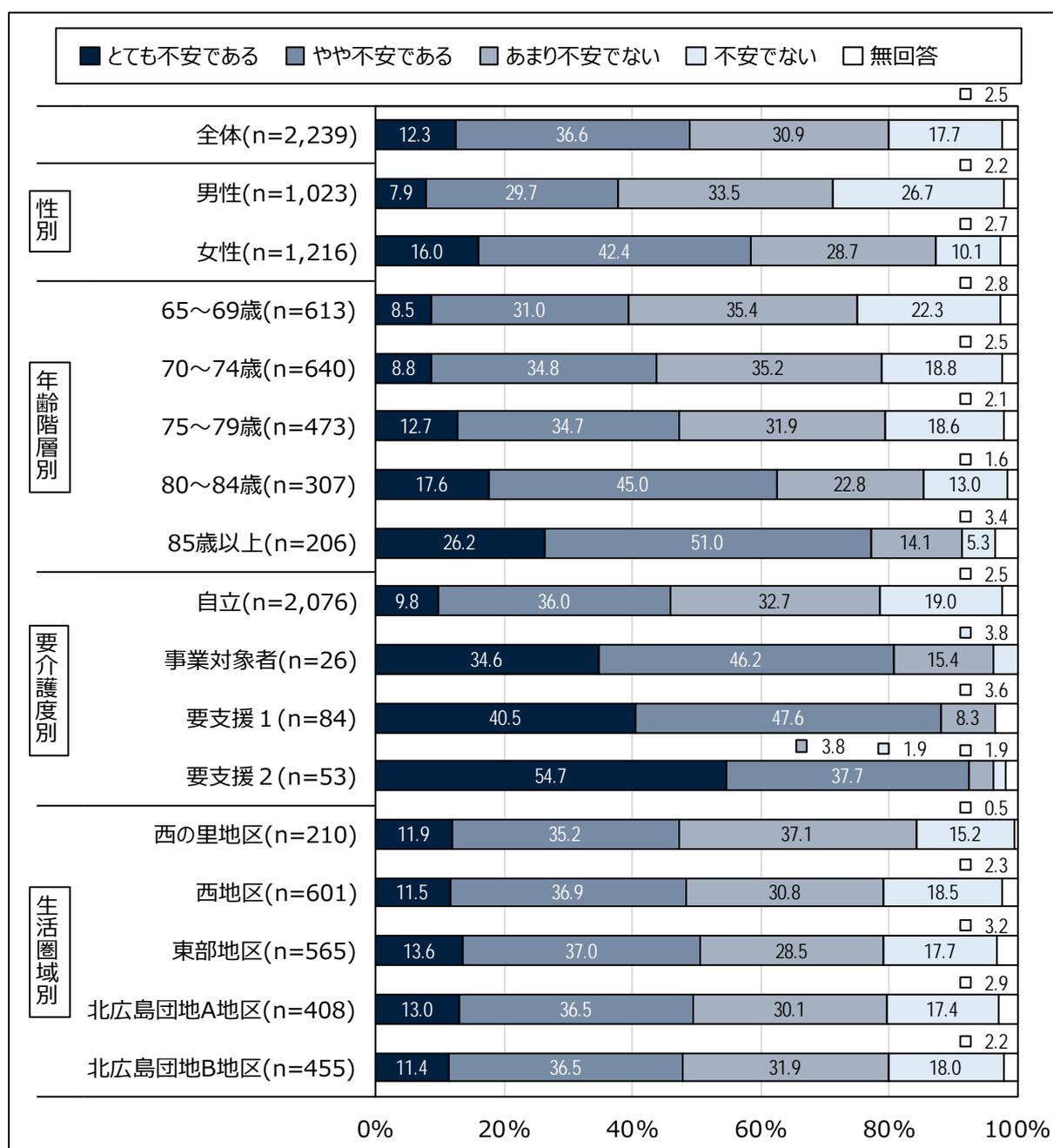
図表 2-4-4 過去1年間に転んだ経験があるか



### 問3. (5) 転倒に対する不安は大きいですか

- 全体では、「やや不安である」が約4割で最も高くなっている。『不安である（とても不安である・やや不安であるの合計）』と『不安でない（あまり不安でない・不安でないの合計）』はそれぞれ約5割となっている。
- 性別にみると、女性は『不安である（とても不安である・やや不安であるの合計）』の割合が男性と比べて高くなっている。
- 年齢階層別にみると、年齢が高くなるにつれて『不安である（とても不安である・やや不安であるの合計）』の割合が高くなっている。
- 要介護度別にみると、要介護度が高くなるにつれて『不安である（とても不安である・やや不安であるの合計）』の割合が高くなっている。

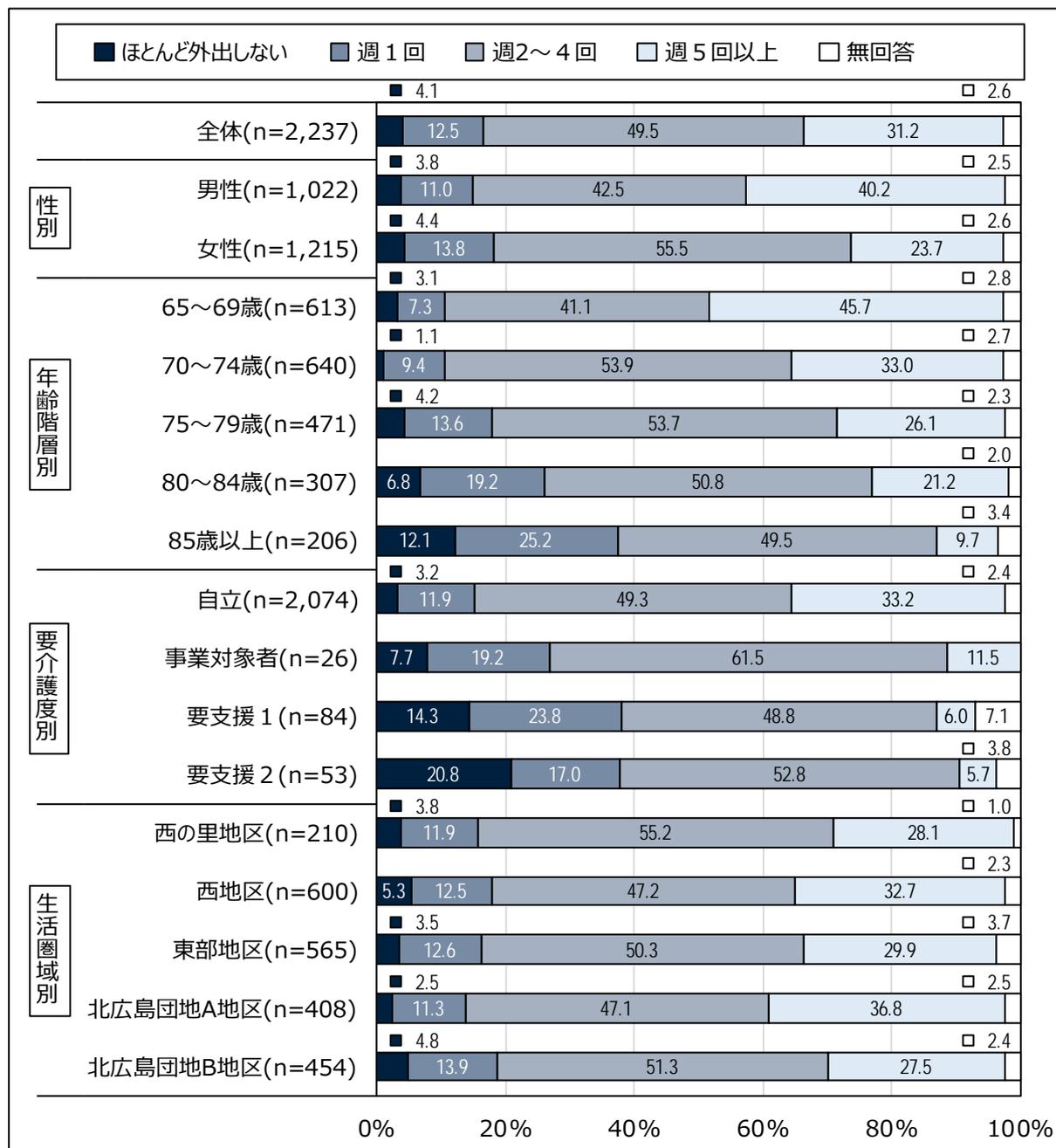
図表 2-4-5 転倒に対する不安は大きいか



### 問3. (6) 週に何回外出していますか

- 全体では、「週2～4回」が約5割で最も高くなっている。『外出する(週1回以上の合計)』は約9割を占めている。
- 年齢階層別にみると、70歳以上は年齢が高くなるにつれて「ほとんど外出しない」の割合が高くなっている。
- 要介護度別にみると、要介護度が高くなるにつれて「ほとんど外出しない」の割合が高くなり、要支援2では約2割となっている。

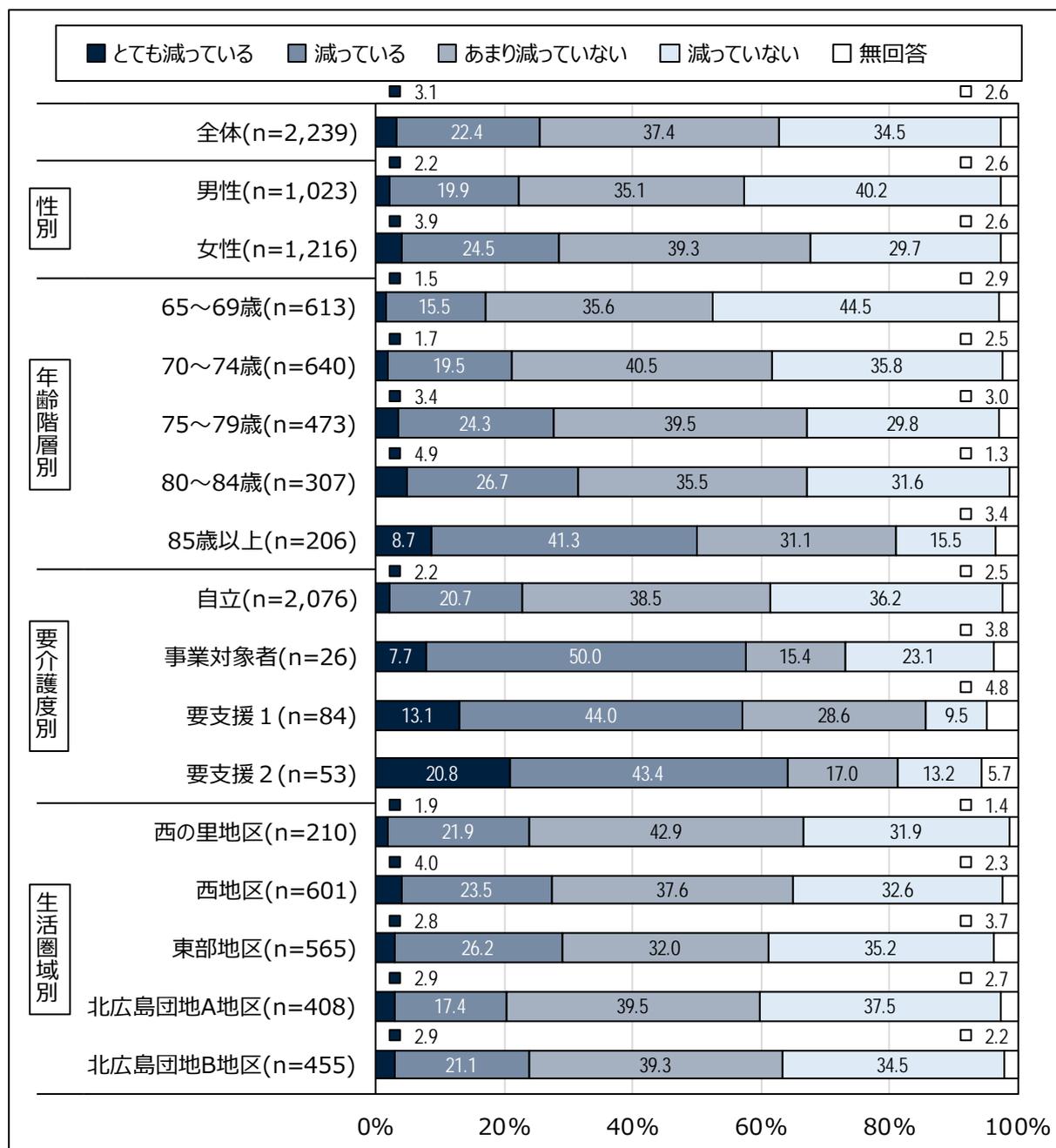
図表 2-4-6 週に何回外出しているか



### 問3. (7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか

- 全体では、「あまり減っていない」が約4割で最も高くなっている。『減っている（とても減っている・減っているの合計）』が約3割であるのに対し、『減っていない（あまり減っていない・減っていないの合計）』は約7割となっている。
- 年齢階層別にみると、年齢が高くなるにつれて『減っている（とても減っていると減っているの合計）』の割合が高くなり、85歳以上では約5割となっている。
- 要介護度別にみると、事業対象以上は『減っている（とても減っていると減っているの合計）』が5割以上で自立と比べて高くなっている。

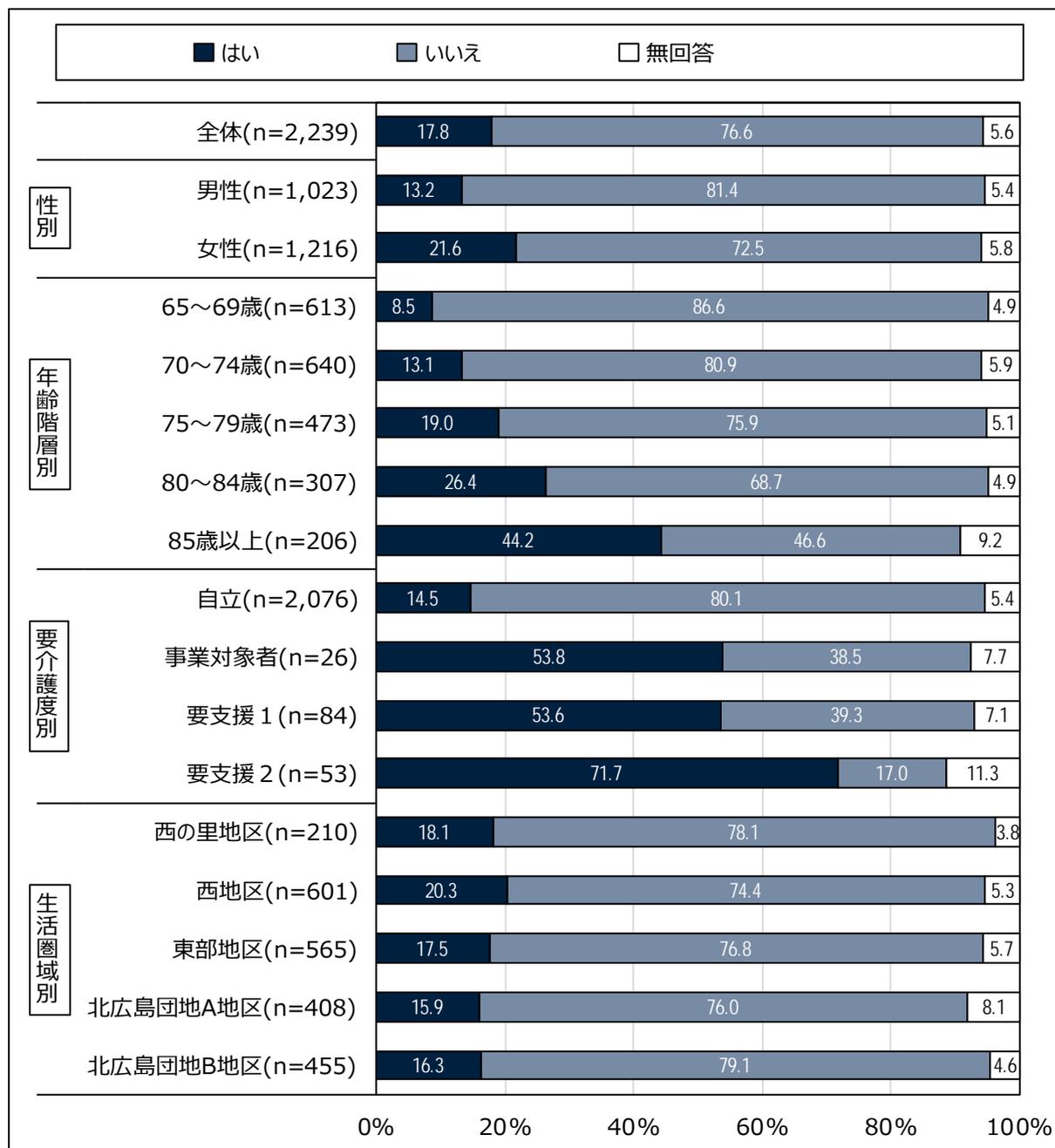
図表 2-4-7 昨年と比べて外出の回数が減っているか



### 問3. (8) 外出を控えていますか

- 全体では、「はい」が約2割、「いいえ」が約8割となっている。
- 年齢階層別にみると、年齢が高くなるにつれて「はい」の割合が高くなり、85歳以上では約4割となっている。
- 要介護度別にみると、事業対象者以上は「はい」が5割以上で自立と比べて高くなっている。また、要支援2は「はい」が約7割で他の要介護と比べて高くなっている。

図表 2-4-8 外出を控えているか

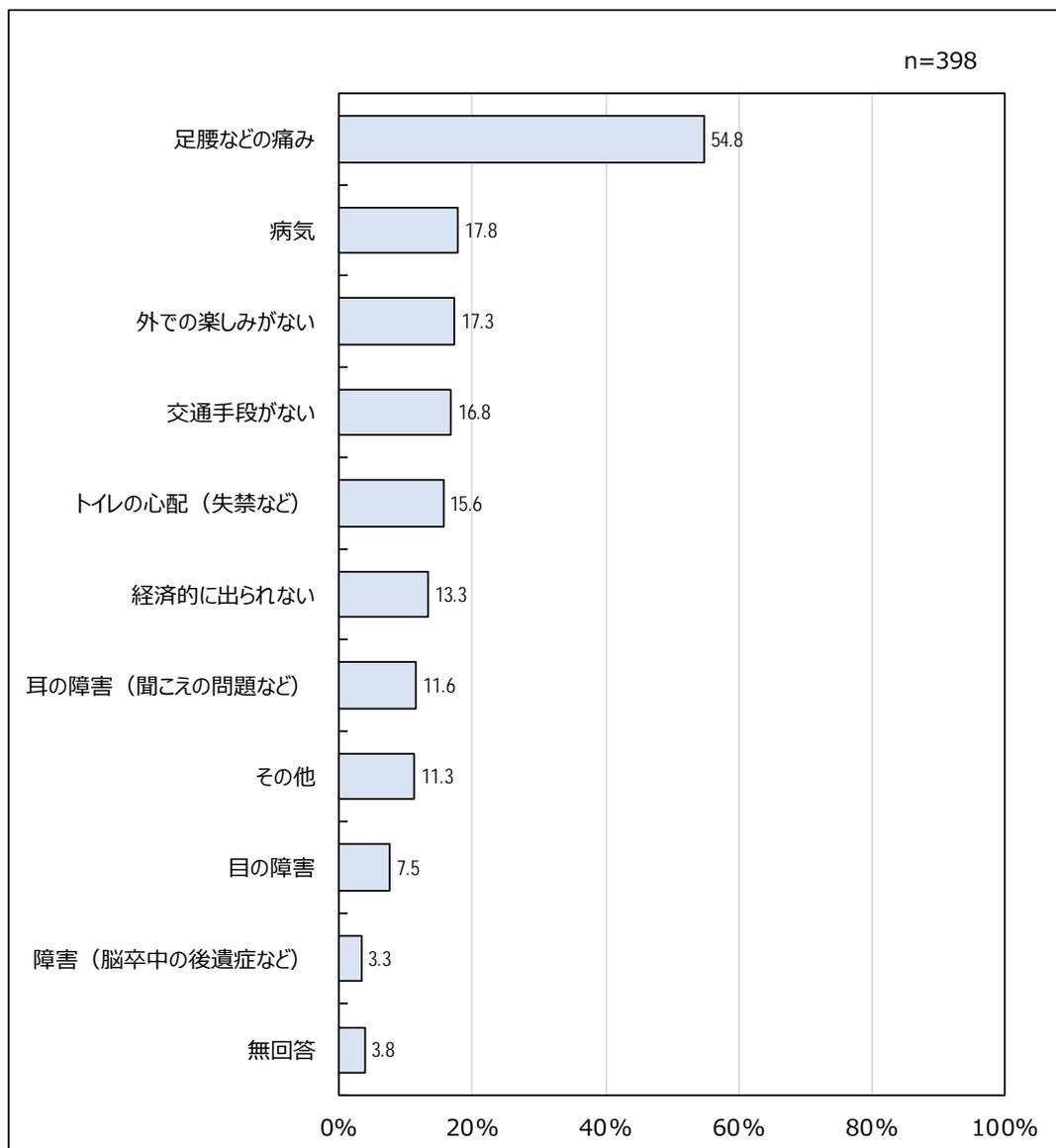


### 問3. (8) - 1. 外出を控えている理由は、次のどれですか

※問3 (8) で「はい」を選択した方が回答

- 全体では、「足腰などの痛み」が約5割で最も高くなっており、そのほかの理由は2割未満となっている。
- 性別にみると、男性は「耳の障害（聞こえの問題など）」「外での楽しみがない」「経済的に出られない」の割合が女性に比べて高くなっている。また、女性は「足腰などの痛み」の割合が男性に比べて高くなっている。
- 年齢階層別にみると、75歳以上は「足腰などの痛み」の割合が74歳以下に比べて高くなっている。また、74歳以下は「経済的に出られない」の割合が75歳以上に比べて高くなっている。
- 要介護度別にみると、事業対象者以上は「足腰などの痛み」の割合が自立と比べて高くなっている。
- 生活圏域別にみると、西地区と東部地区は「交通手段がない」の割合が他の生活圏域と比べて高くなっている。

図表 2-4-9 外出を控えている理由（全体）



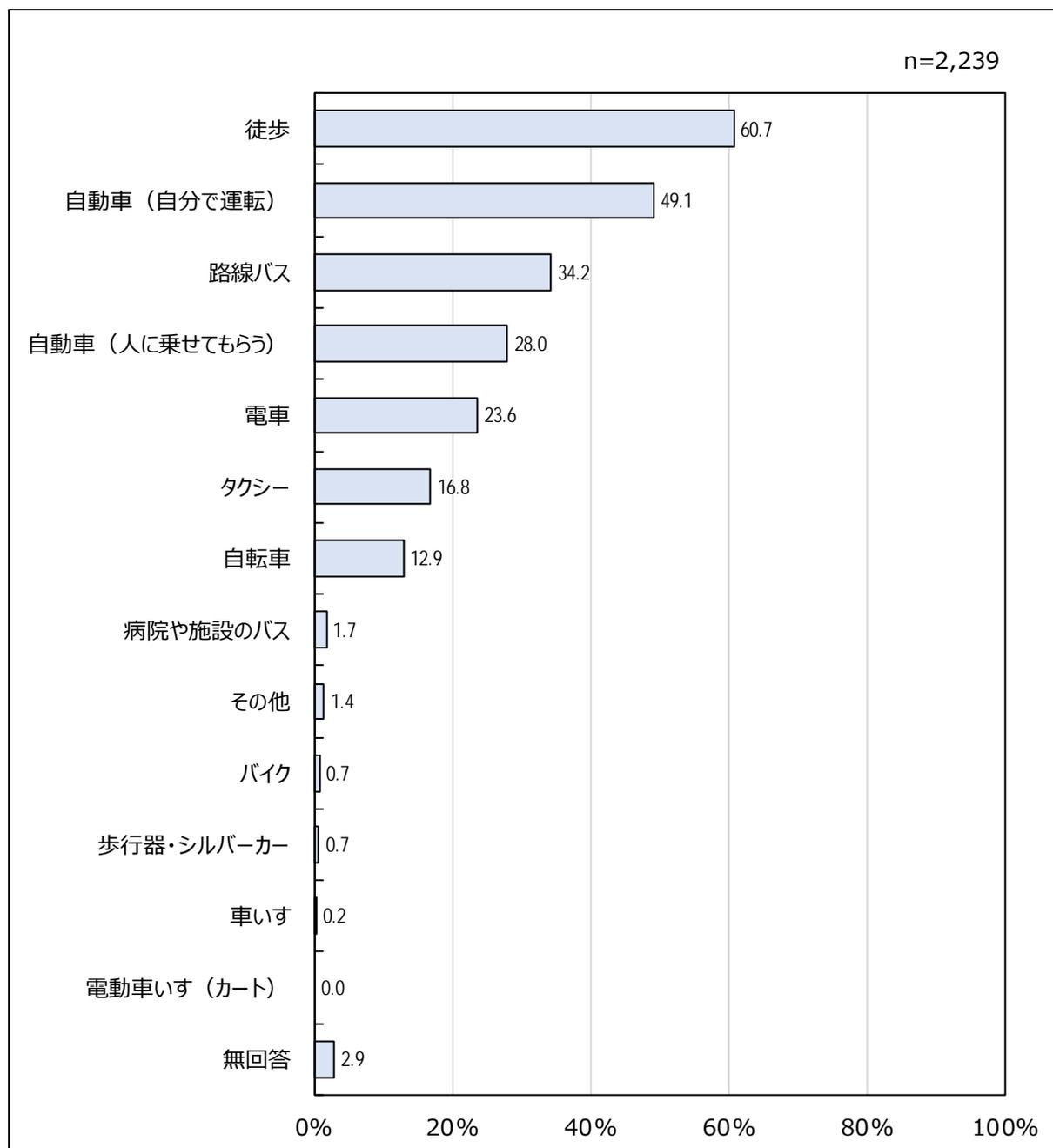
図表 2-4-10 外出を控えている理由（属性別）

	(%)										
	病 気	障 害 （脳 卒 中 の 後 遺 症 な ど）	足 腰 な ど の 痛 み	ト イ レ の 心 配 （失 禁 な ど）	耳 の 障 害 （聞 こ え の 問 題 な ど）	目 の 障 害	外 で の 楽 し み が な い	経 済 的 に 出 ら れ な い	交 通 手 段 が な い	そ の 他	無 回 答
全体 (n=398)	17.8	3.3	54.8	15.6	11.6	7.5	17.3	13.3	16.8	11.3	3.8
性別											
男性 (n=135)	20.0	5.2	49.6	22.2	16.3	9.6	22.2	17.0	19.3	8.9	0.7
女性 (n=263)	16.7	2.3	57.4	12.2	9.1	6.5	14.8	11.4	15.6	12.5	5.3
年齢階層別											
65～69歳 (n=52)	21.2	5.8	42.3	3.8	5.8	1.9	26.9	21.2	15.4	19.2	-
70～74歳 (n=84)	19.0	2.4	38.1	13.1	7.1	8.3	13.1	22.6	17.9	9.5	8.3
75～79歳 (n=90)	16.7	3.3	60.0	14.4	13.3	6.7	21.1	12.2	15.6	11.1	2.2
80～84歳 (n=81)	21.0	6.2	59.3	23.5	12.3	7.4	11.1	9.9	17.3	12.3	3.7
85歳以上 (n=91)	13.2	-	68.1	18.7	16.5	11.0	17.6	4.4	17.6	7.7	3.3
要介護度別											
自立 (n=301)	18.6	2.3	48.5	14.3	10.0	8.0	18.3	14.6	16.6	12.3	4.0
事業対象者 (n=14)	21.4	14.3	78.6	7.1	14.3	14.3	-	7.1	21.4	-	-
要支援1 (n=45)	22.2	4.4	71.1	15.6	20.0	2.2	15.6	6.7	17.8	11.1	4.4
要支援2 (n=38)	5.3	5.3	76.3	28.9	13.2	7.9	18.4	13.2	15.8	7.9	2.6
生活圏域別											
西の里地区 (n=38)	15.8	2.6	68.4	18.4	15.8	7.9	15.8	10.5	10.5	7.9	5.3
西地区 (n=122)	16.4	3.3	49.2	9.8	10.7	5.7	12.3	14.8	20.5	13.1	4.1
東部地区 (n=99)	15.2	4.0	56.6	22.2	12.1	10.1	20.2	13.1	20.2	10.1	1.0
北広島団地A地区 (n=65)	24.6	1.5	53.8	15.4	12.3	6.2	23.1	12.3	12.3	9.2	3.1
北広島団地B地区 (n=74)	18.9	4.1	55.4	14.9	9.5	8.1	17.6	13.5	13.5	13.5	6.8

### 問3. (9) 外出する際の移動手段は何ですか

- 全体では、「徒歩」が約6割で最も高く、次いで「自動車（自分で運転）」「路線バス」が高くなっている。
- 年齢階層別にみると、年齢が高くなるにつれて「自動車（自分で運転）」の割合が低くなり、「タクシー」の割合が高くなっている。
- 要介護度別にみると、要介護度が高くなるにつれて「徒歩」の割合が低くなっている。また、事業対象者以上は「タクシー」の割合が自立と比べて高くなっている。
- 生活圏域別では、東部地区と北広島団地A地区は「路線バス」の割合が他の生活圏域と比べて低くなっている。

図表 2-4-11 外出する際の移動手段（全体）



図表 2-4-12 外出する際の移動手段（属性別）

	(%)													
	徒歩	自転車	バイク	自動車 (自分で運転)	自動車 (人に乗せてもらう)	電車	路線バス	病院や施設 のバス	車いす	電動車いす (カート)	歩行器・ シルバーカー	タクシー	その他	無回答
全体 (n=2,239)	60.7	12.9	0.7	49.1	28.0	23.6	34.2	1.7	0.2	-	0.7	16.8	1.4	2.9
性別														
男性 (n=1,023)	56.8	14.7	1.4	72.3	11.7	20.8	26.4	0.6	0.2	-	0.3	12.8	1.0	2.7
女性 (n=1,216)	63.9	11.3	0.2	29.6	41.6	25.9	40.8	2.6	0.2	-	1.0	20.2	1.7	3.0
年齢階層別														
65～69歳 (n=613)	60.4	14.8	1.3	63.8	26.4	24.3	30.5	0.5	-	-	-	8.8	1.3	2.4
70～74歳 (n=640)	60.9	17.0	0.9	60.0	27.7	25.6	35.0	1.1	-	-	0.2	11.7	0.3	3.0
75～79歳 (n=473)	61.7	11.6	-	45.0	27.9	26.6	36.4	1.1	0.2	-	0.4	18.0	1.1	2.5
80～84歳 (n=307)	60.9	7.8	0.3	27.7	26.4	19.9	39.1	2.6	0.7	-	1.6	30.9	3.6	2.3
85歳以上 (n=206)	57.8	4.4	0.5	13.1	35.9	13.6	30.6	7.3	1.0	-	3.4	33.0	2.4	5.3
要介護度別														
自立 (n=2,076)	62.5	13.7	0.7	52.3	27.0	24.1	34.8	0.9	0.0	-	0.1	14.5	1.2	2.6
事業対象者 (n=26)	42.3	3.8	-	11.5	30.8	19.2	26.9	7.7	3.8	-	7.7	46.2	7.7	3.8
要支援1 (n=84)	39.3	2.4	1.2	14.3	41.7	21.4	31.0	13.1	1.2	-	6.0	44.0	2.4	8.3
要支援2 (n=53)	32.1	-	-	-	41.5	9.4	20.8	13.2	3.8	-	9.4	50.9	5.7	3.8
生活圏域別														
西の里地区 (n=210)	50.0	7.1	-	50.5	29.5	20.5	47.1	2.4	-	-	1.0	21.0	2.4	2.9
西地区 (n=601)	49.1	10.8	1.0	53.9	28.3	3.7	34.3	1.3	0.3	-	0.5	12.6	1.2	2.7
東部地区 (n=565)	67.6	21.9	0.7	51.3	32.0	30.6	24.8	1.9	0.4	-	1.2	17.2	1.4	3.0
北広島団地A地区 (n=408)	74.5	9.3	0.5	39.2	22.5	37.0	24.3	1.2	-	-	0.2	20.8	1.5	2.5
北広島団地B地区 (n=455)	59.8	10.1	0.9	48.4	26.6	30.5	48.8	2.0	0.2	-	0.4	16.5	1.1	3.3

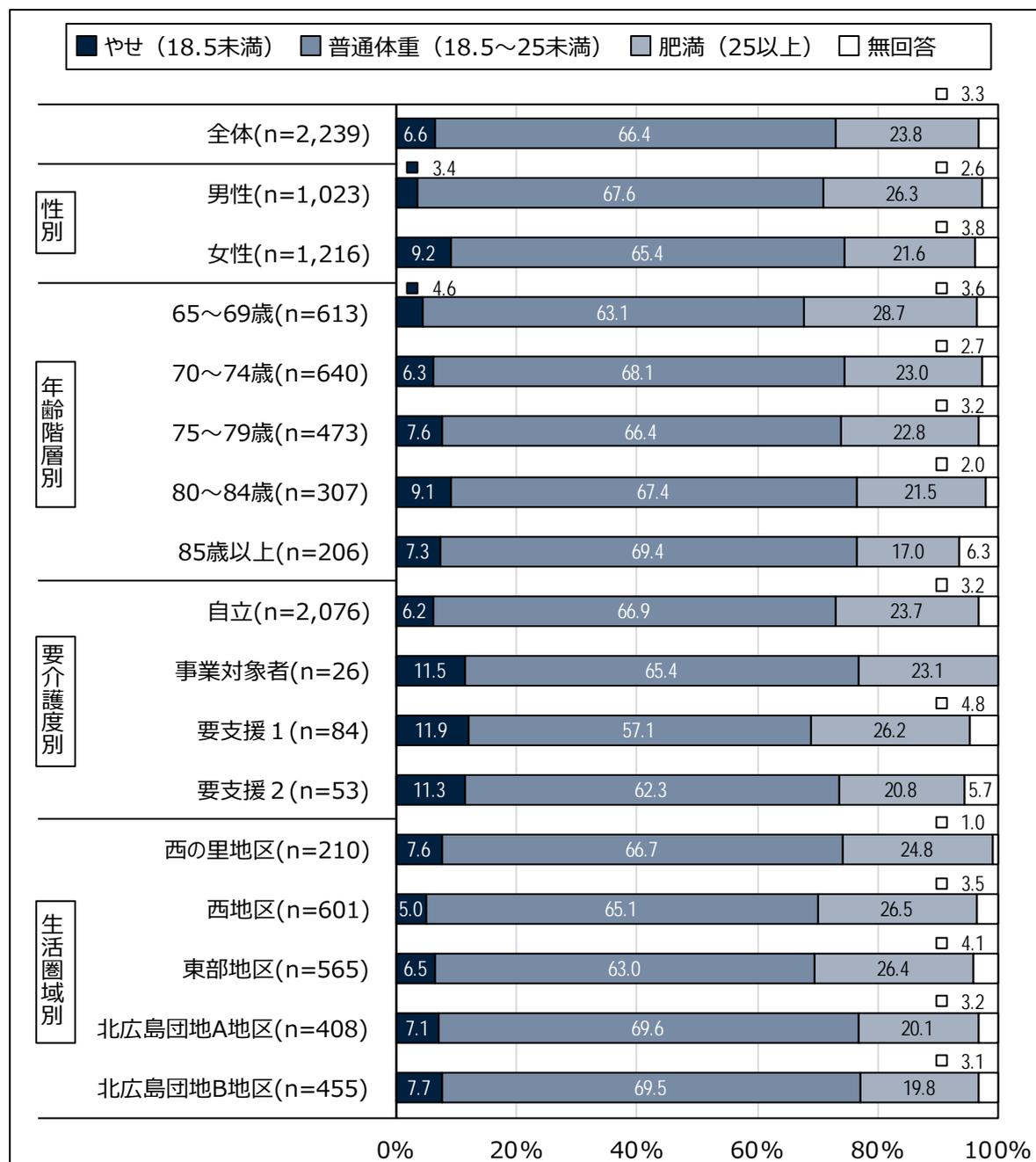
## 2. 5 食べることについて

### 問4. (1). 身長・体重【BMI】

※BMI = 体重 kg ÷ (身長 m)<sup>2</sup>

- ・全体では、「普通体重（18.5～25未満）」が約7割で最も高くなっている。低栄養が疑われる「やせ（18.5未満）」は約1割となっている。
- ・性別にみると、女性は「やせ（18.5未満）」が約1割で男性と比べて高くなっている。
- ・要介護度別にみると、事業対象者以上は「やせ（18.5未満）」が1割以上で自立と比べて高くなっている。

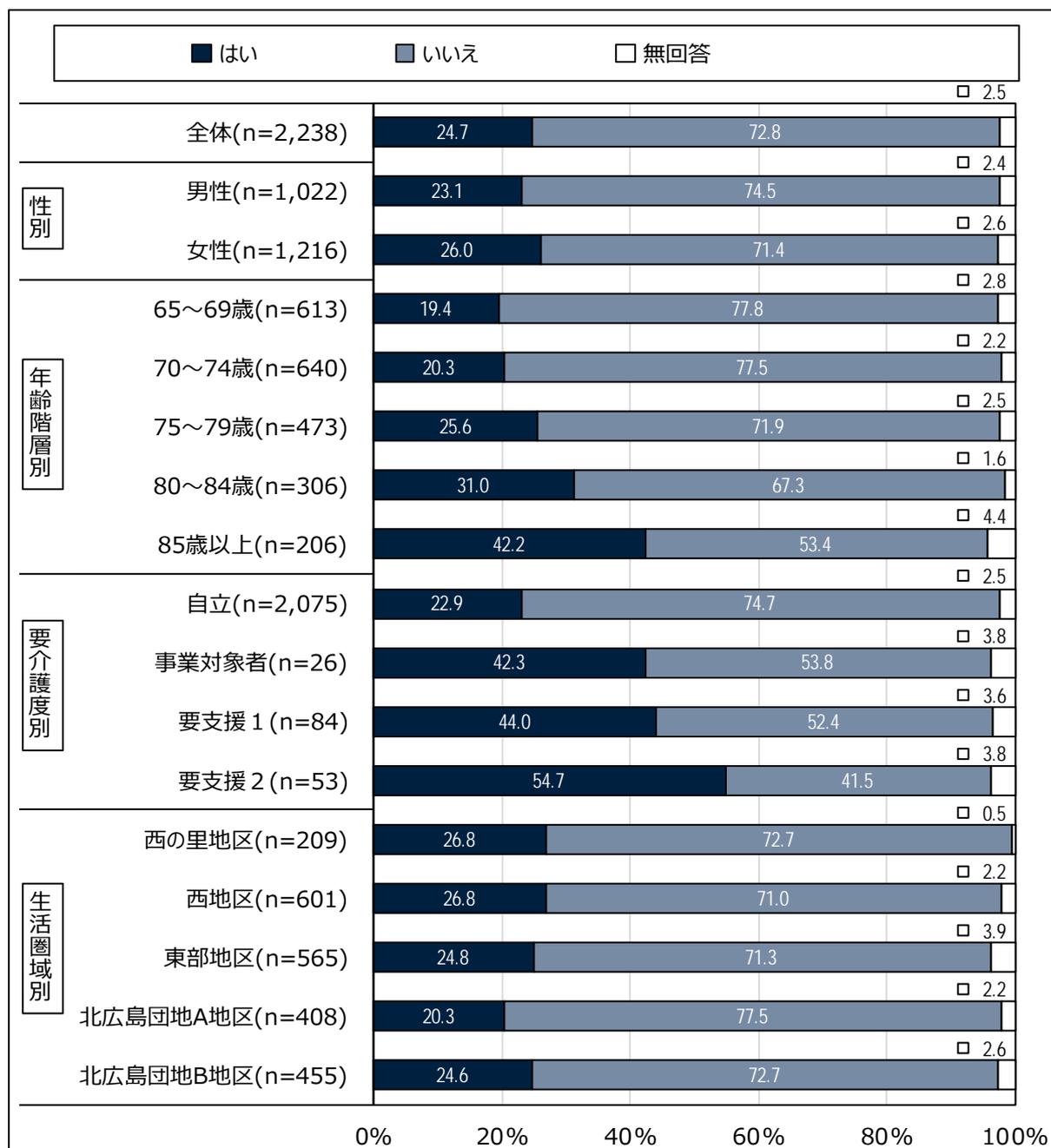
図表 2-5-1 身長・体重【BMI】



#### 問4. (2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか

- 全体では、「はい」が約2割、「いいえ」が約7割となっている。
- 年齢階層別にみると、年齢が高くなるにつれて「はい」の割合が高くなり、85歳以上では約4割となっている。
- 要介護度別にみると、要介護が高くなるにつれて「はい」の割合が高くなり、要支援2では約5割となっている。

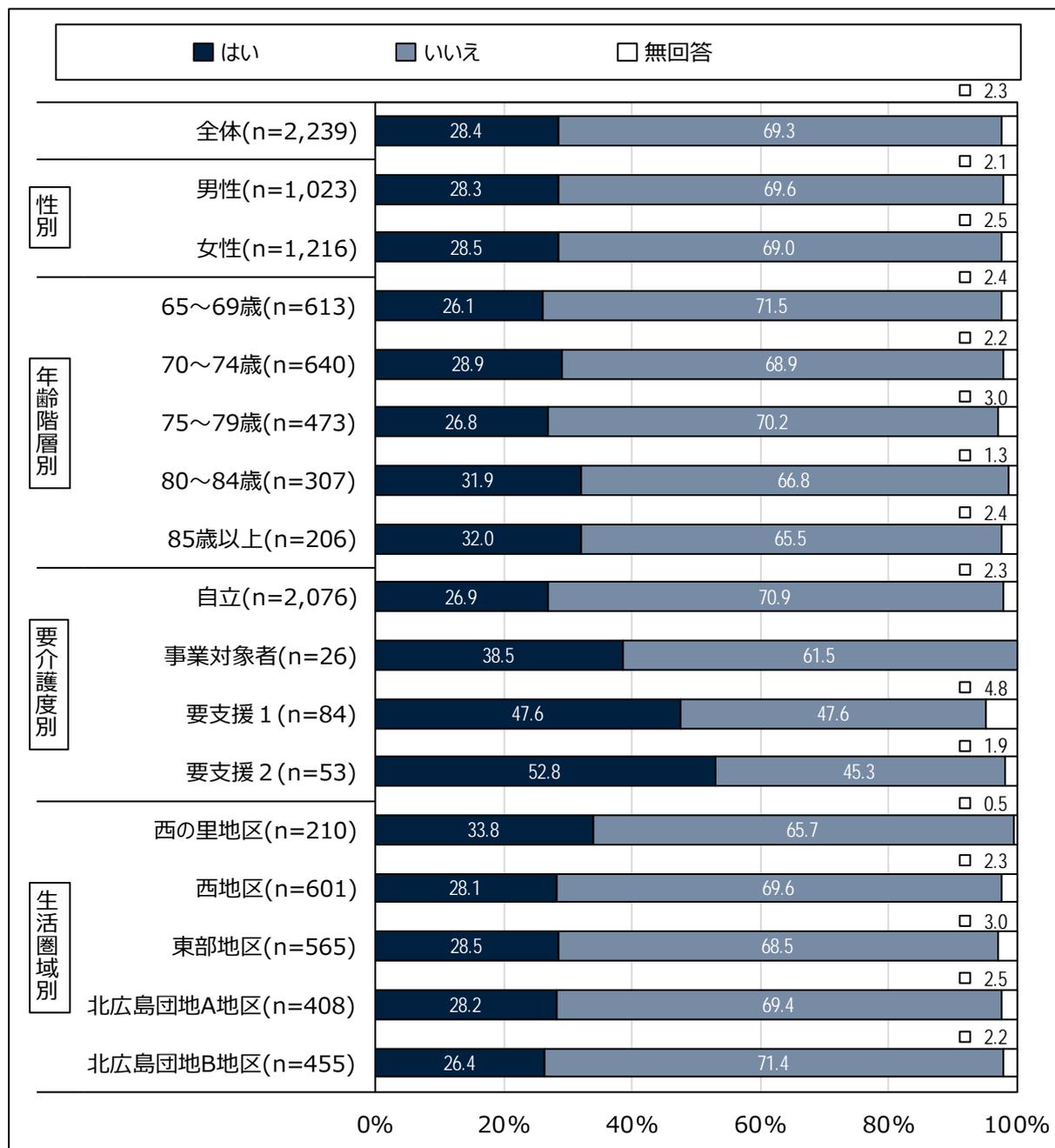
図表 2-5-2 半年前に比べて固いものが食べにくくなったか



#### 問4. (3) お茶や汁物等でむせることがありますか

- ・全体では、「はい」が約3割、「いいえ」が約7割となっている。
- ・要介護度別にみると、要介護度が高くなるにつれて「はい」の割合が高くなり、要支援1以上は約5割となっている。

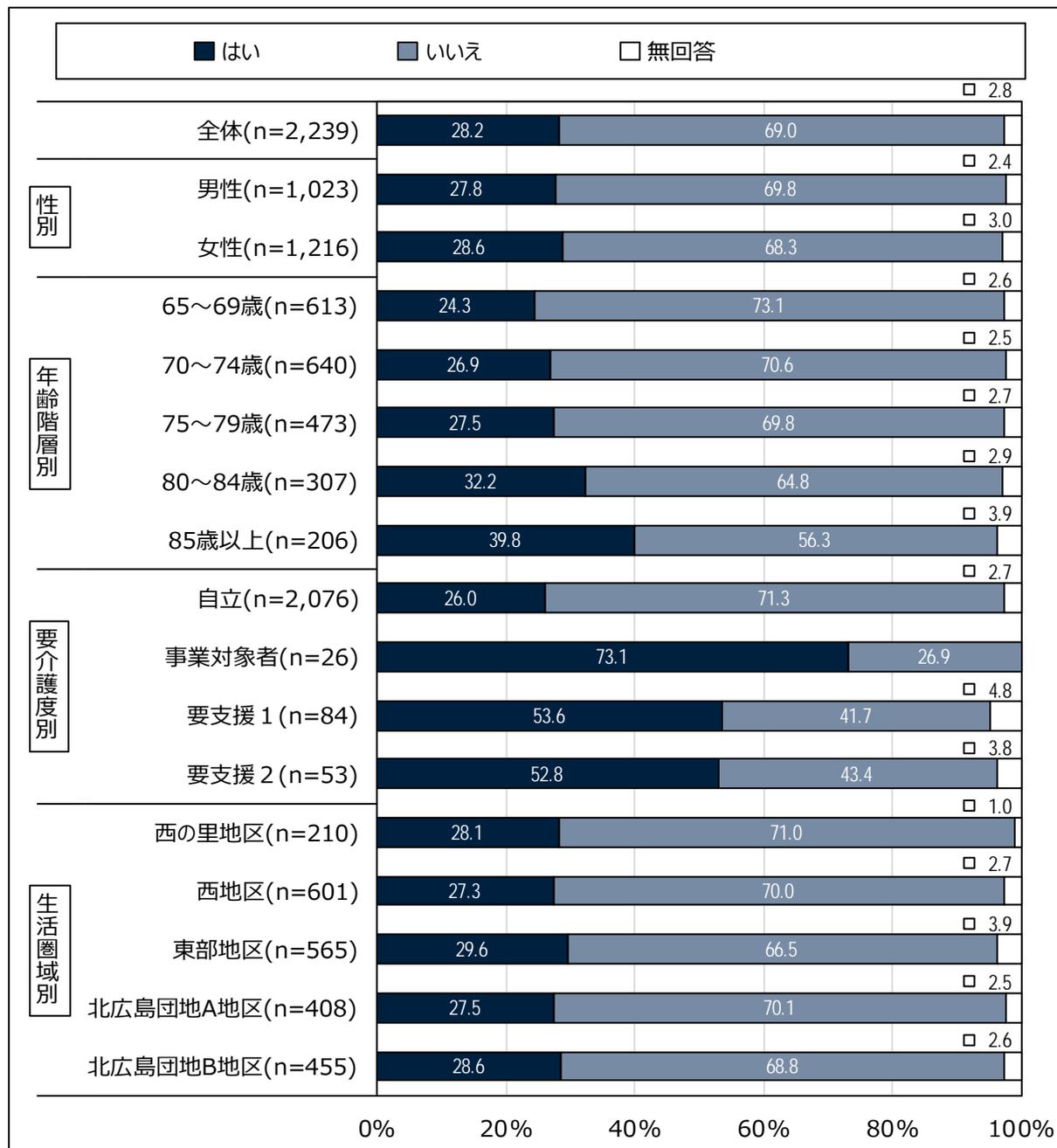
図表 2-5-3 お茶や汁物等でむせることがあるか



#### 問4. (4) 口の渇きが気になりますか

- 全体では、「はい」が約3割、「いいえ」が約7割となっている。
- 年齢階層別にみると、年齢が高くなるにつれて「はい」の割合が高くなり、85歳以上では約4割となっている。
- 要介護度別にみると、事業対象者以上は「はい」が5割以上で自立と比べて高くなっている。

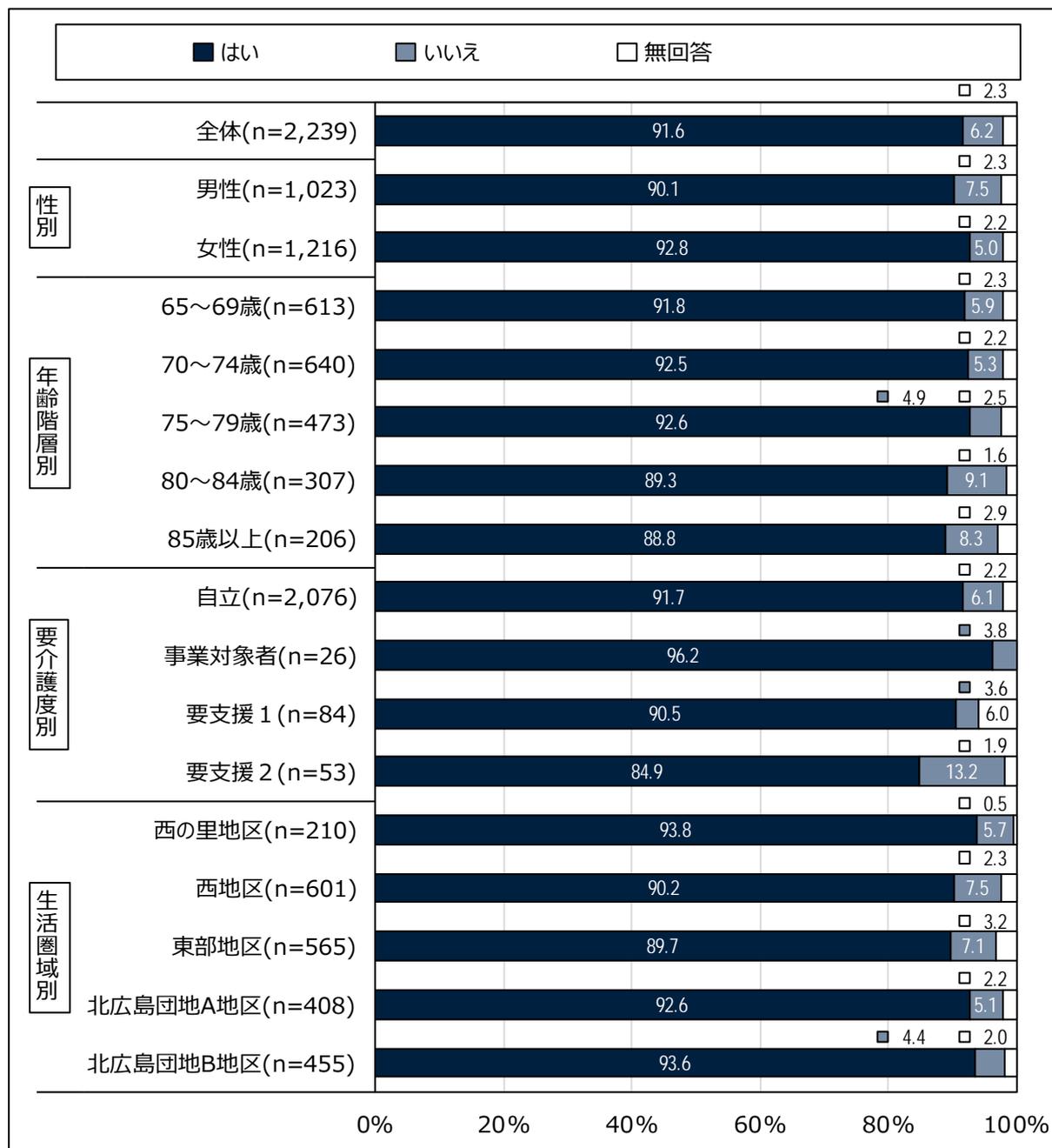
図表 2-5-4 口の渇きが気になるか



問4. (5) 歯磨き(人にやってもらう場合も含む)を毎日していますか

- 全体では、「はい」が約9割、「いいえ」が約1割となっている。
- 年齢階層別にみると、いずれも「はい」が約9割を占めている。
- 要介護別にみると、要支援2は「はい」が9割未満で他の要介護度と比べて低くなっている。

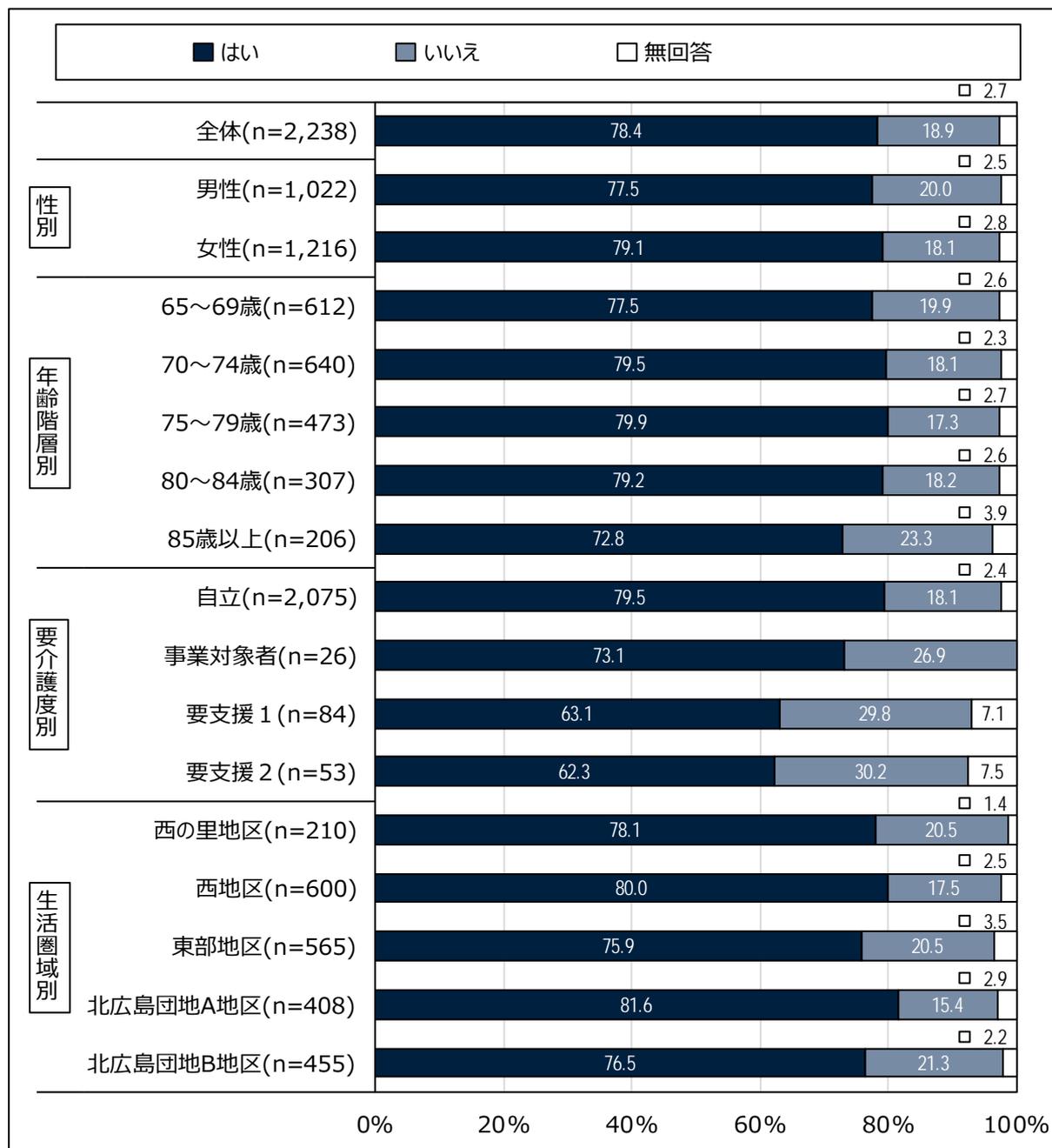
図表 2-5-5 歯磨きを毎日しているか



#### 問4. (6) 噛み合わせは良いですか

- ・全体では、「はい」が約8割、「いいえ」が約2割となっている。
- ・年齢階層別にみると、いずれも「はい」が7割以上を占めている。
- ・要介護度別にみると、要介護度が高くなるにつれて「はい」の割合が低くなっている。

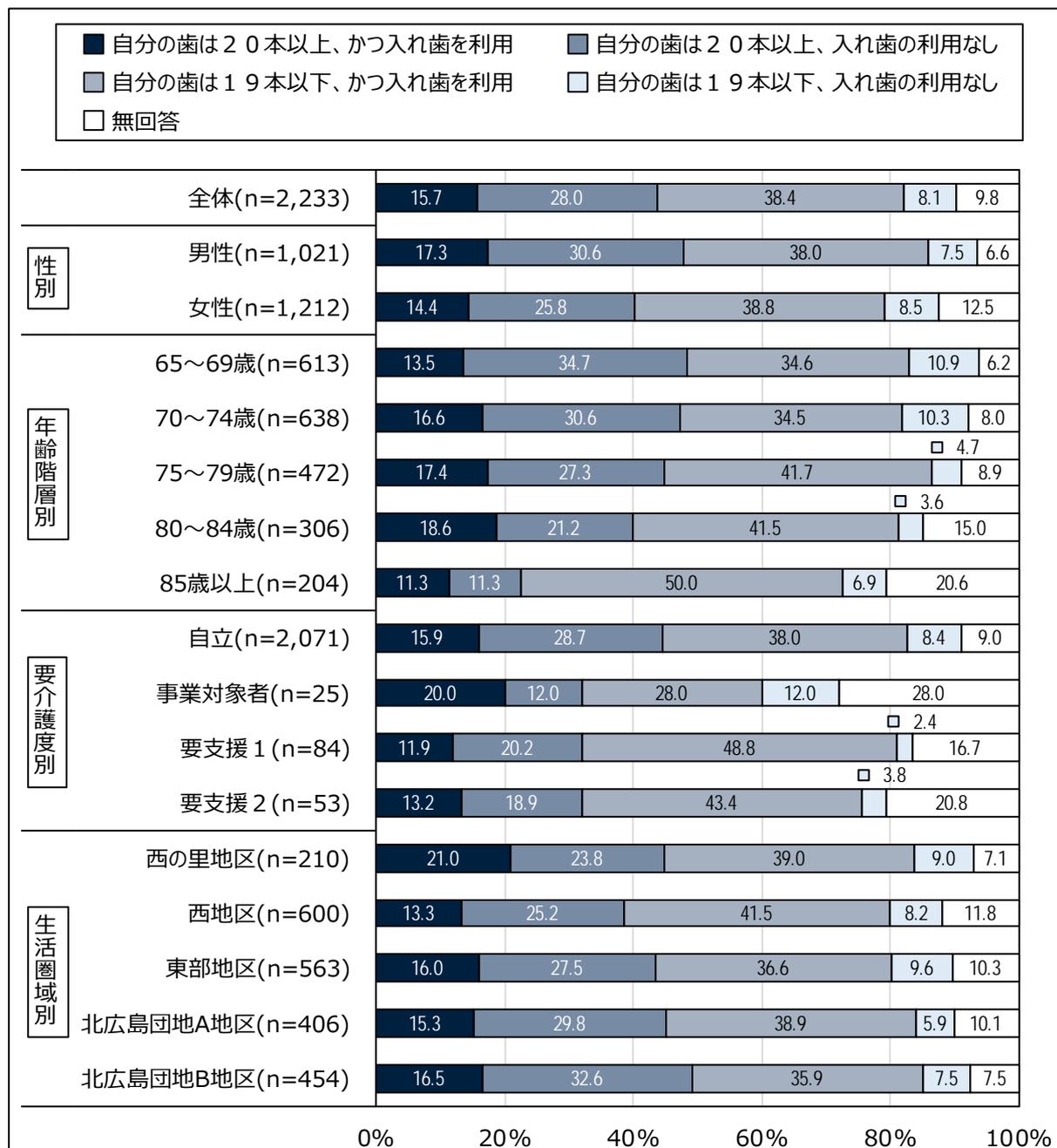
図表 2-5-6 噛み合わせは良いか



#### 問4. (7) 歯の数と入れ歯の利用状況を教えてください

- 全体では、「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」が約4割で最も高くなっている。  
『入れ歯の利用あり（自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用・自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用の合計）』は約 5 割となっている。
- 年齢階層別にみると、年齢が高くなるにつれて『入れ歯の利用あり（自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用・自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用の合計）』の割合が高くなり、80 歳以上は 6 割以上となっている。

図表 2-5-7 歯の数と入れ歯の利用状況

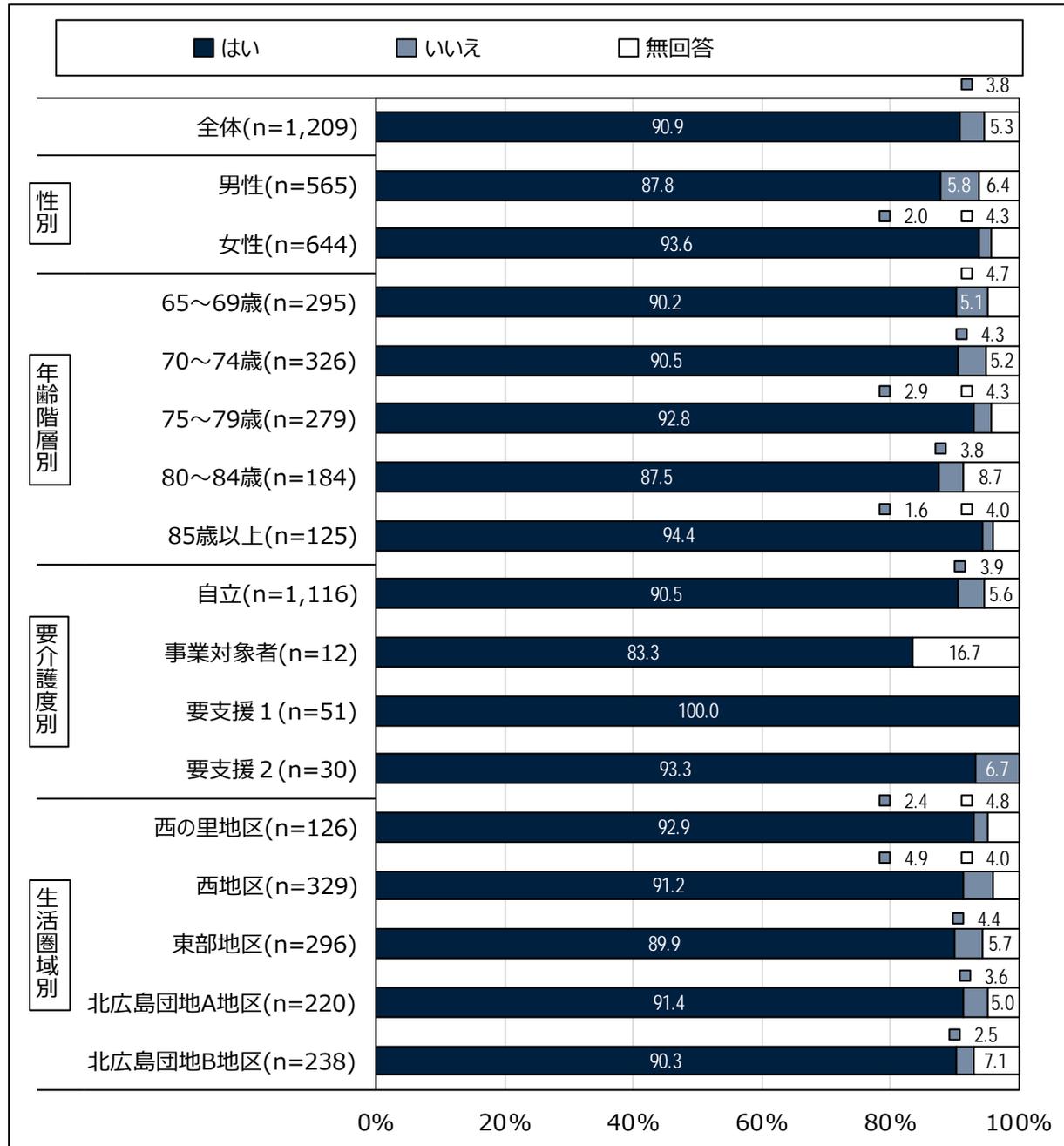


#### 問4. (7) - 1. 毎日入れ歯の手入れをしていますか

※問4 (7) で「入れ歯を利用」を選択した方が回答

- 全体では、「はい」が約9割、「いいえ」が1割未満となっている。
- 全ての属性で「はい」が8割以上を占めている。

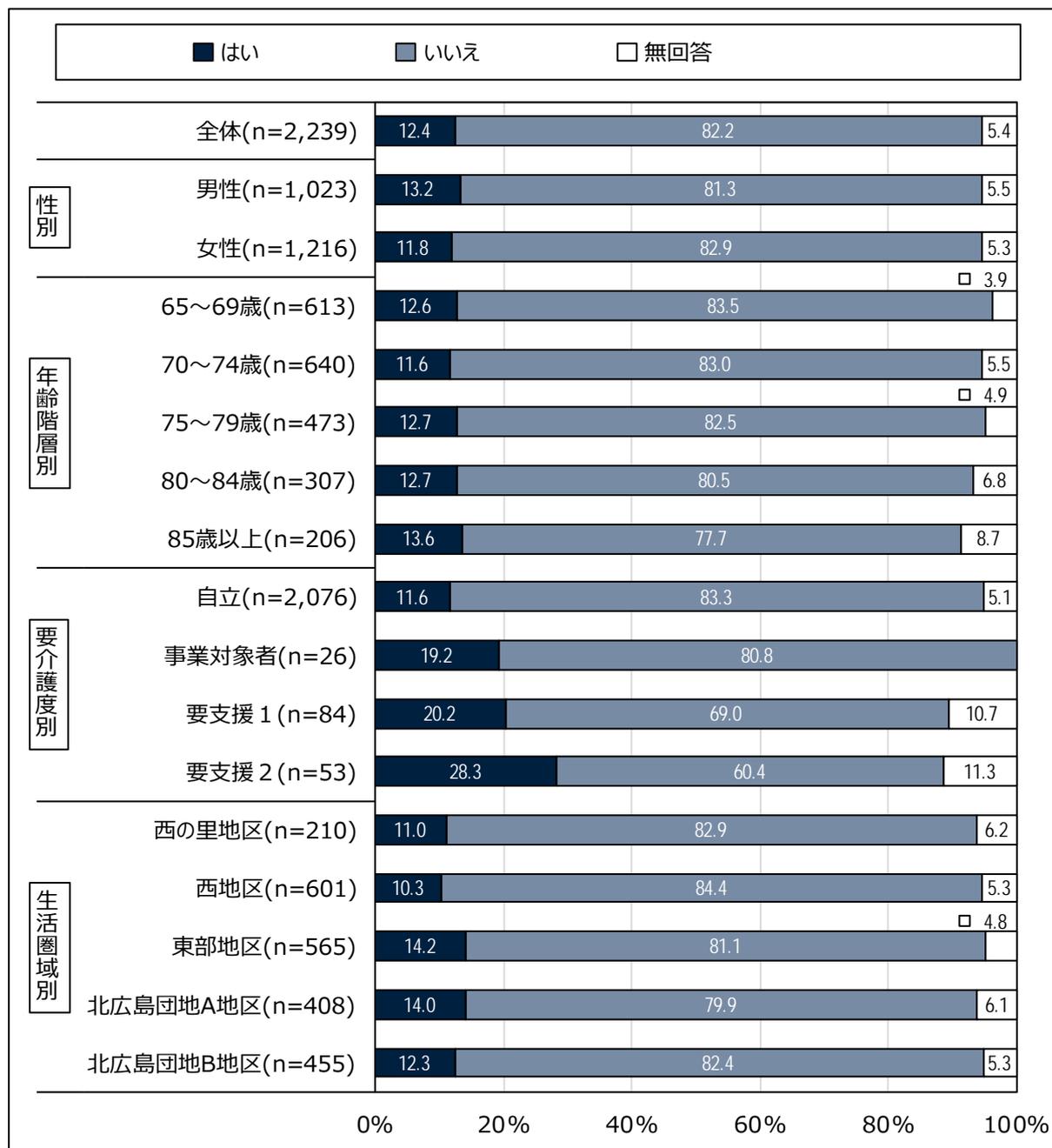
図表 2-5-8 毎日入れ歯の手入れをしているか



#### 問4. (8) 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか

- ・全体では、「はい」が約1割、「いいえ」が約8割となっている。
- ・要介護度別にみると、要介護度が高くなるにつれて「はい」の割合が高くなり、要支援2では約3割となっている。

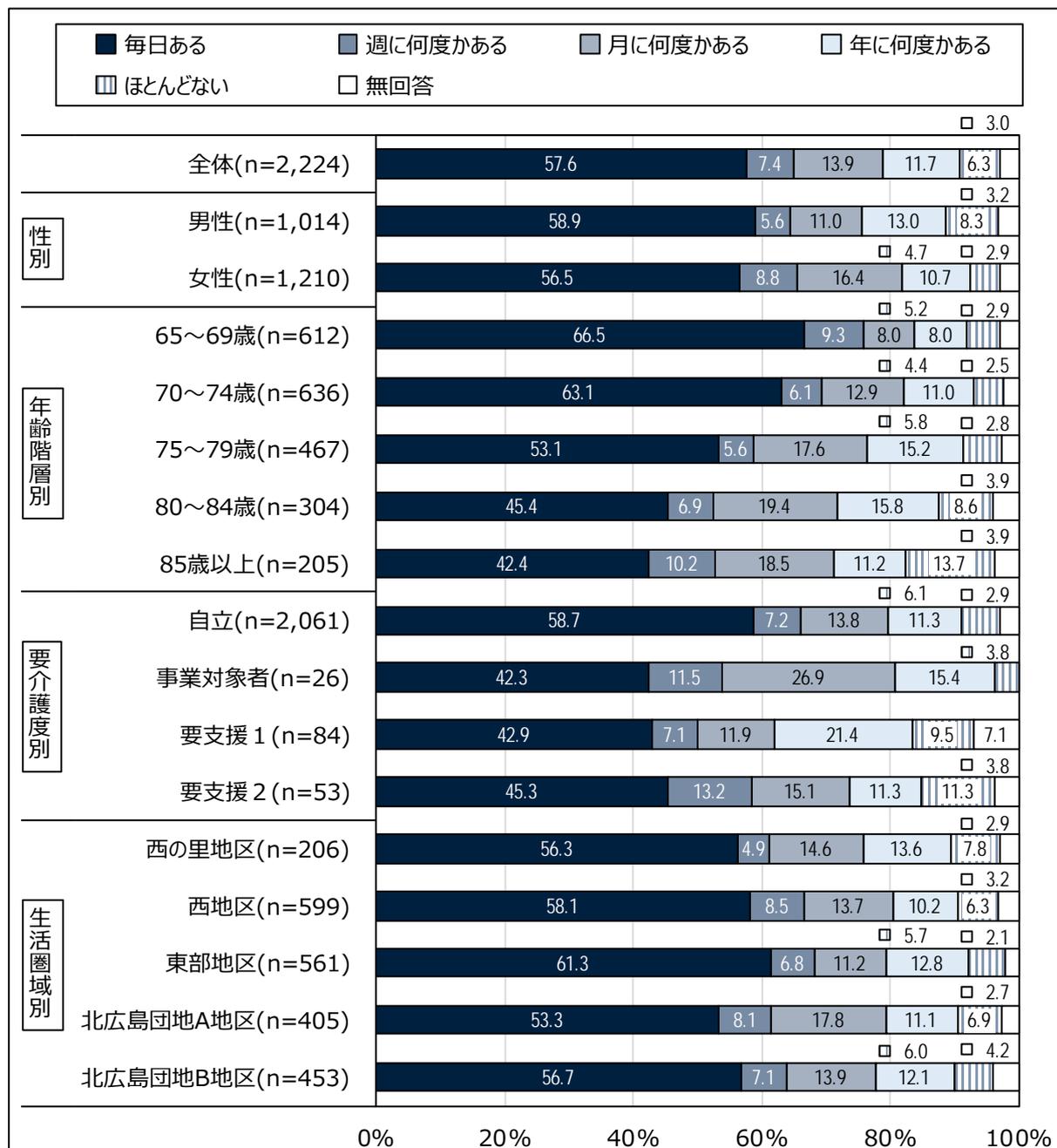
図表 2-5-9 6か月間で2～3kg以上の体重減少があるか



#### 問4. (9) どなたかと食事をとる機会がありますか

- 全体では、「毎日ある」が約6割で最も高くなっている。『どなたかと食事をとる機会がある（年に何度かある以上の合計）は約9割となっている。
- 年齢階層別にみると、年齢が高くなるにつれて「毎日ある」の割合が低くなり、85歳以上では約4割となっている。
- 要介護度別にみると、事業対象者以上は「毎日ある」が5割未満で、自立と比べて低くなっている。

図表 2-5-10 どなたかと食事をとる機会はあるか

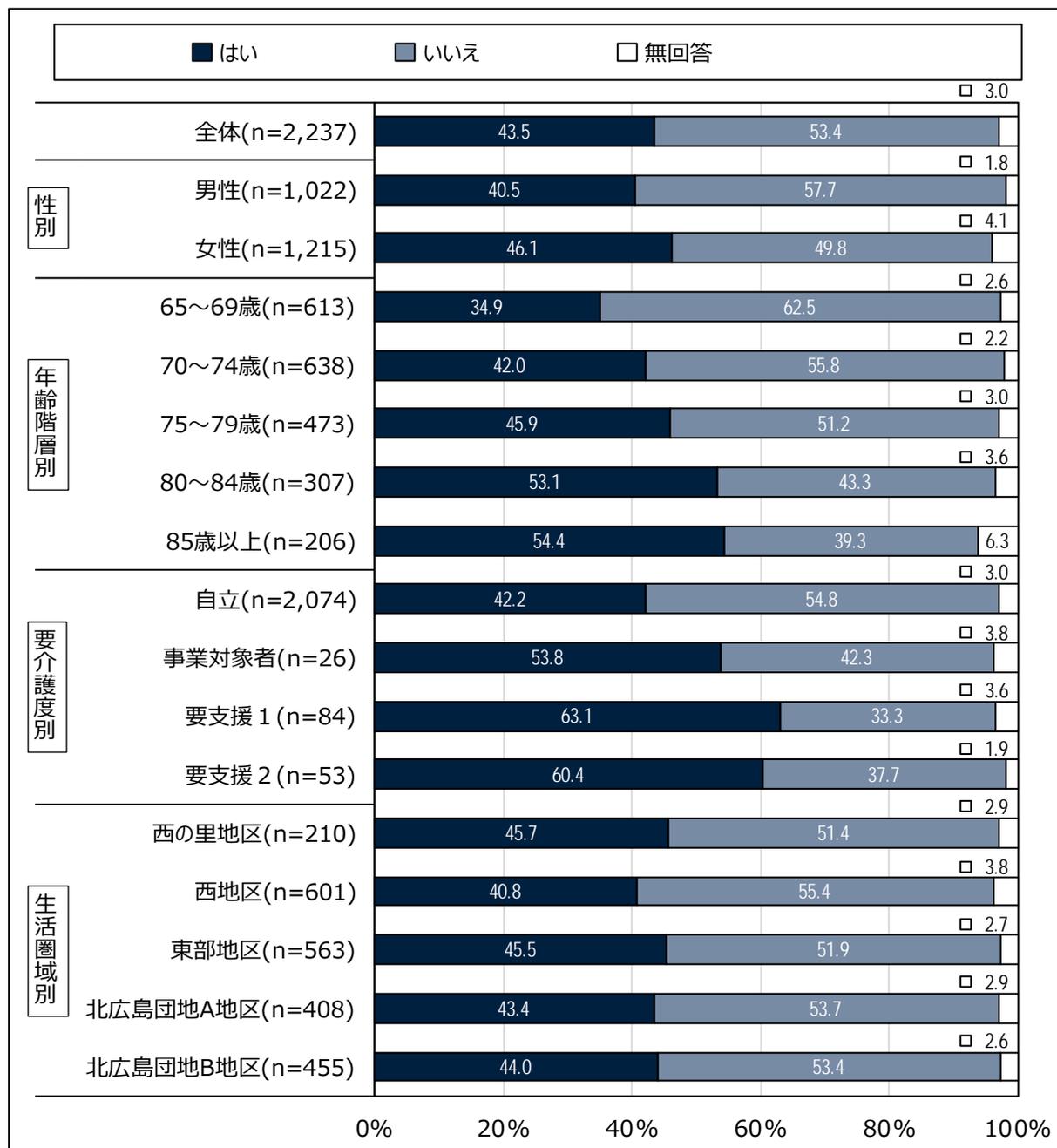


## 2. 6 毎日の生活について

### 問5. (1) 物忘れが多いと感じますか

- 全体では、「はい」が約4割、「いいえ」が約5割となっている。
- 年齢階層別にみると、年齢が高くなるにつれて「はい」の割合が高くなり、80歳以上は5割以上となっている。
- 要介護度別にみると、事業対象者以上は「はい」が5割以上で自立と比べて高くなっている。

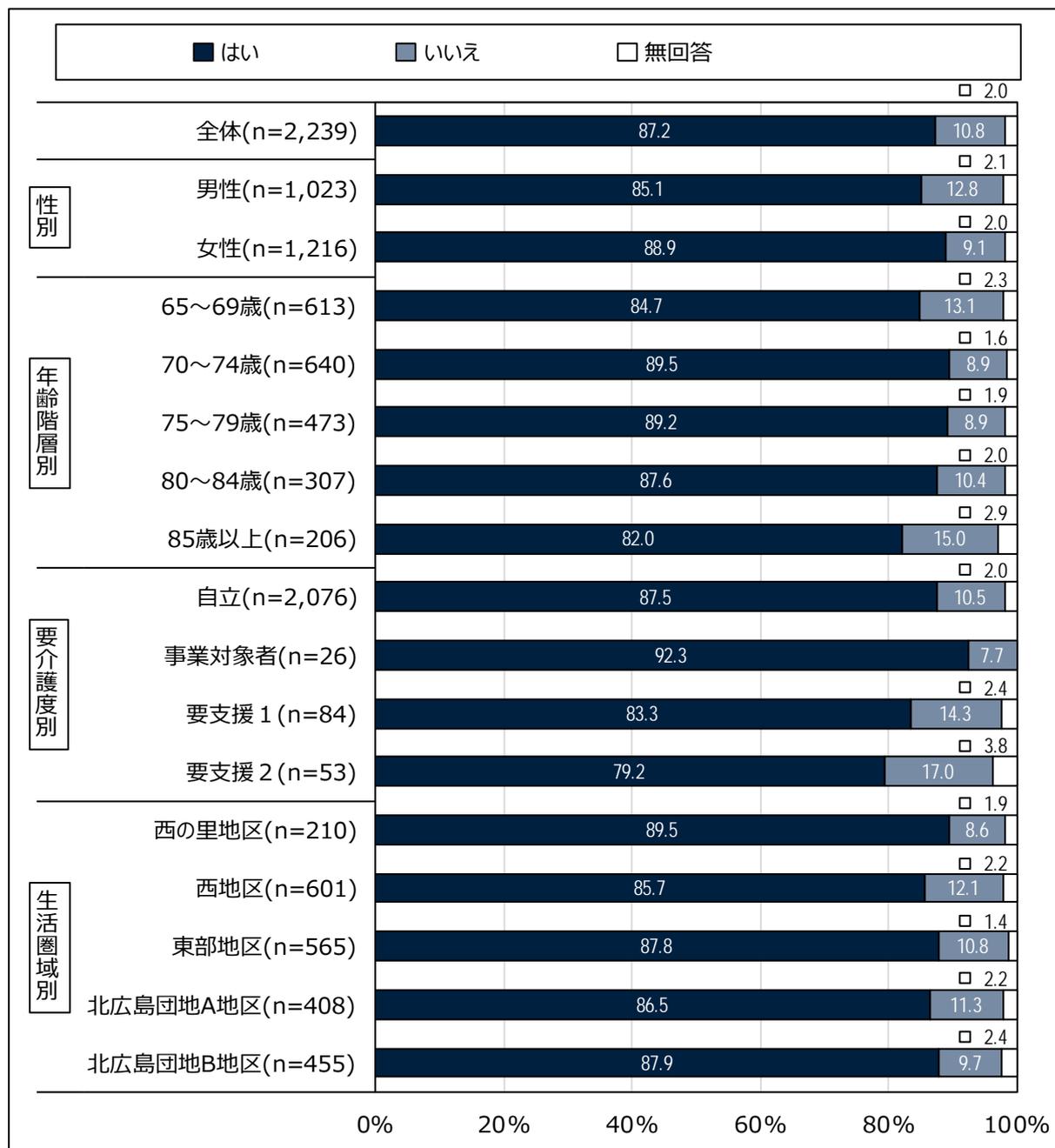
図表 2-6-1 物忘れが多いと感じるか



問5. (2) 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか

- ・全体では、「はい」が約9割、「いいえ」が約1割となっている。
- ・要介護度別にみると、要支援2は「はい」が8割未満で他の要介護度と比べて低くなっている。

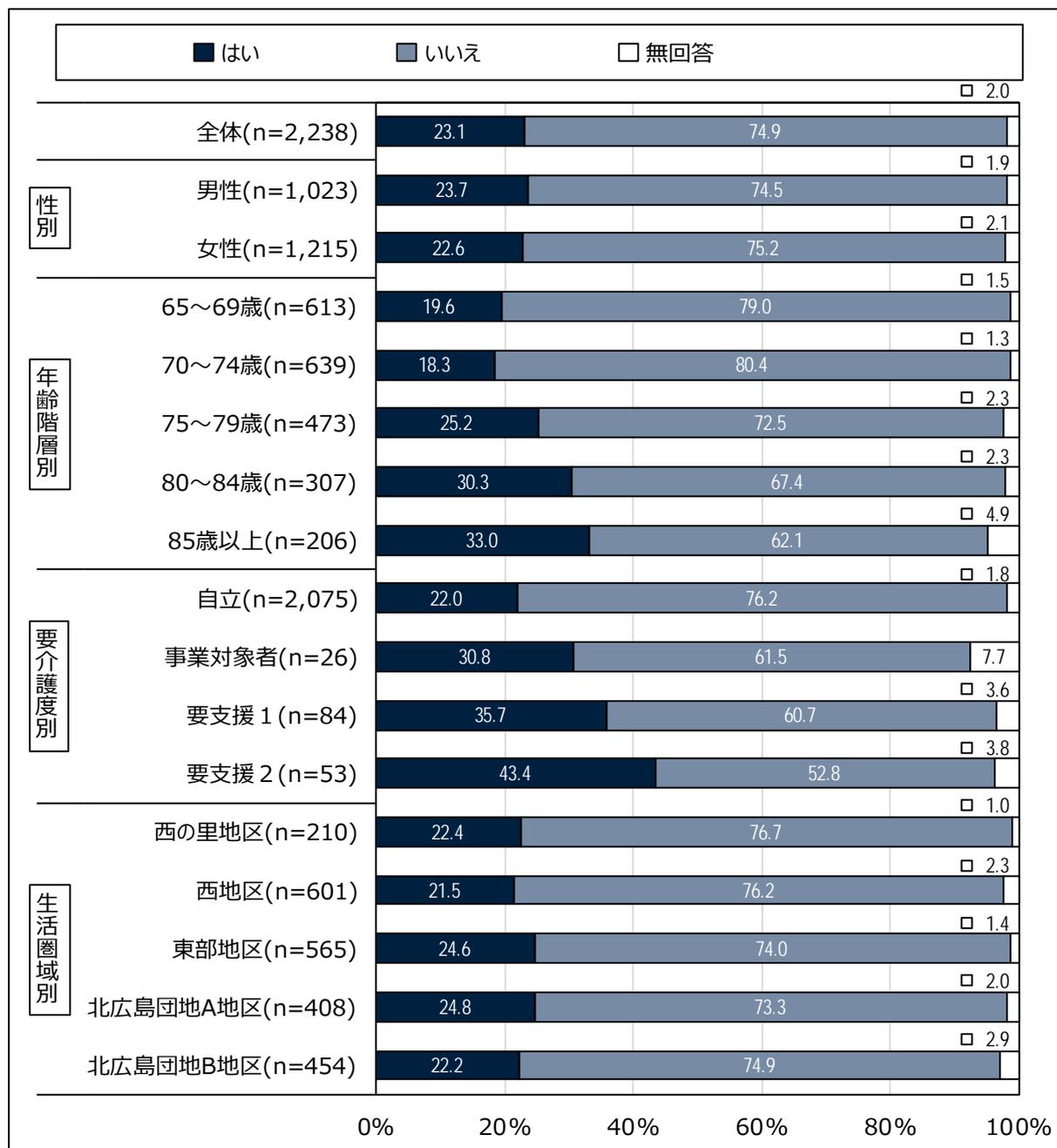
図表 2-6-2 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしているか



### 問5. (3) 今日が何月何日かわからない時がありますか

- 全体では、「はい」が約2割、「いいえ」が約7割となっている。
- 年齢階層別にみると、70歳以上は年齢が高くなるにつれて「はい」の割合が高くなっている。
- 要介護度別にみると、要介護度が高くなるにつれて「はい」の割合が高くなり、要支援2では4割以上となっている。

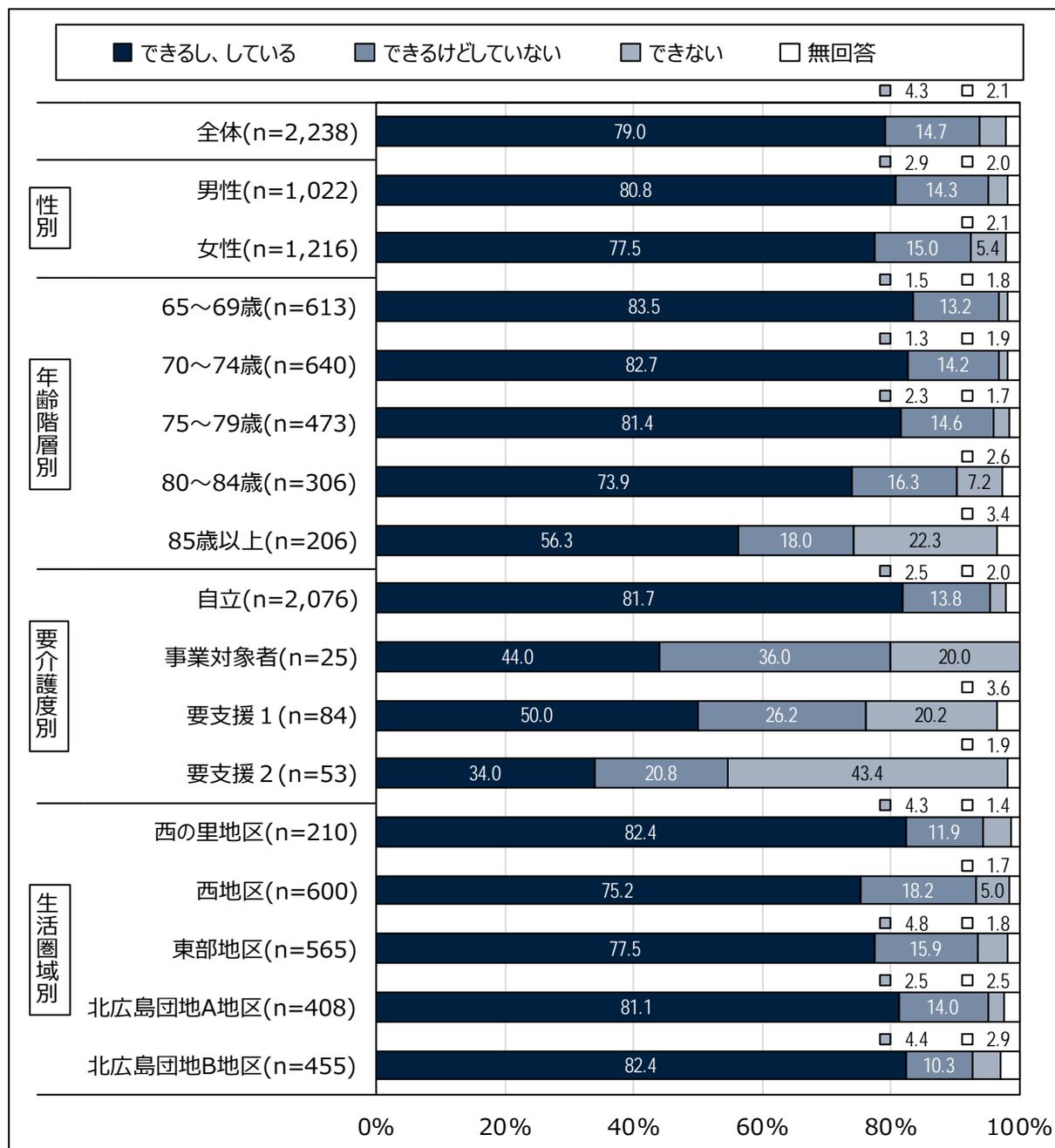
図表 2-6-3 今日が何月何日かわからない時があるか



問5. (4) バスや電車（自家用車でも可）を使って1人で外出していますか

- 全体では、「できるし、している」が約8割を占めている。
- 年齢階層別にみると、70歳以上は年齢が高くなるにつれて「できない」の割合が高くなり、85歳以上では約2割となっている。
- 要介護度別にみると、要介護度が高くなるにつれて「できない」の割合が高くなり、要支援2では約4割となっている。

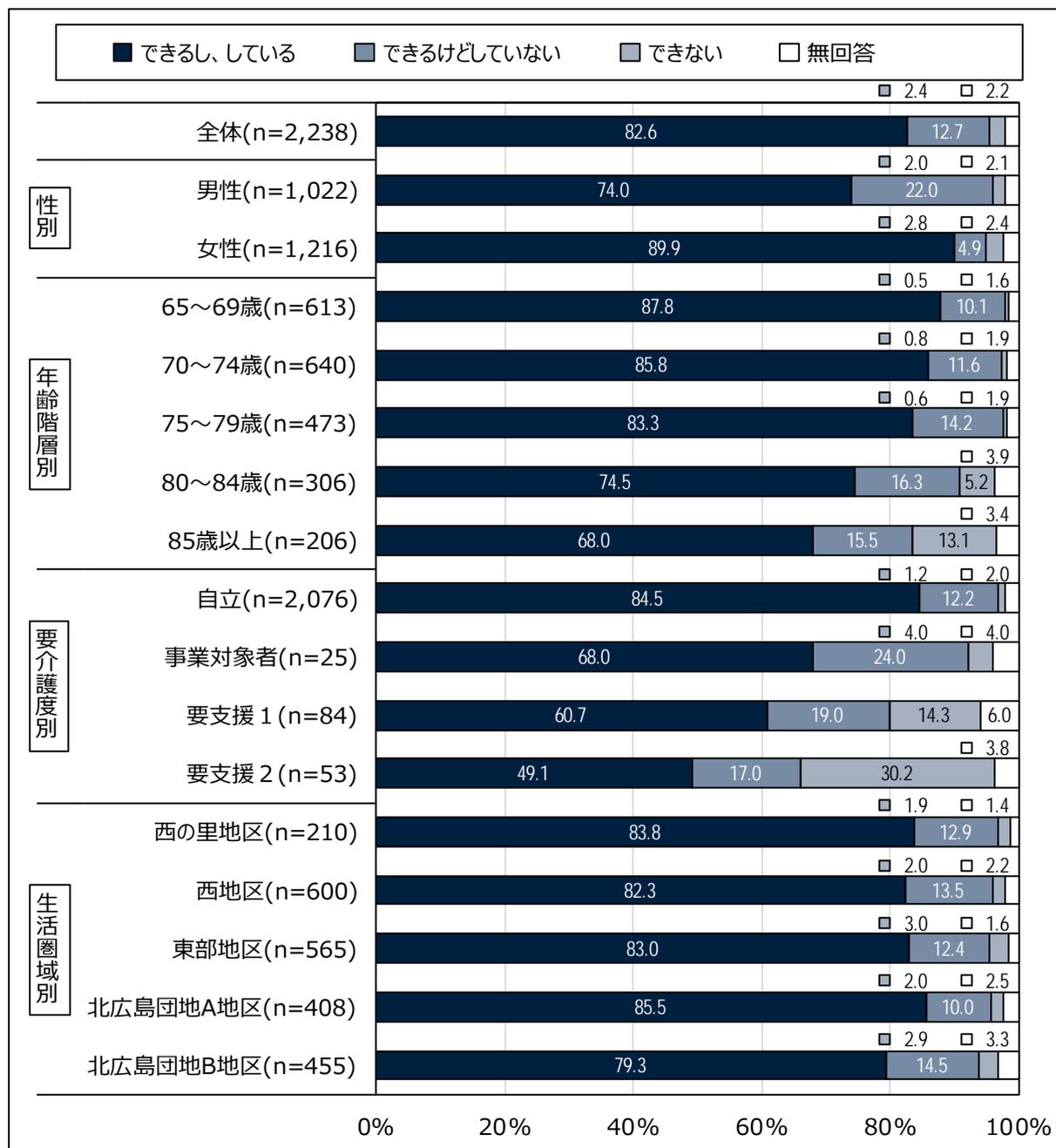
図表 2-6-4 バスや電車（自家用車でも可）を使って1人で外出しているか



### 問5. (5) 自分で食品・日用品の買い物をしていますか

- ・全体では、「できるし、している」が約8割を占めている。
- ・年齢階層別にみると、75歳以上は年齢が高くなるにつれて「できない」の割合が高くなっている。
- ・要介護度別にみると、要介護度が高くなるにつれて「できない」の割合が高くなり、要支援2では約3割となっている。

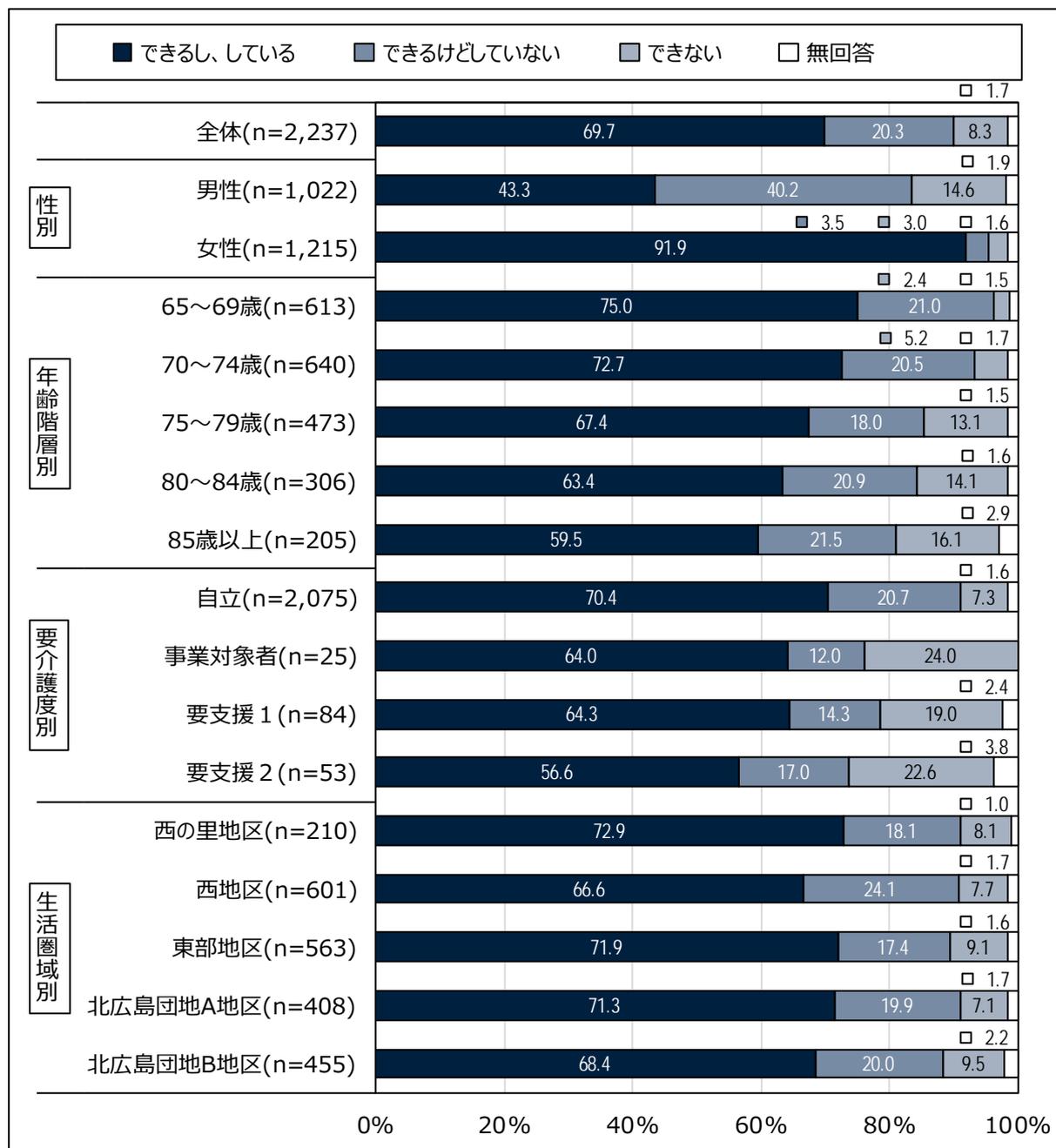
図表 2-6-5 自分で食品・日用品の買い物をしているか



### 問5（6）自分で食事の用意をしていますか

- ・全体では、「できるし、している」が約7割を占めている。
- ・性別でみると、男性は「できない」が約1割で、女性と比べて高くなっている。
- ・年齢階層別にみると、年齢が高くなるにつれて「できない」の割合が高くなっている。
- ・要介護度別にみると、事業対象者以上は「できない」が約2割で自立と比べて高くなっている。

図表 2-6-6 自分で食事の用意をしているか

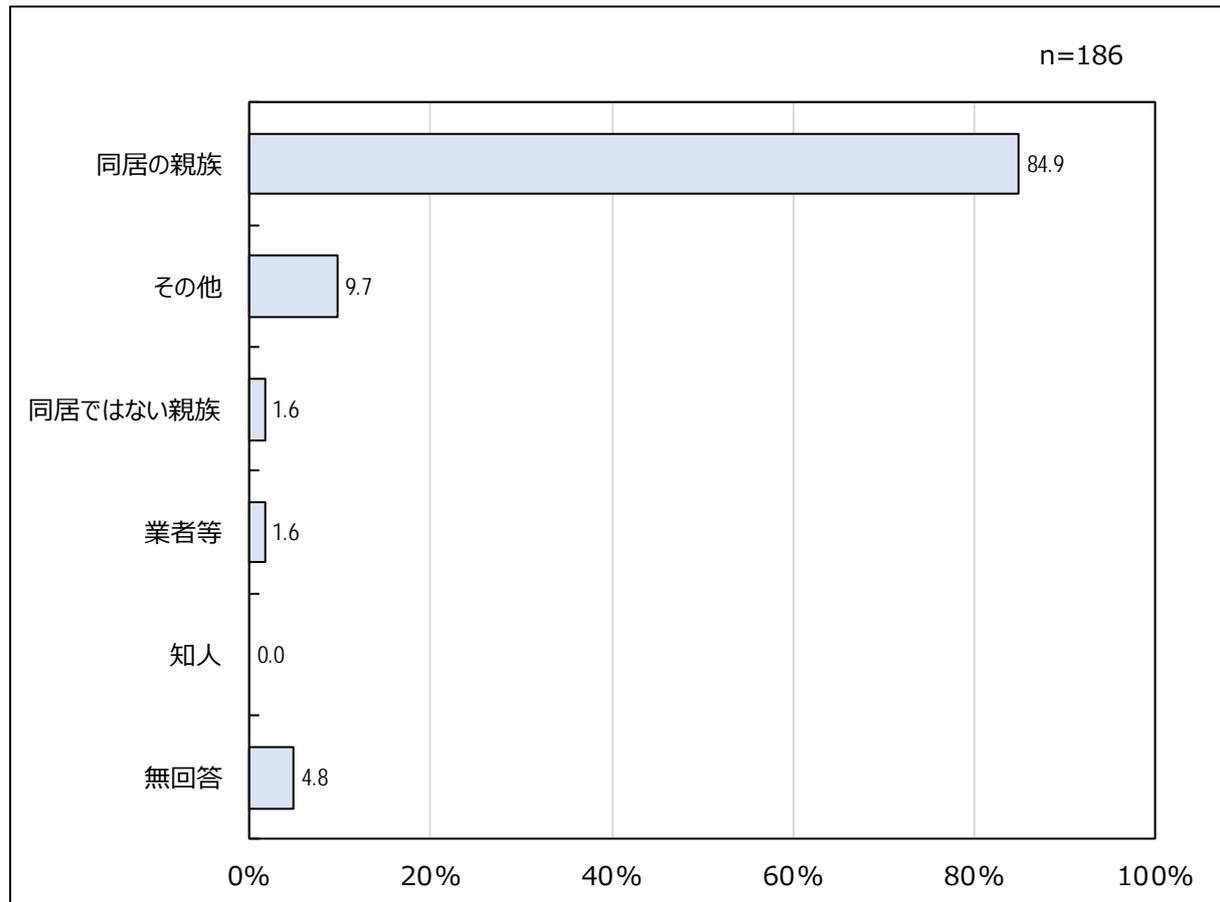


### 問5. (6)-1. どなたが食事の用意をしていますか

※問5(6)で「できない」を選択した方が回答

- 全体では、「同居の親族」が約8割で最も高くなっている。
- 性別にみると、男性は「同居の親族」が約9割で、女性と比べて高くなっている。
- 年齢階層別にみると、70歳以上は年齢が高くなるにつれて「同居の親族」の割合が低くなっている。

図表 2-6-7 どなたが食事の用意をしているか (全体)



図表 2-6-8 どなたが食事の用意をしているか（属性別）

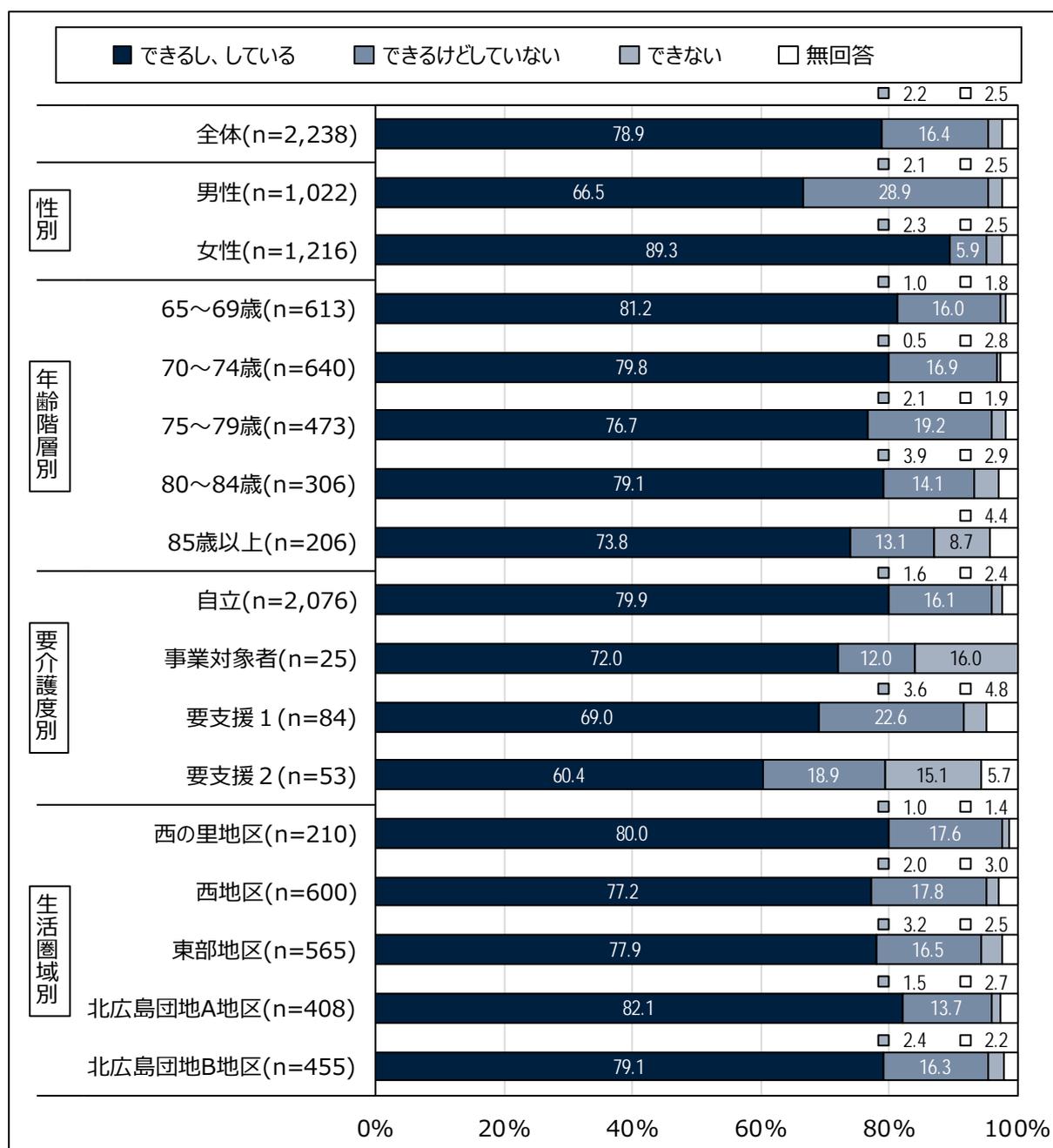
(%)

	同居 の 親 族	同 居 で は な い 親 族	知 人	業 者 等	そ の 他	無 回 答
全体 (n=186)	84.9	1.6	-	1.6	9.7	4.8
性別						
男性 (n=149)	89.3	1.3	-	2.0	8.1	2.7
女性 (n=37)	67.6	2.7	-	-	16.2	13.5
年齢階層別						
65～69歳 (n=15)	66.7	6.7	-	6.7	26.7	-
70～74歳 (n=33)	90.9	-	-	3.0	3.0	6.1
75～79歳 (n=62)	90.3	-	-	-	6.5	4.8
80～84歳 (n=43)	83.7	2.3	-	2.3	16.3	-
85歳以上 (n=33)	78.8	3.0	-	-	6.1	12.1
要介護度別						
自立 (n=152)	87.5	1.3	-	1.3	9.2	3.3
事業対象者 (n=6)	66.7	-	-	16.7	33.3	-
要支援1 (n=16)	68.8	6.3	-	-	12.5	12.5
要支援2 (n=12)	83.3	-	-	-	-	16.7
生活圏域別						
西の里地区 (n=17)	82.4	5.9	-	-	17.6	-
西地区 (n=46)	87.0	-	-	2.2	10.9	2.2
東部地区 (n=51)	76.5	2.0	-	2.0	13.7	9.8
北広島団地A地区 (n=29)	89.7	-	-	-	6.9	3.4
北広島団地B地区 (n=43)	90.7	2.3	-	2.3	2.3	4.7

### 問5. (7) 自分で請求書の支払いをしていますか

- ・全体では、「できるし、している」が約8割を占めている。
- ・性別にみると、男性は「できるけど、していない」が約3割で、女性と比べて高くなっている。
- ・年齢階層別にみると、70歳以上は年齢が高くなるにつれて「できない」の割合が高くなっている。
- ・要介護度別にみると、要介護度が高くなるにつれて「できるし、している」の割合が低くなり、要支援2では約6割となっている。

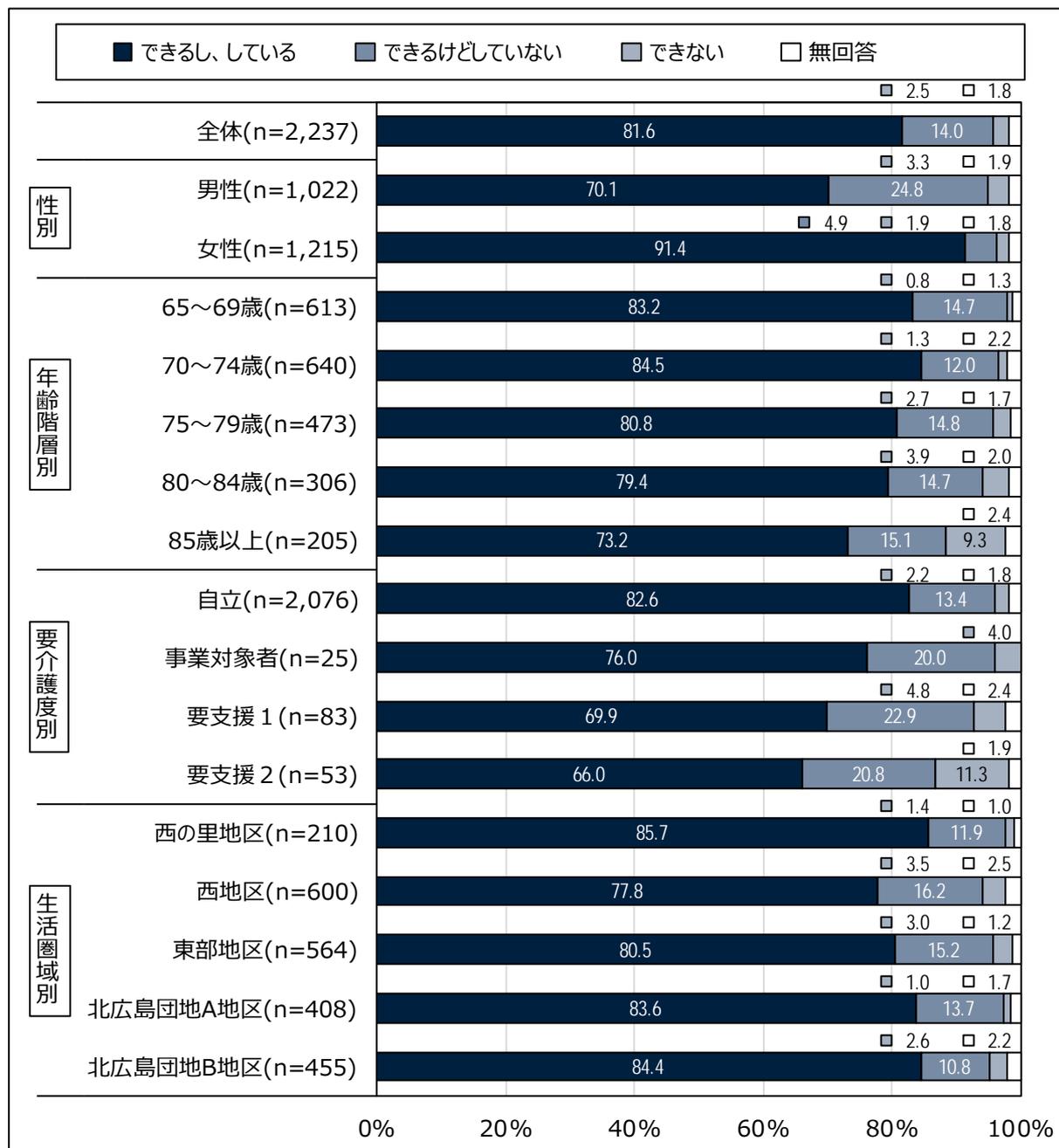
図表 2-6-9 自分で請求書の支払いをしているか



### 問5. (8) 自分で預貯金の出し入れをしていますか

- 全体では、「できるし、している」が約8割で最も高くなっている。
- 性別にみると、男性は「できるけど、していない」が約2割で、女性と比べて高くなっている。
- 年齢階層別にみると、年齢が高くなるにつれて「できない」の割合が高くなっている。
- 要介護度別にみると、要介護度が高くなるにつれて「できない」の割合が自立と比べて高くなっている。

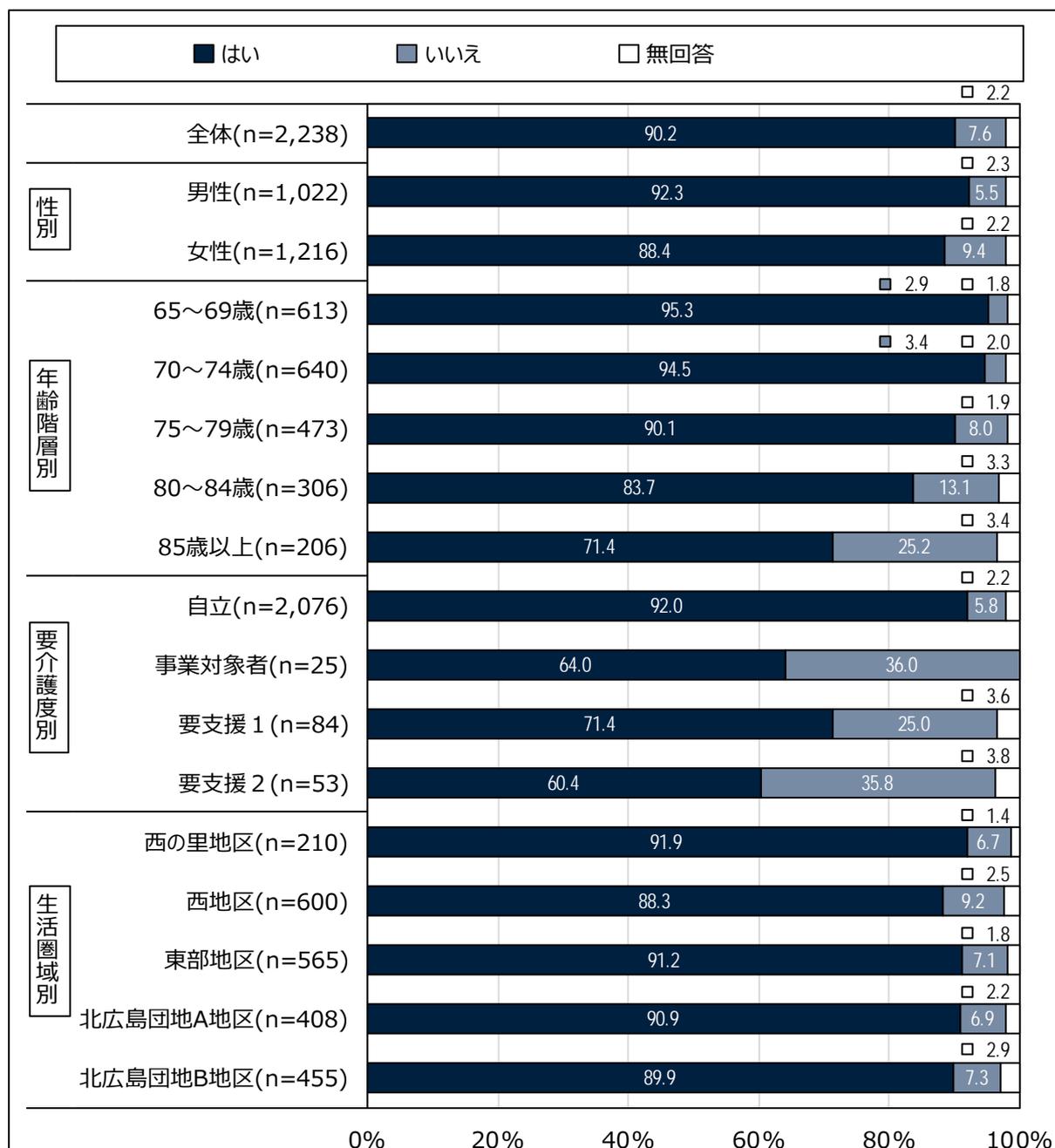
図表 2-6-10 自分で預貯金の出し入れをしているか



問5. (9) 年金などの書類(役所や病院などに出す書類)が書けますか

- 全体では、「はい」が約9割、「いいえ」が約1割となっている。
- 年齢階層別にみると、年齢が高くなるにつれて「はい」の割合が低くなり、85歳以上では約7割となっている。
- 要介護度別にみると、事業対象者以上は「はい」が7割以下で自立と比べて低くなっている。

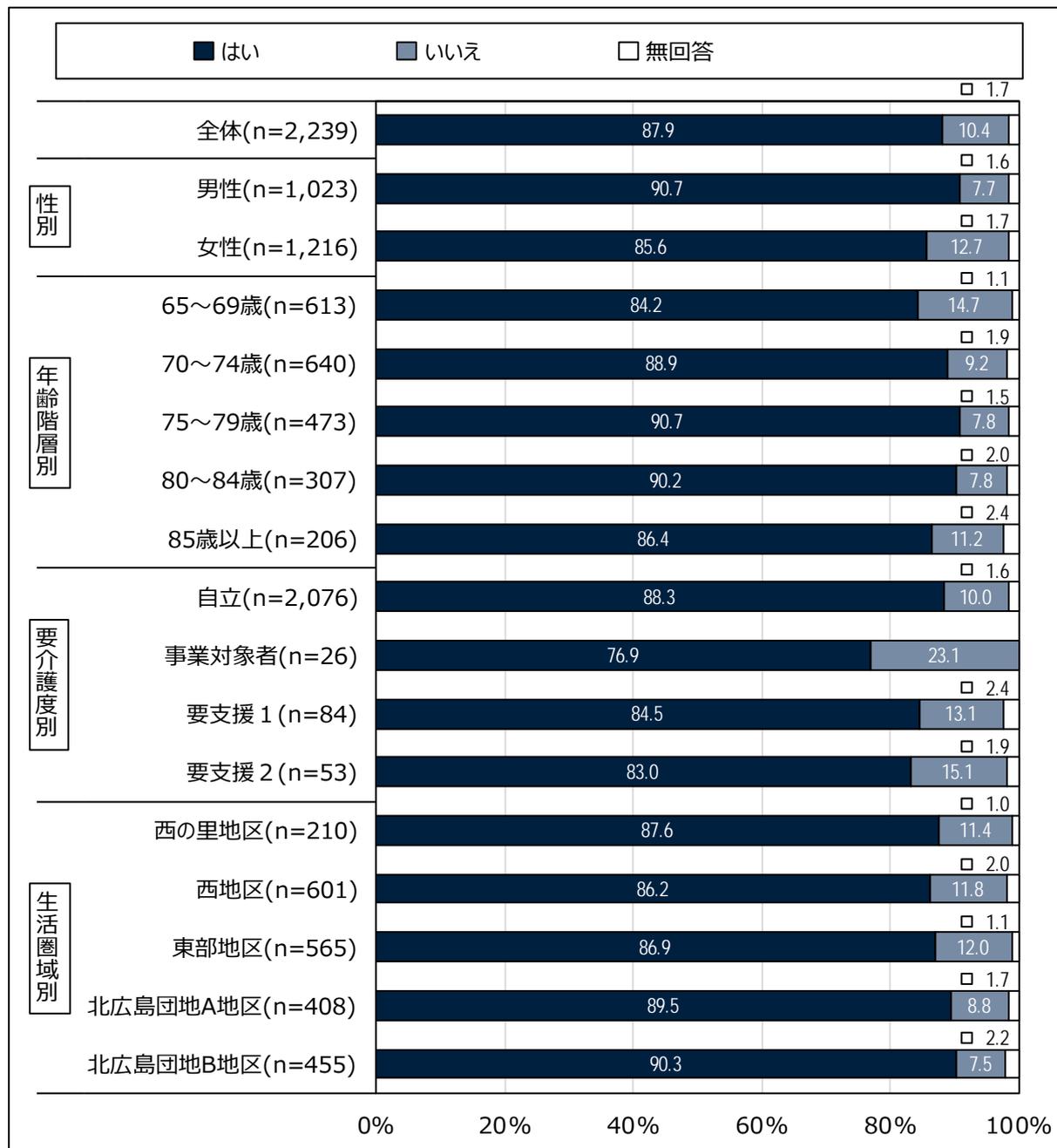
図表 2-6-11 自分で年金などの書類が書けるか



### 問5. (10) 新聞を読んでいますか

- 全体では、「はい」が約9割、「いいえ」が約1割となっている。
- 全ての属性で「はい」が7割以上となっている。

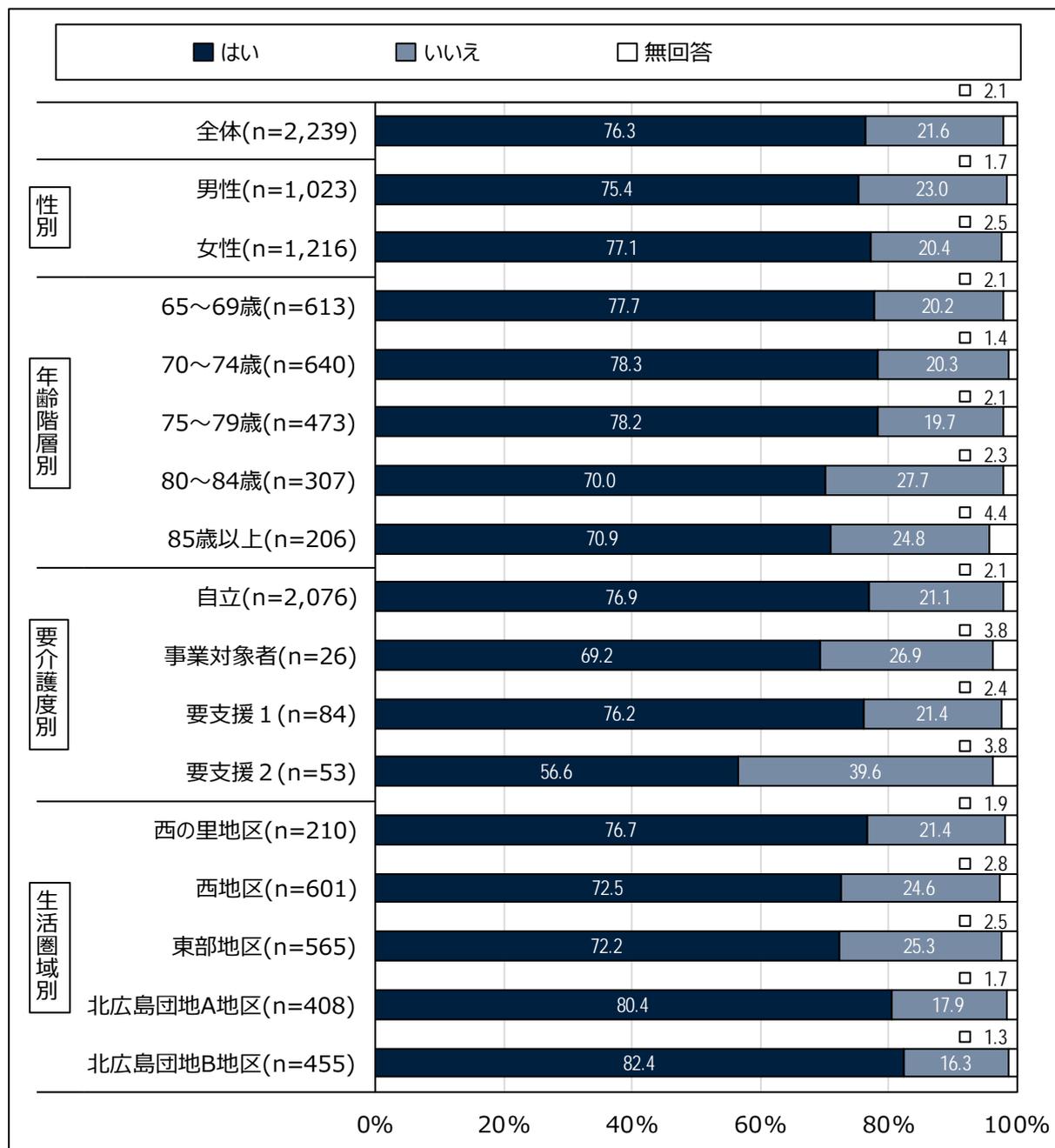
図表 2-6-12 新聞を読んでいるか



### 問5. (11) 本や雑誌を読んでいますか

- ・全体では、「はい」が約8割、「いいえ」が約2割となっている。
- ・要介護度別にみると、要支援2は「いいえ」が約4割で、他の要介護度と比べて高くなっている。

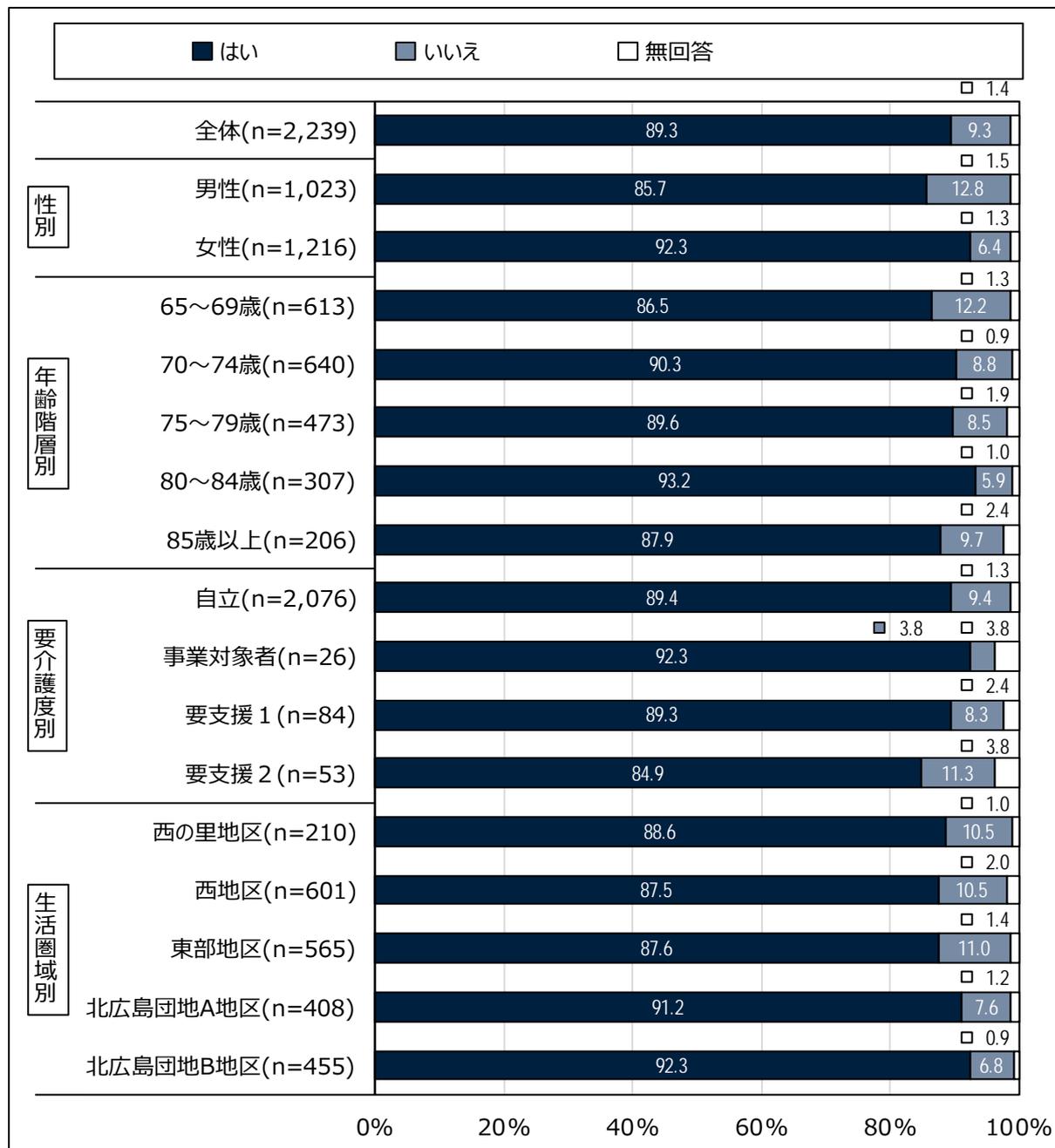
図表 2-6-13 本や雑誌を読んでいるか



### 問5. (12) 健康についての記事や番組に関心がありますか

- ・全体では、「はい」が約9割、「いいえ」が約1割となっている。
- ・全ての属性で「はい」が8割以上を占めている。

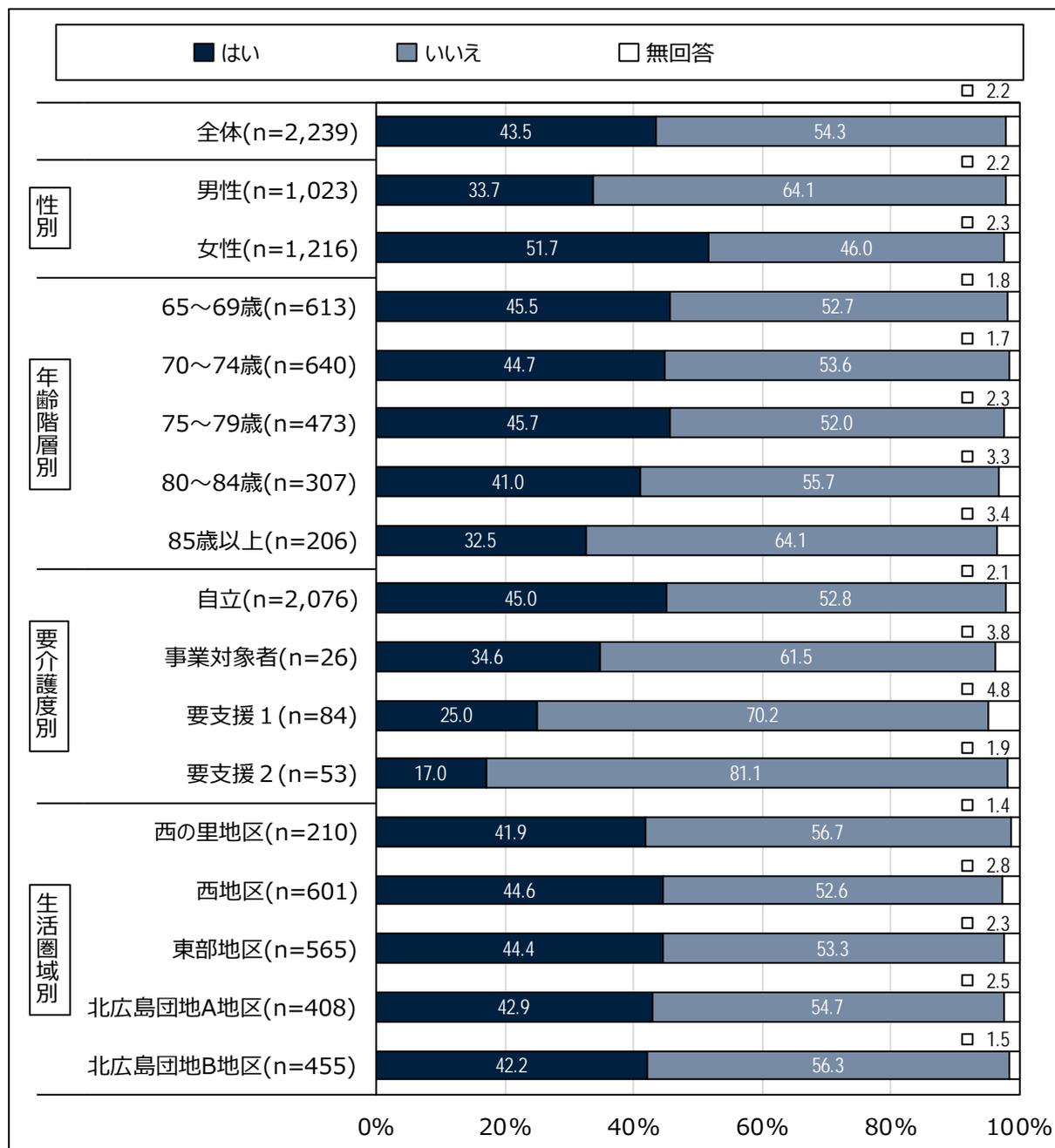
図表 2-6-14 健康についての記事や番組に関心があるか



### 問5. (13) 友人の家を訪ねていますか

- 全体では、「はい」が約4割、「いいえ」が約5割となっている。
- 年齢階層別にみると、75歳以上は年齢が高くなるにつれて「いいえ」の割合が高くなり、85歳以上では約6割となっている。
- 要介護度別にみると、要介護度が高くなるにつれて「いいえ」の割合が高くなり、要支援2では8割以上となっている。

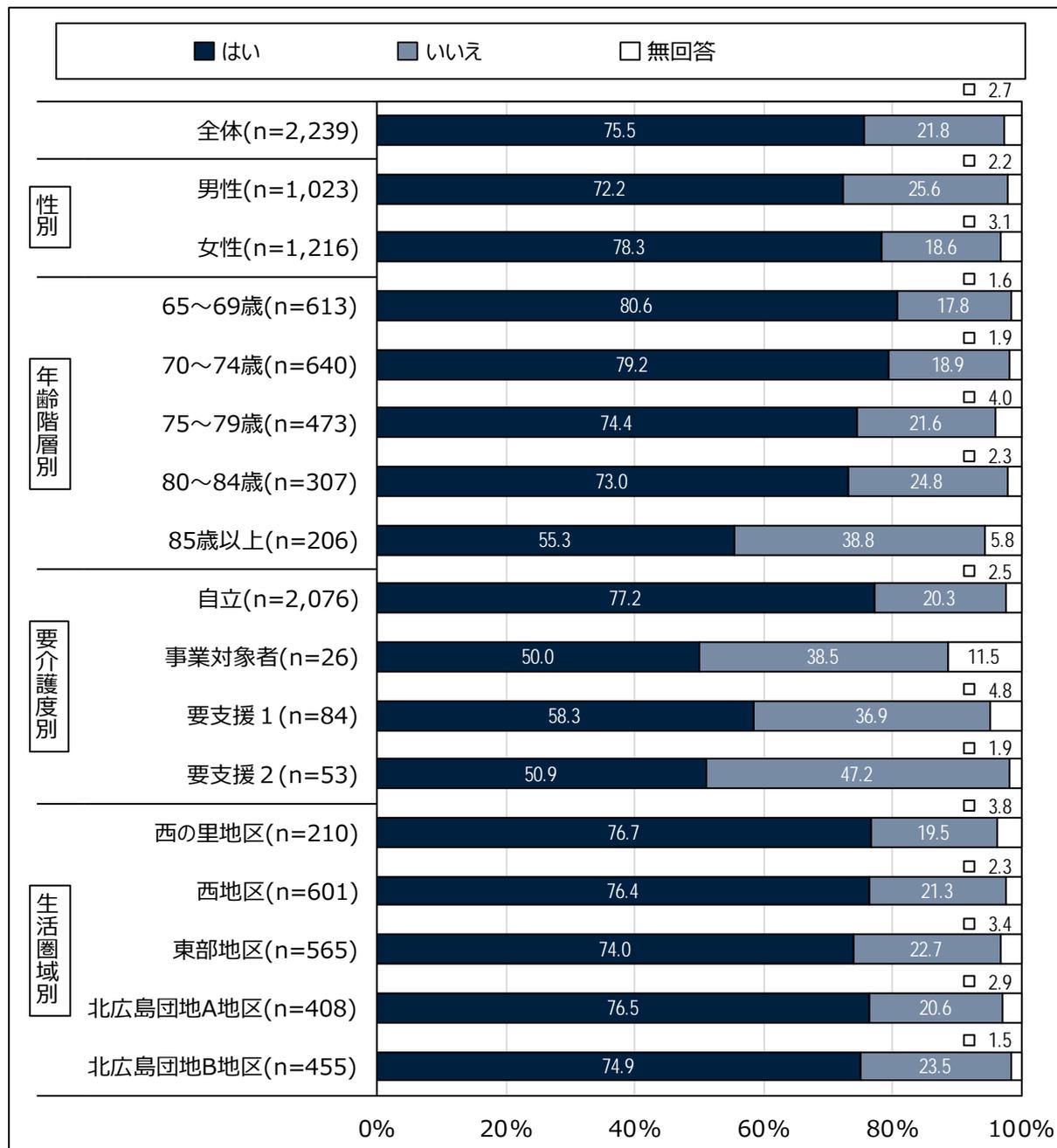
図表 2-6-15 友人の家を訪ねているか



### 問5. (14) 家族や友人の相談にのっていますか

- 全体では、「はい」が約8割、「いいえ」が約2割となっている。
- 年齢階層別にみると、年齢が高くなるにつれて「はい」の割合が低くなり、85歳以上では約6割となっている。
- 要介護度別にみると、事業対象者以上は「はい」が6割未満で自立と比べて低くなっている。

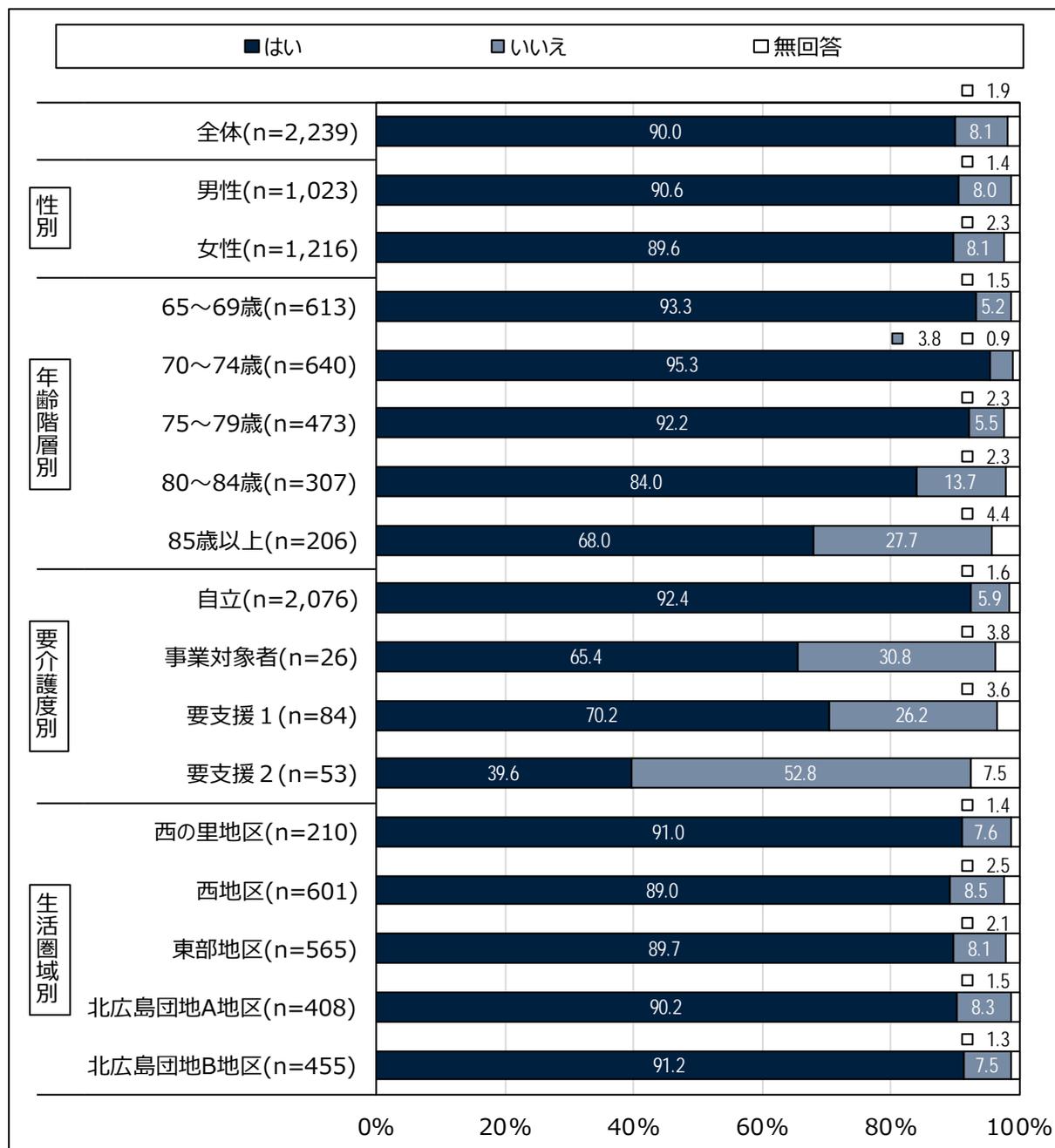
図表 2-6-16 家族や友人の相談にのっているか



### 問5. (15) 病人を見舞うことができますか

- ・全体では、「はい」が9割、「いいえ」が約1割となっている。
- ・年齢階層別にみると、70歳以上は年齢が高くなるにつれて「いいえ」の割合が高くなり、85歳以上では約3割となっている。
- ・要介護度別にみると、事業対象者以上は「いいえ」が2割以上で自立と比べて高くなっている。また、要支援2は「いいえ」が約5割で他の要介護と比べて低くなっている。

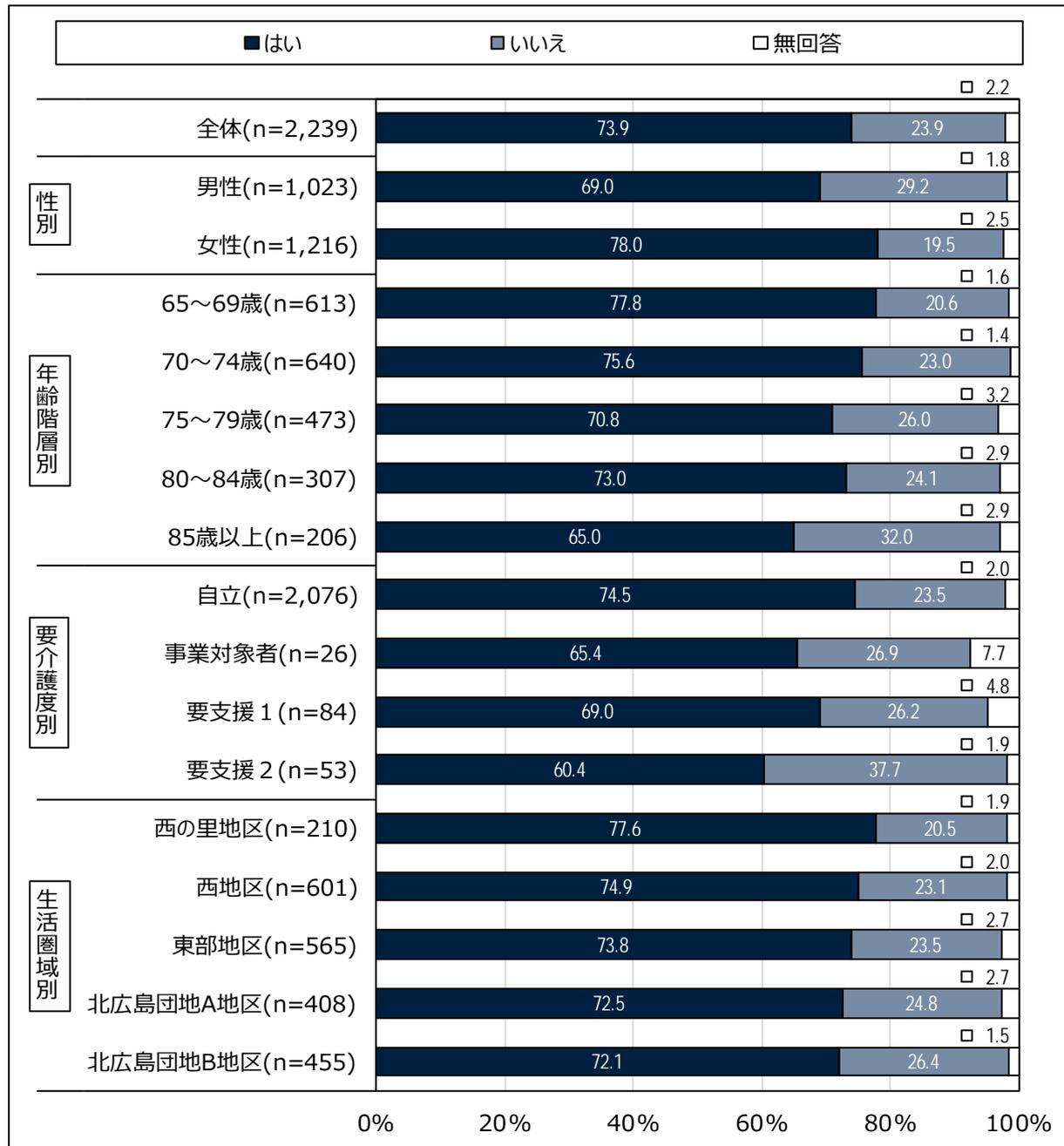
図表 2-6-17 病人を見舞うことができるか



問5. (16) 若い人に自分から話しかけることがありますか

- 全体では、「はい」が約7割、「いいえ」が約2割となっている。
- 年齢階層別にみると、85歳以上は「いいえ」が3割以上で、他の年齢階層と比べて高くなっている。
- 要介護度別にみると、要支援2は「いいえ」が約4割で他の要介護度と比べて高くなっている。

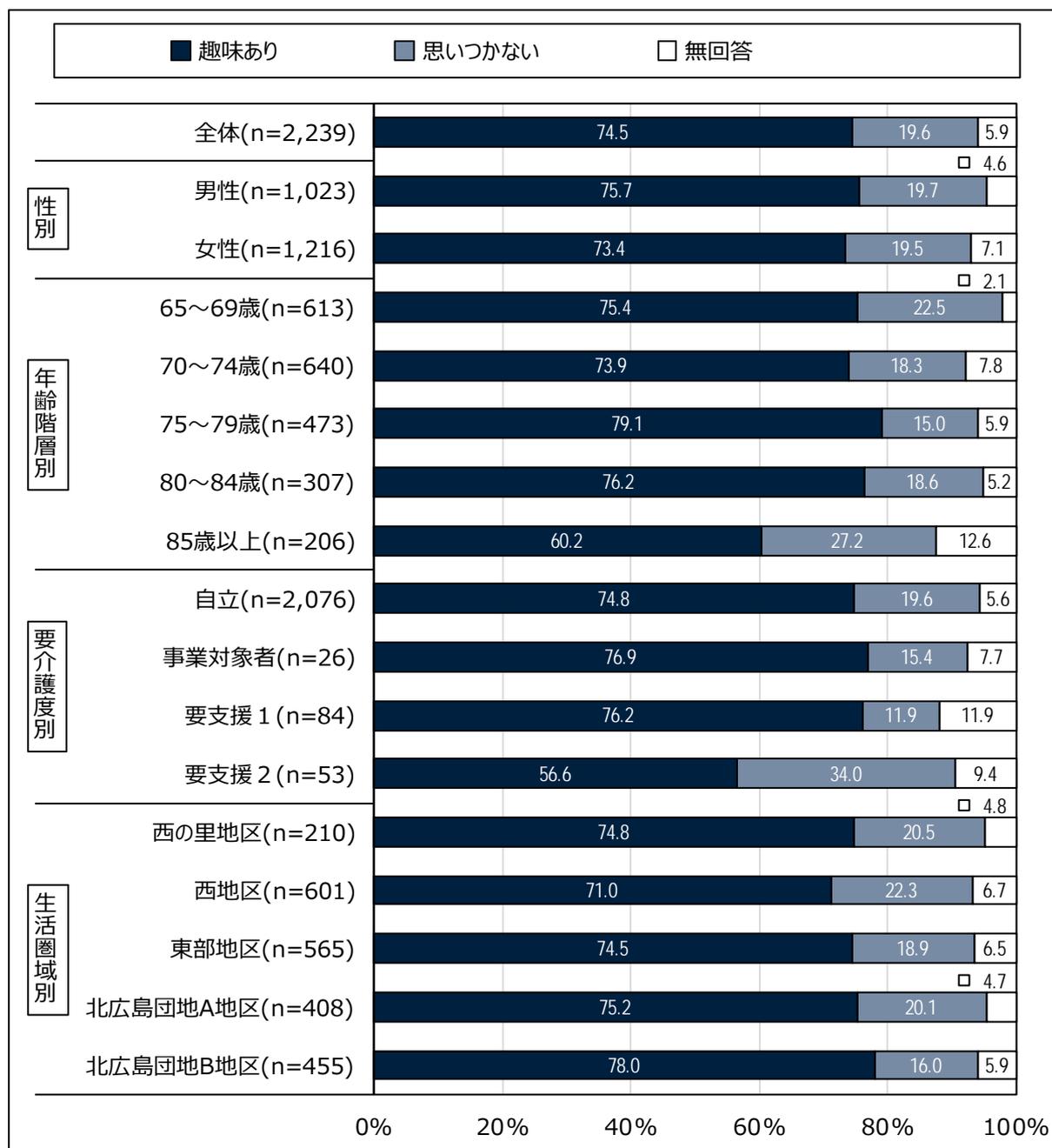
図表 2-6-18 若い人に自分から話しかけることがあるか



### 問5. (17) 趣味はありますか

- 全体では、「趣味あり」が約7割、「思いつかない」が約2割となっている。
- 年齢階層別にみると、75歳以上は年齢が高くなるにつれて「思いつかない」の割合が高くなり、85歳以上は約3割となっている。
- 要介護度別にみると、要支援2は「思いつかない」が約3割で、他の要介護度と比べて高くなっている。

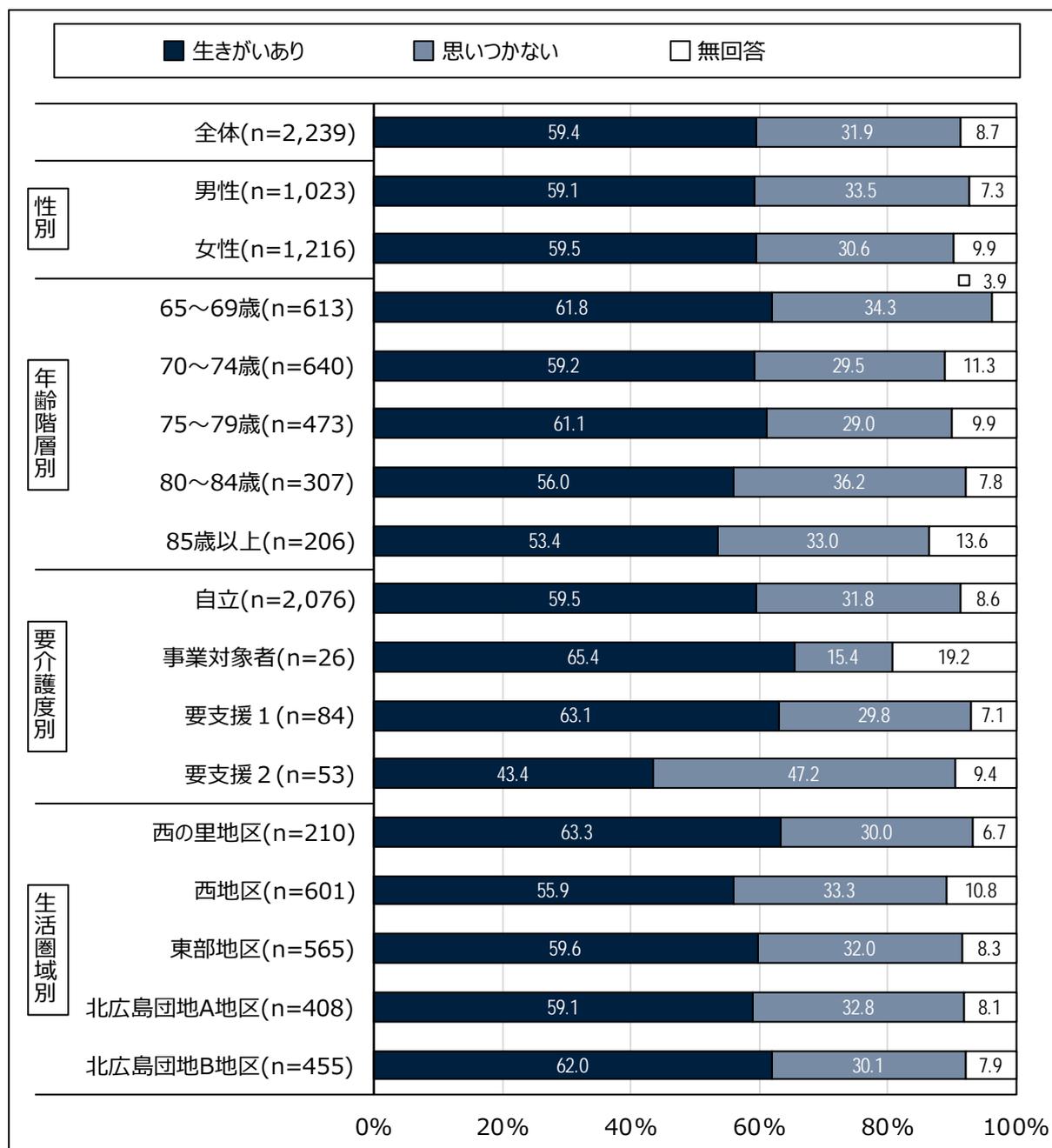
図表 2-6-19 趣味はあるか



### 問5. (18) 生きがいがありますか

- 全体では、「生きがいあり」は約6割、「思いつかない」が約3割となっている。
- 年齢階層別にみると、75歳以上は年齢が高くなるにつれて「生きがいあり」の割合が低くなっている。
- 要介護度別にみると、要支援2は「思いつかない」が約5割で、他の要介護度と比べて高くなっている。

図表 2-6-20 生きがいはあるか

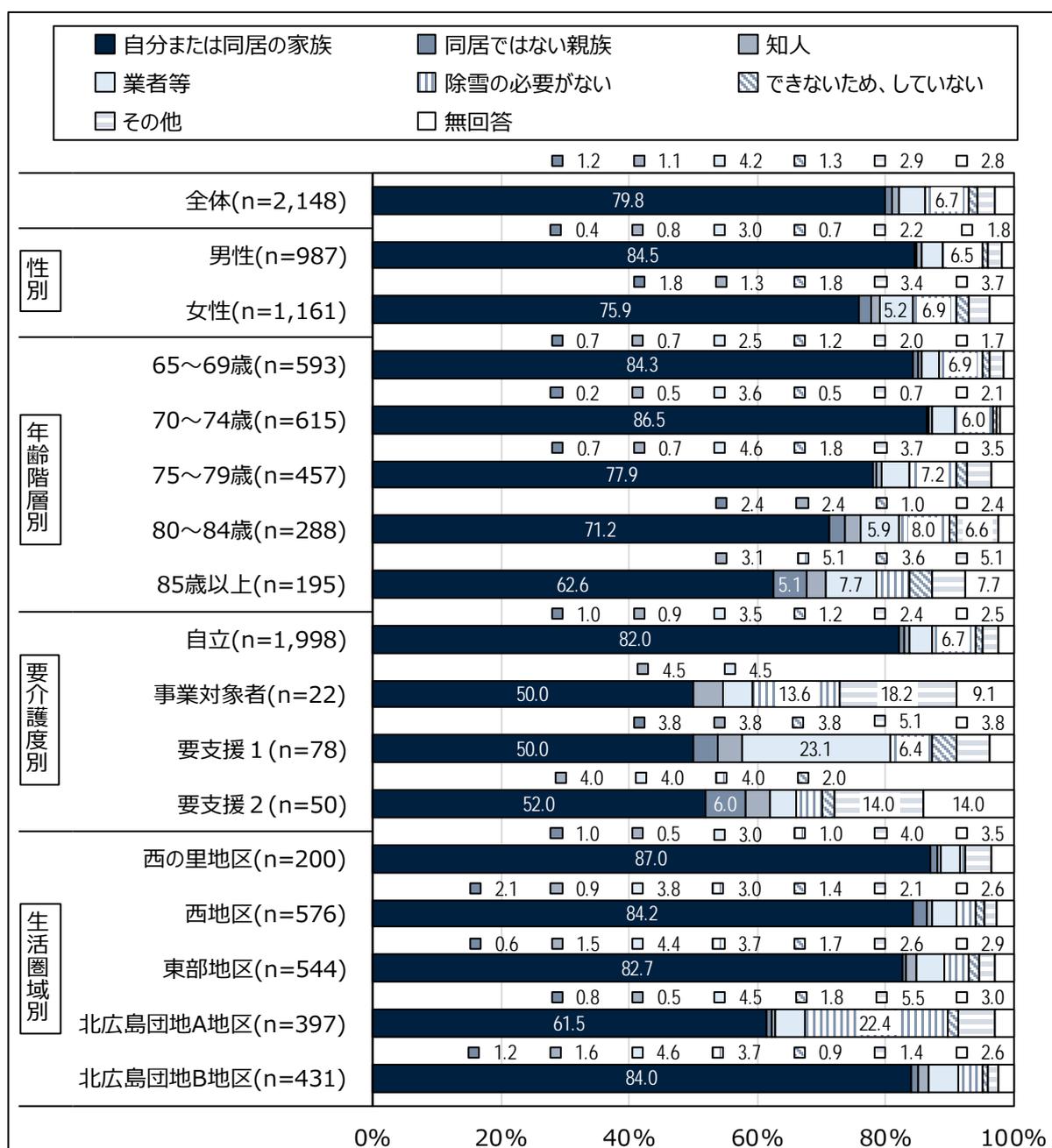


### 問5. (19) どなたがご自宅の除雪作業をしていますか

※「除雪の必要がない」は、住宅の管理人がしてくれる等が該当

- 全体では、「自分または同居の家族」が約8割を占めている。
- 年齢階層別にみると、70歳以上は年齢が高くなるにつれて「自分または同居の家族」の割合が低くなっている。
- 要介護度別にみると、事業対象者以上は「自分または同居の家族」が6割未満で自立と比べて低くなっている。また、要支援1は「業者等」が約2割で他の要介護度と比べて高くなっている。
- 生活圏域別にみると、北広島団地A地区は「自分または同居の家族」が約6割で他の生活圏域と比べて低く、「除雪の必要がない」が約2割で他の生活圏域と比べて高くなっている。

図表 2-6-21 誰が自宅の除雪作業をしているか

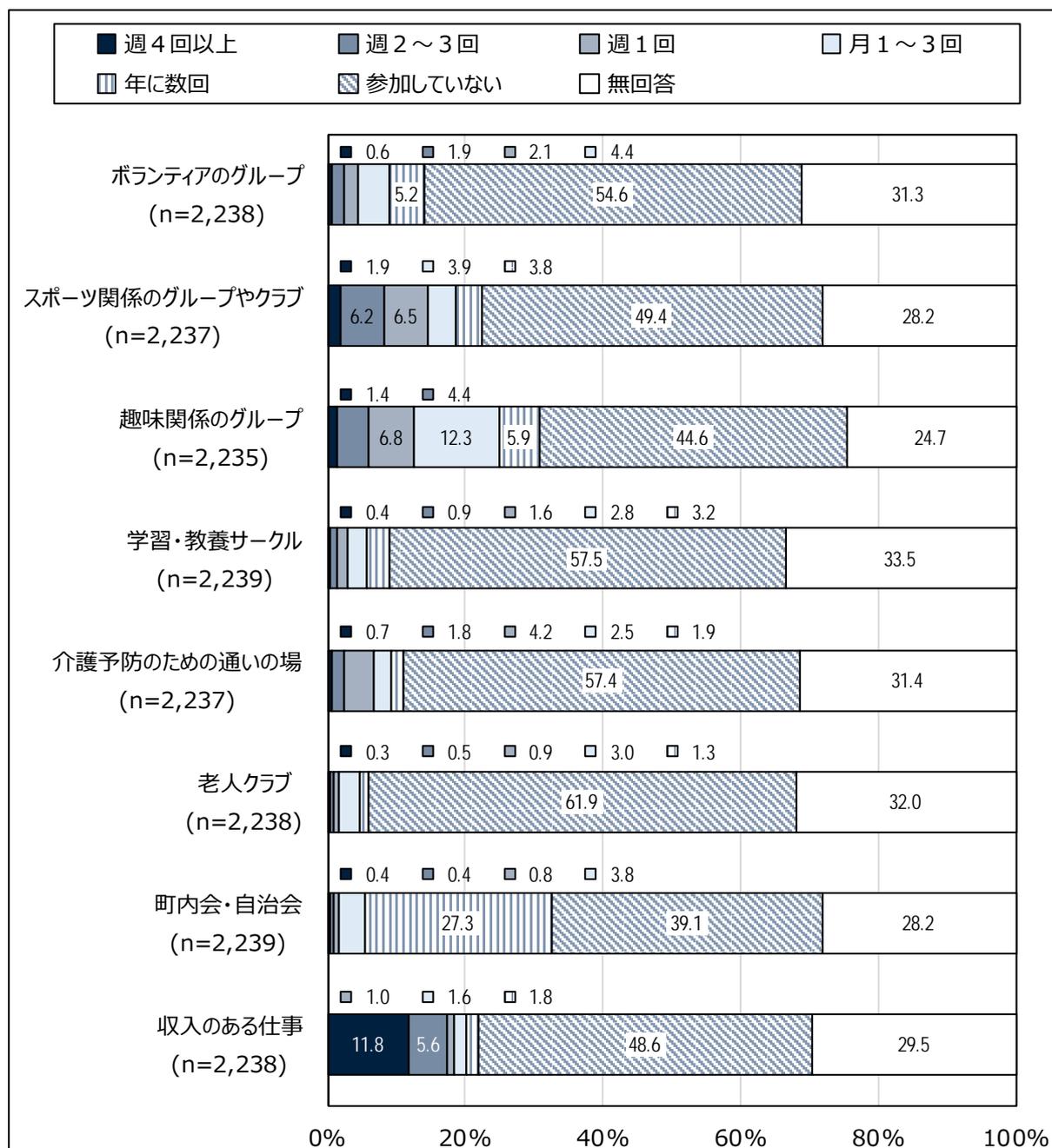


## 2. 7 地域での活動について

### 問6. (1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの程度で参加していますか

- ・全ての会・グループ等で「参加していない」の割合が最も高くなっている。
- ・会・グループ等別にみると、『参加している（年に数回以上の合計）』は、趣味関係のグループ、町内会・自治会は約3割で他の会・グループ等に比べて高くなっている。また、学習・教養サークル、介護予防のための通いの場、老人クラブは『参加している（年に数回以上の合計）』が約1割で他の会・グループ等に比べて低くなっている。

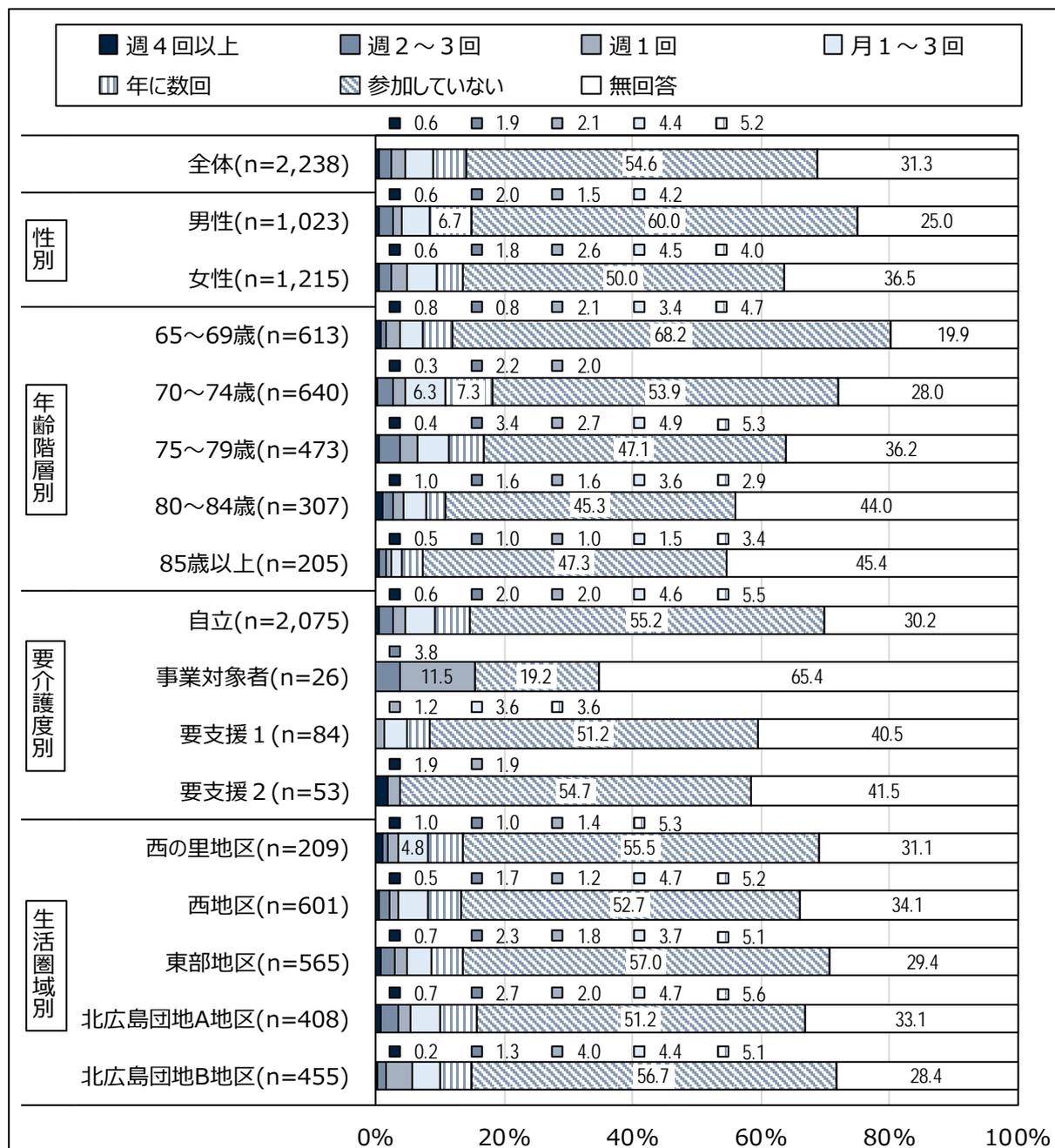
図表 2-7-1 会・グループ等にどの程度参加しているか



### 問6. (1) - 1. ボランティアのグループへの参加

- 全体では、「参加していない」の割合が約5割で最も高くなっている。『参加している（年に数回以上の合計）』は約1割となっている。
- 性別にみると、男性は「参加していない」が6割で女性と比べて高くなっている。
- 年齢階層別にみると、84歳以下は年齢が高くなるにつれて「参加していない」の割合が低くなっている。

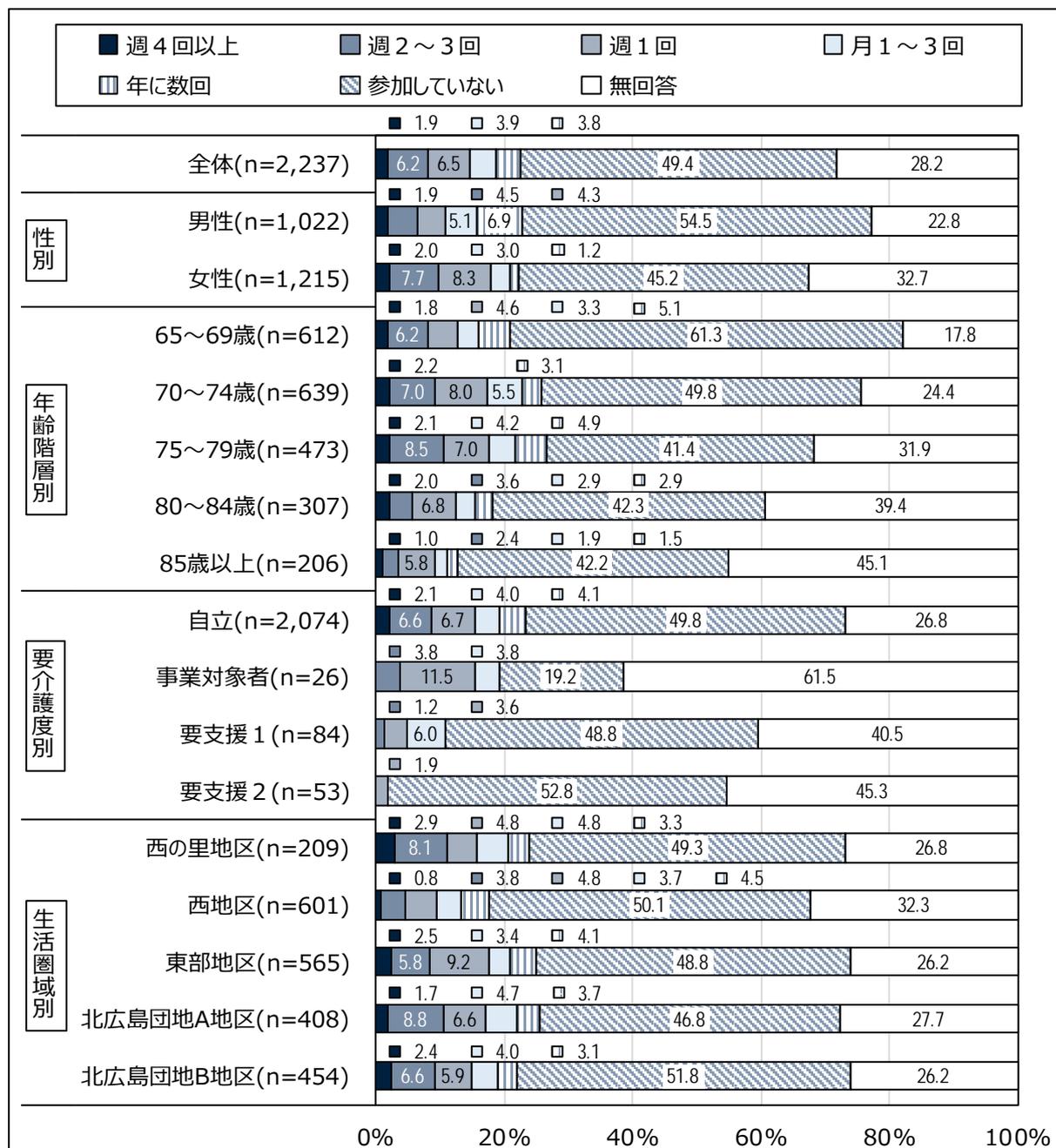
図表 2-7-2 ボランティアにどの程度参加しているか



### 問6. (1)-2. スポーツ関係のグループやクラブへの参加

- ・全体では、「参加していない」が約5割で最も高くなっている。『参加している（年に数回以上の合計）』は約2割となっている。
- ・年齢階層別にみると、70歳以上は「参加していない」が5割未満となっている。
- ・要介護別にみると、要介護度が高くなるにつれて『参加している（年に数回以上の合計）』の割合が低くなっている。

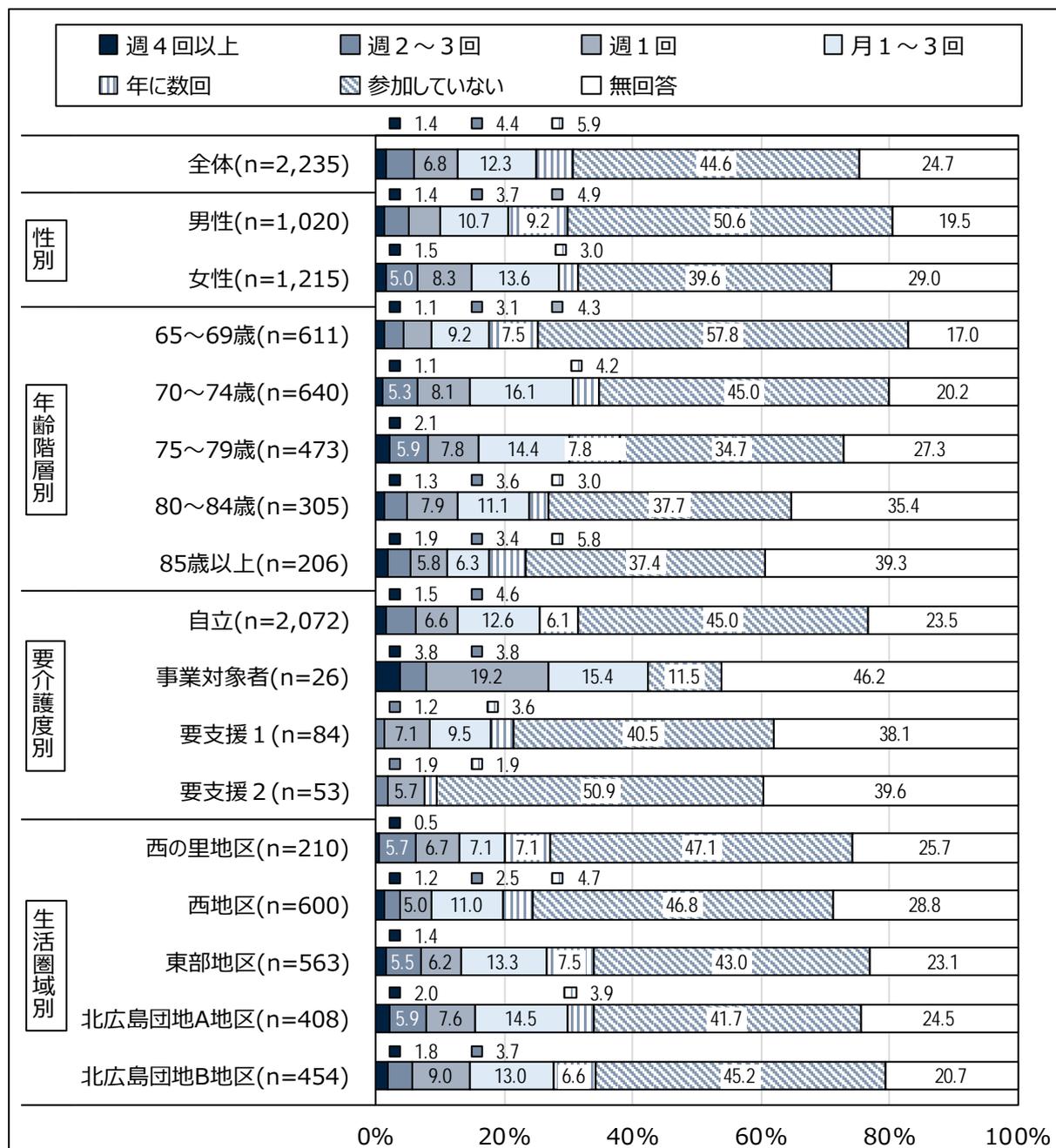
図表 2-7-3 スポーツ関係のグループやクラブにどの程度参加しているか



### 問6. (1)-3. 趣味関係のグループへの参加

- 全体では、「参加していない」が約4割で最も高くなっている。『参加している（年に数回以上の合計）』は約3割となっている。
- 性別にみると、男性は「参加していない」が約5割で女性と比べて高くなっている。
- 年齢階層別にみると、65～69歳は「参加していない」が約6割で他の年齢階層と比べて高くなっている。

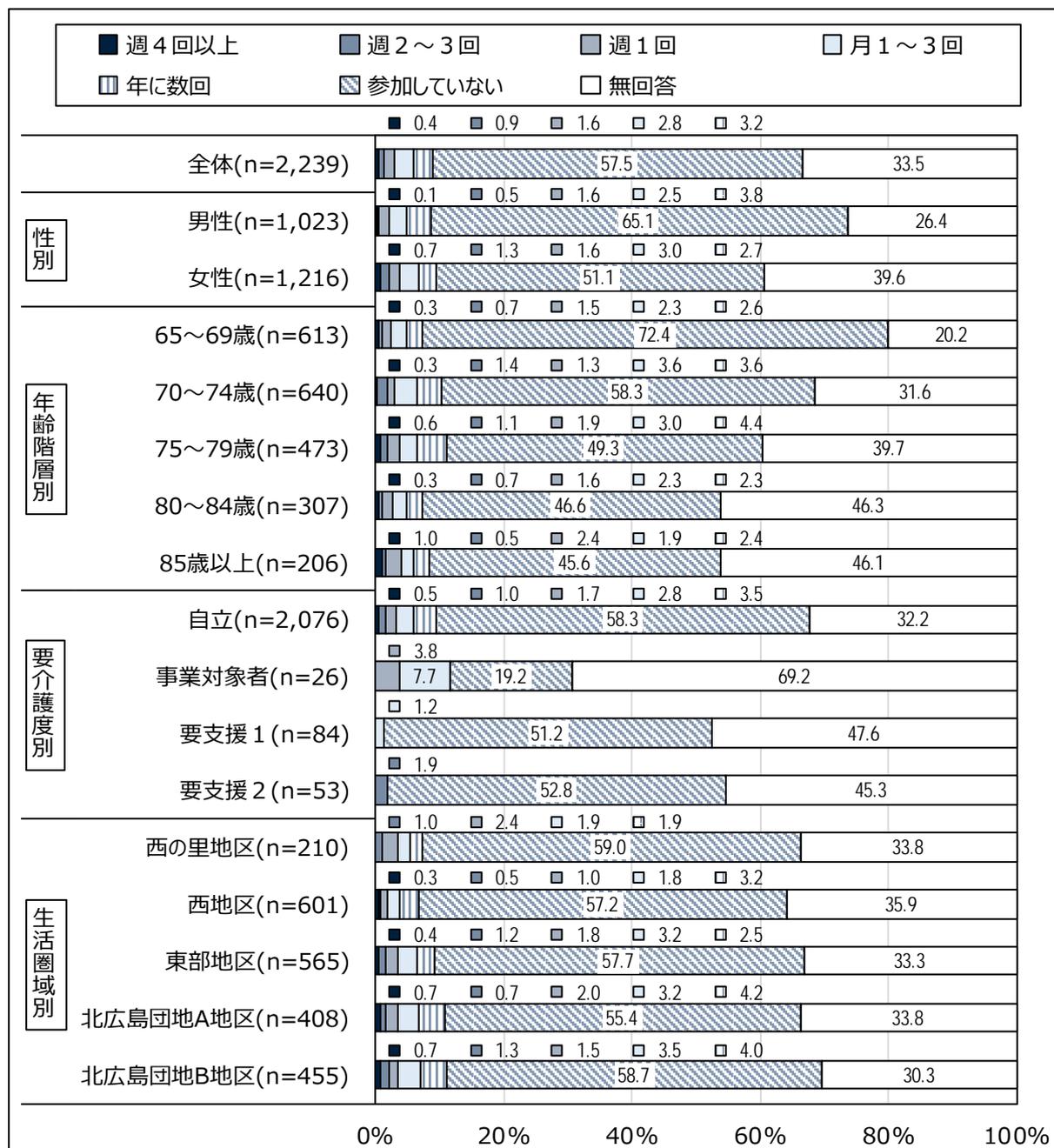
図表 2-7-4 趣味関係のグループにどの程度参加しているか



### 問6. (1)-4. 学習・教養サークルへの参加

- ・全体では、「参加していない」が約6割で最も高くなっている。『参加している（年に数回以上の合計）』は約1割となっている。
- ・年齢階層別にみると、年齢が高くなるにつれて「参加していない」の割合が低くなっている。

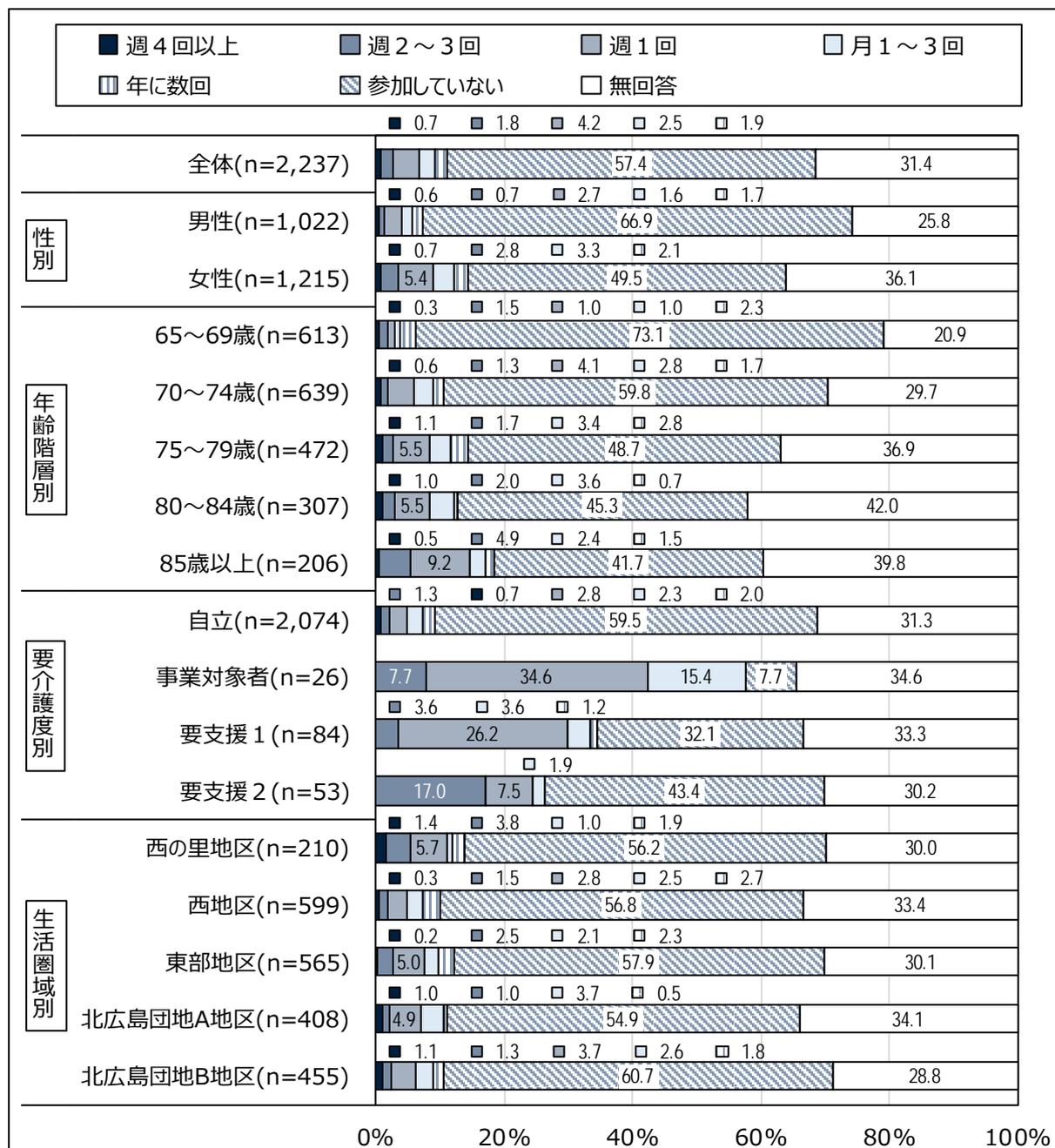
図表 2-7-5 学習・教養サークルにどの程度参加しているか



問6. (1)-5. 介護予防のための通いの場（体操、脳トレ、茶話会等）への参加

- 全体では、「参加していない」が約6割で最も高くなっている。『参加している（年に数回以上の合計）』は約1割となっている。
- 年齢階層別にみると、年齢が高くなるにつれて「参加していない」の割合が低くなっている。
- 要介護度別にみると、自立は「参加していない」が約6割で他の要介護度と比べて高くなっている。

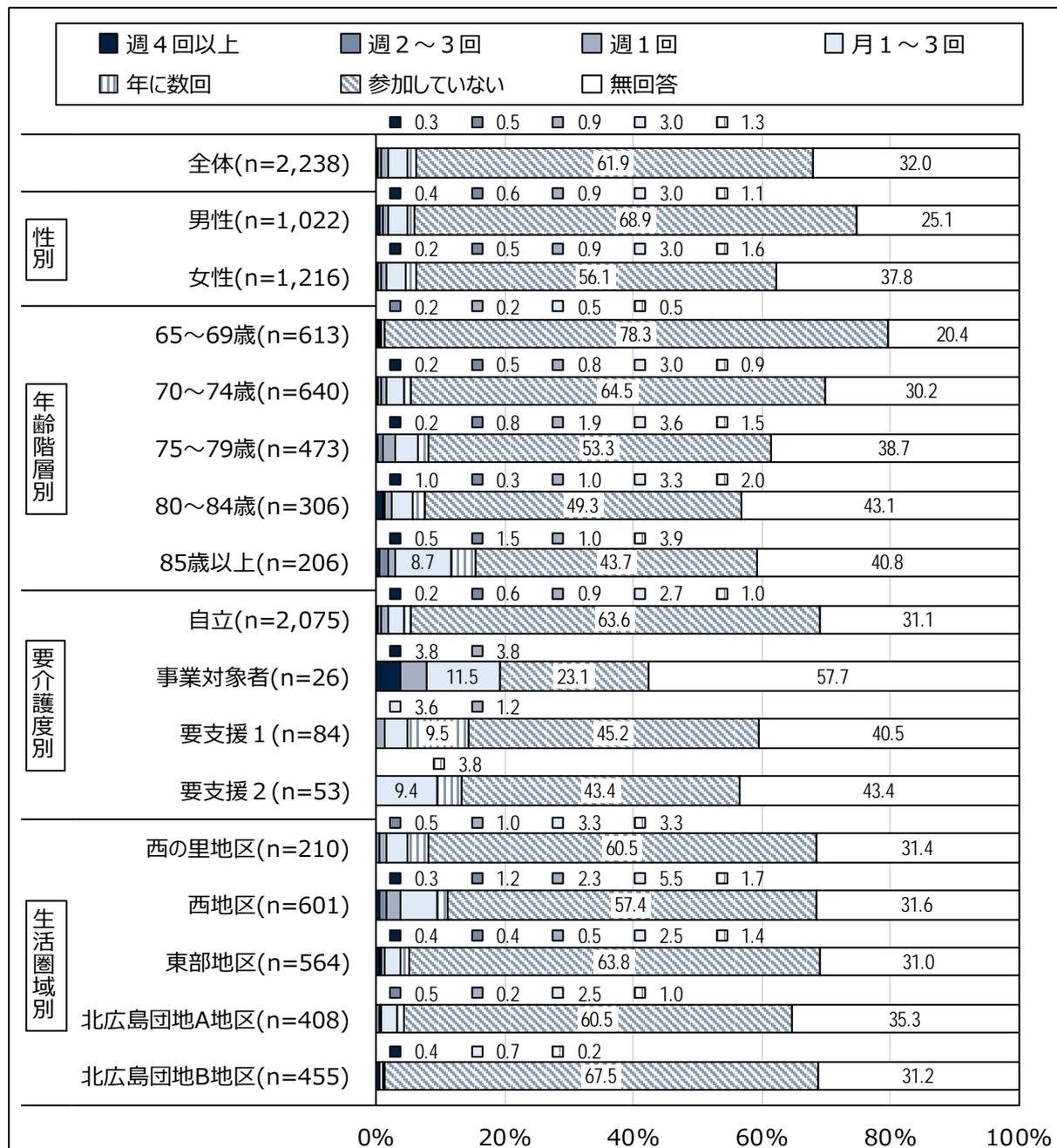
図表 2-7-6 介護予防のための通いの場（体操、脳トレ、茶話会等）にどの程度参加しているか



### 問6. (1)-6. 老人クラブへの参加

- ・全体では、「参加していない」が約6割で最も高くなっている。『参加している（年に数回以上の合計）』は約1割となっている。
- ・性別にみると、男性は「参加してない」が約7割で女性と比べて高くなっている。
- ・年齢階層別にみると、年齢が高くなるにつれて「参加してない」の割合が低くなっている。

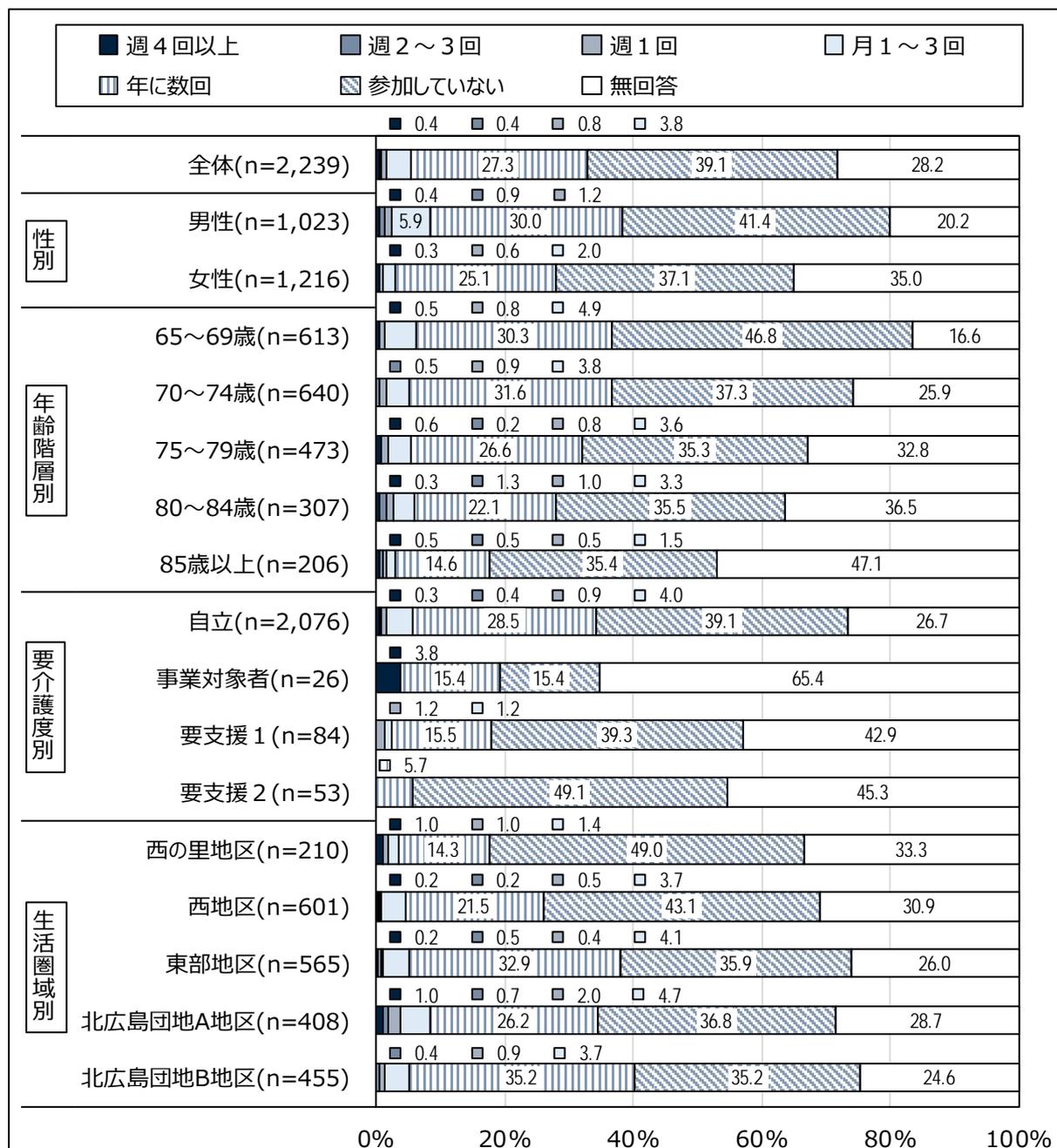
図表 2-7-7 老人クラブにどの程度参加しているか



## 問6. (1) -7. 町内会・自治会への参加

- 全体では、「参加していない」が約4割で最も高くなっている。『参加している（年に数回以上の合計）』は約3割となっている。
- 年齢階層別にみると、70歳以上は年齢が高くなるにつれて『参加している（年に数回以上の合計）』の割合が低くなっている。
- 要介護度別にみると、要介護度が高くなるにつれて『参加している（年に数回以上の合計）』の割合が低くなっている。

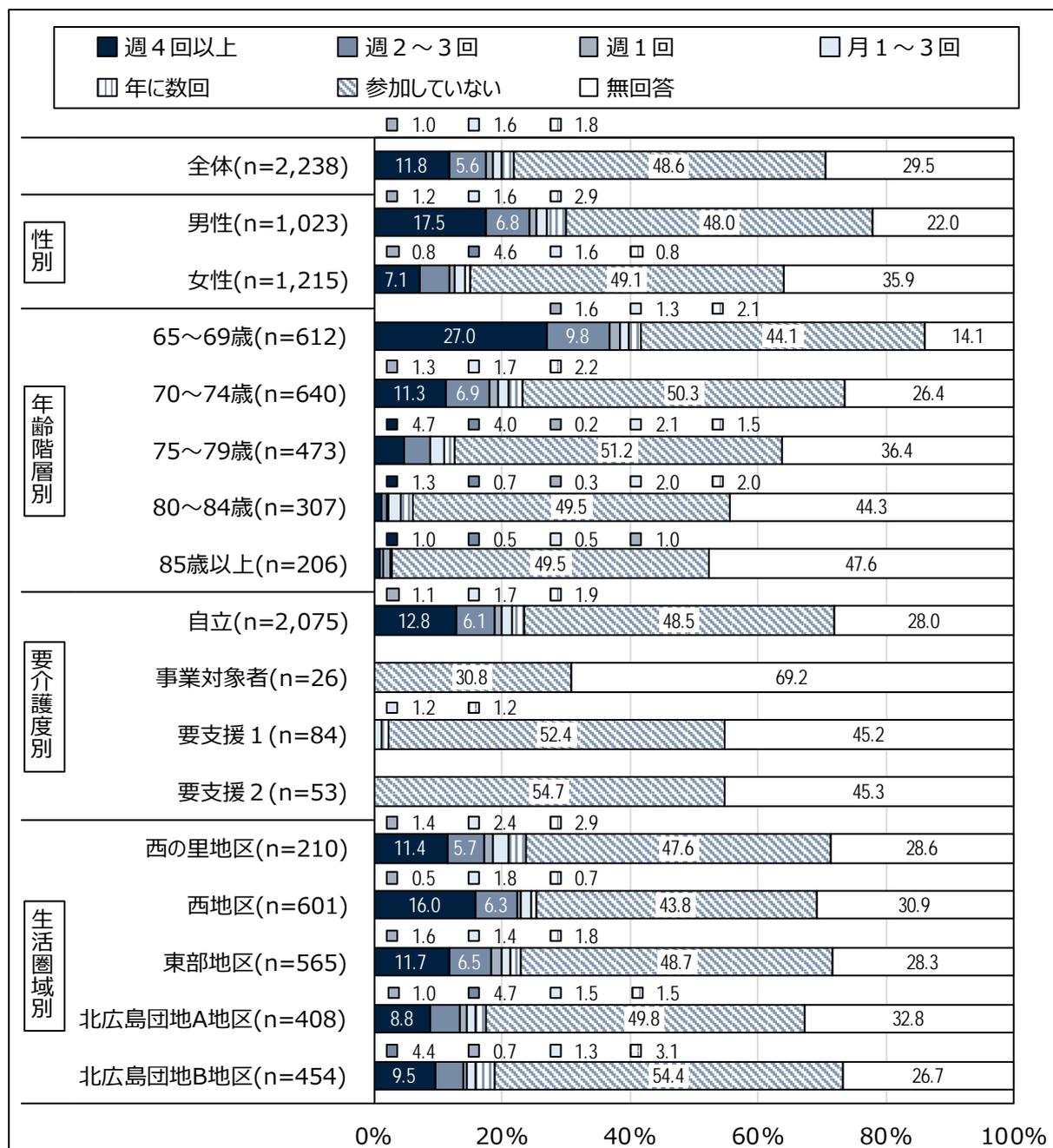
図表 2-7-8 町内会・自治会にどの程度参加しているか



### 問6. (1) - 8. 収入のある仕事への参加

- 全体では、「参加していない」が約5割で最も高くなっている。『参加している（年に数回以上の合計）』は約2割となっている。
- 性別にみると、男性は『参加している（年に数回以上の合計）』が3割で女性と比べて高くなっている。
- 年齢階層別にみると、年齢が高くなるにつれて『参加している（年に数回以上の合計）』の割合が低くなっている。
- 要介護度別にみると、自立は『参加している（年に数回以上の合計）』が約2割で他の要介護度と比べて高くなっている。

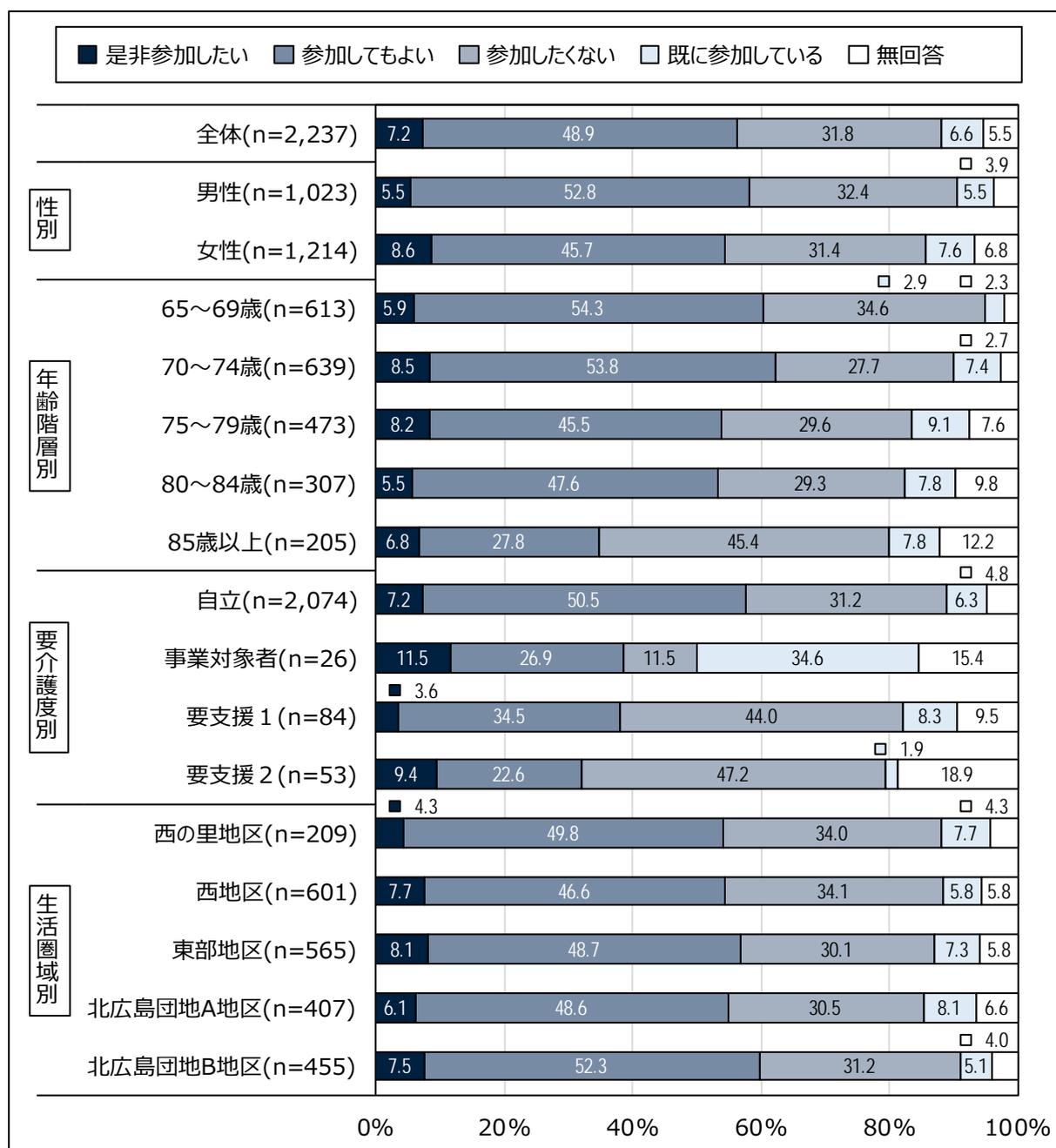
図表 2-7-9 収入のある仕事をどの程度しているか



問6. (2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか

- 全体では、「参加してもよい」が約5割で最も高くなっている。『参加意向がある（是非参加したいと参加してもよいの合計）』は約6割となっている。
- 年齢階層別にみると、70歳以上は年齢が高くなるにつれて『参加意向がある（是非参加したい・参加してもよいの合計）』の割合が低くなり、85歳以上では約3割となっている。
- 要介護度別にみると、事業対象者以上は『参加意向がある（是非参加したい・参加してもよいの合計）』が4割未満で自立と比べて低くなっている。

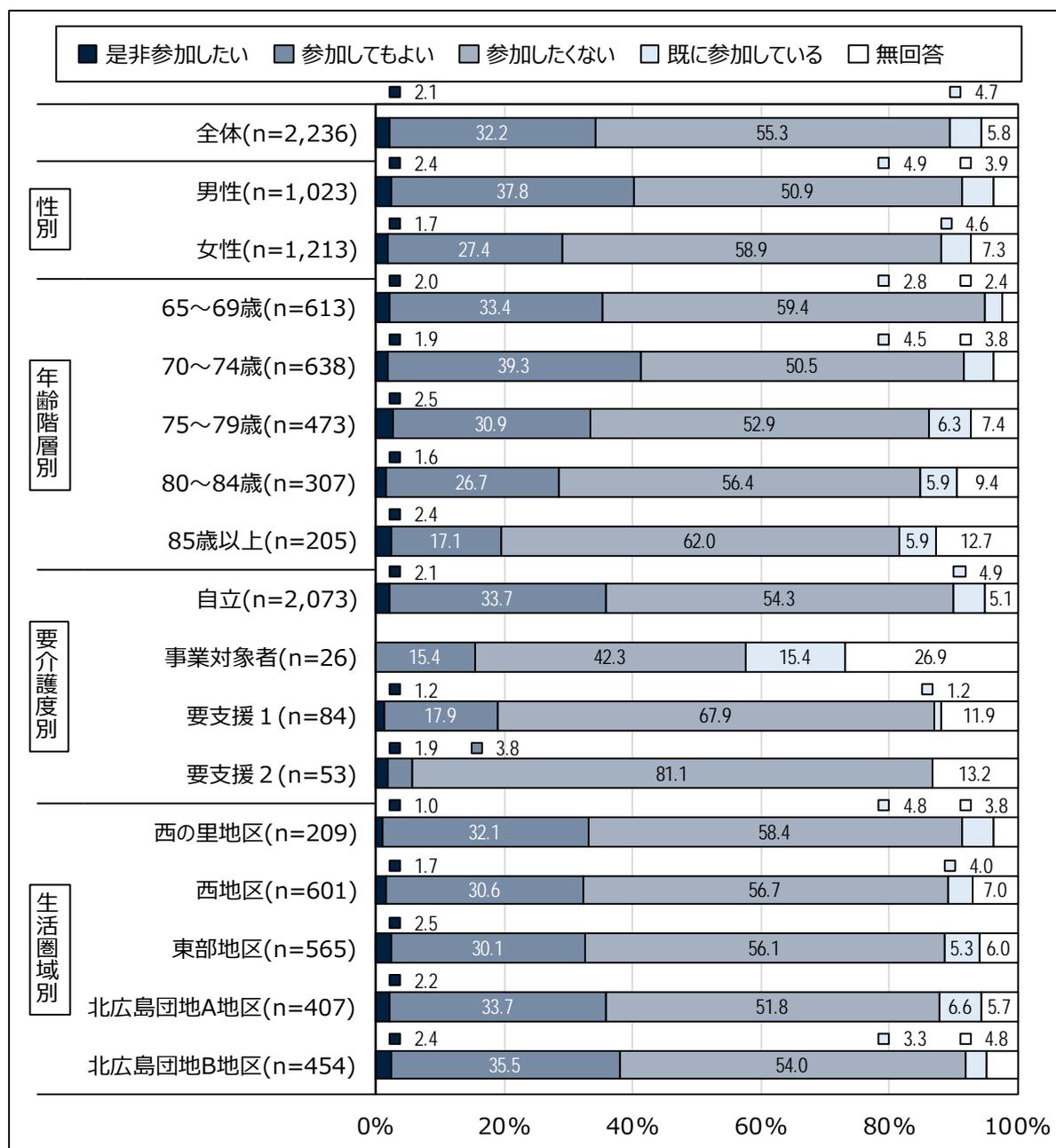
図表 2-7-10 活動に参加者として参加してみたいか



問6. (3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか

- ・全体では、「参加したくない」が約6割で最も高くなっている。『参加意向がある(是非参加したい・参加してもよいの合計)』は約3割となっている。
- ・性別にみると、男性は『参加意向がある(是非参加したい・参加してもよいの合計)』が約4割で女性に比べて高くなっている。
- ・年齢階層別にみると、70歳以上は年齢が高くなるにつれて「参加したくない」の割合が高くなっている。
- ・要介護度別にみると、要支援2は「参加したくない」が約8割で、他の要介護度と比べて高くなっている。

図表 2-7-11 活動に企画・運営として参加してみたいか

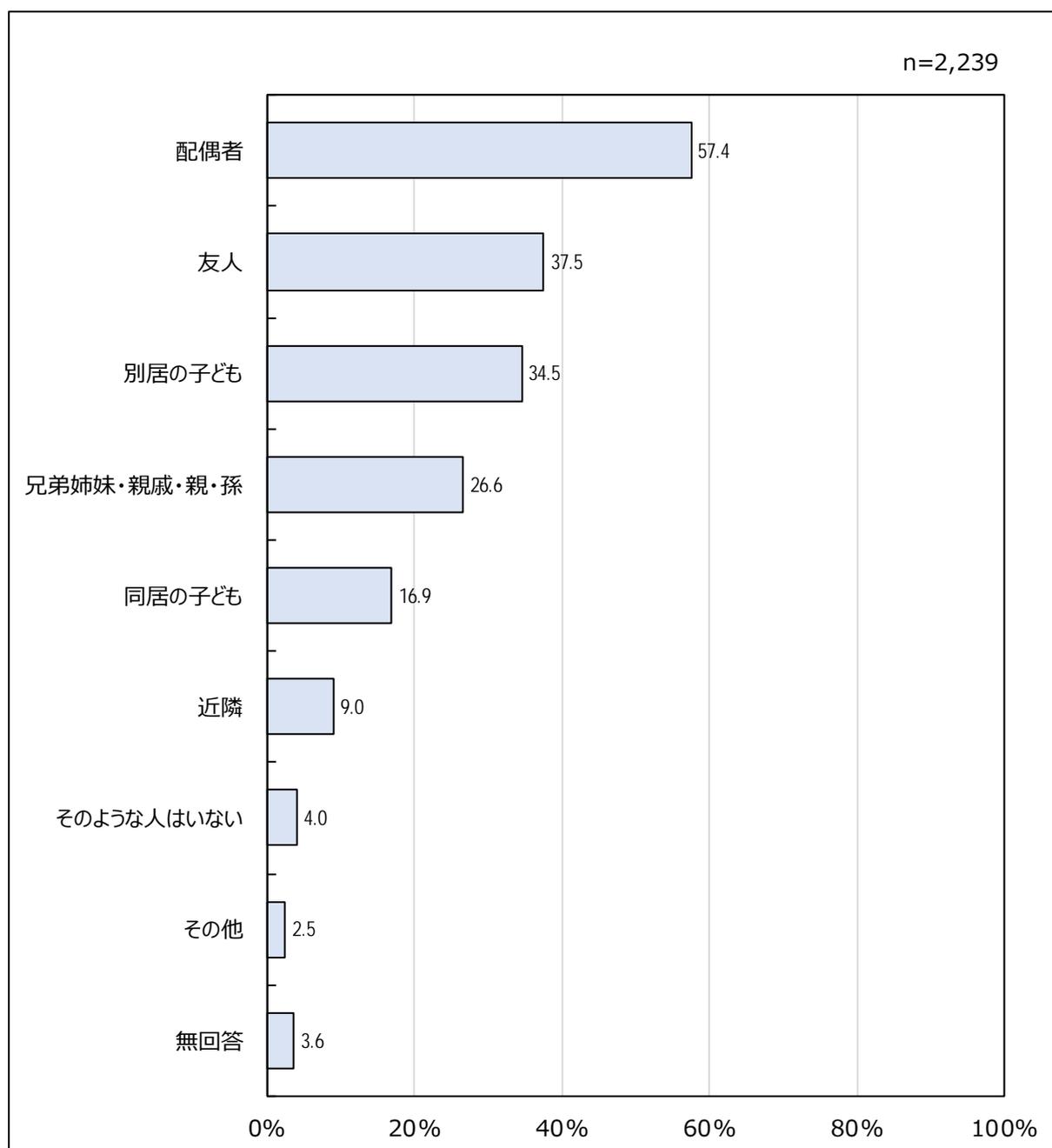


## 2. 8 たすけあいについて（あなたとまわりの人の「たすけあい」）

### 問7. （1）あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人

- 全体では、「配偶者」が約6割で最も高く、次いで「友人」「別居の子ども」となっている。
- 性別にみると、男性は「配偶者」の割合が女性に比べて高くなっている。また、女性は「同居の子ども」「別居の子ども」「兄弟姉妹・親戚・親・孫」「近隣」「友人」の割合が男性に比べて高くなっている。
- 年齢階層別にみると、年齢が高くなるにつれて「友人」の割合が低くなっている。また、70歳以上は年齢が高くなるにつれて「配偶者」の割合が低くなっている。

図表 2-8-1 あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人（全体）



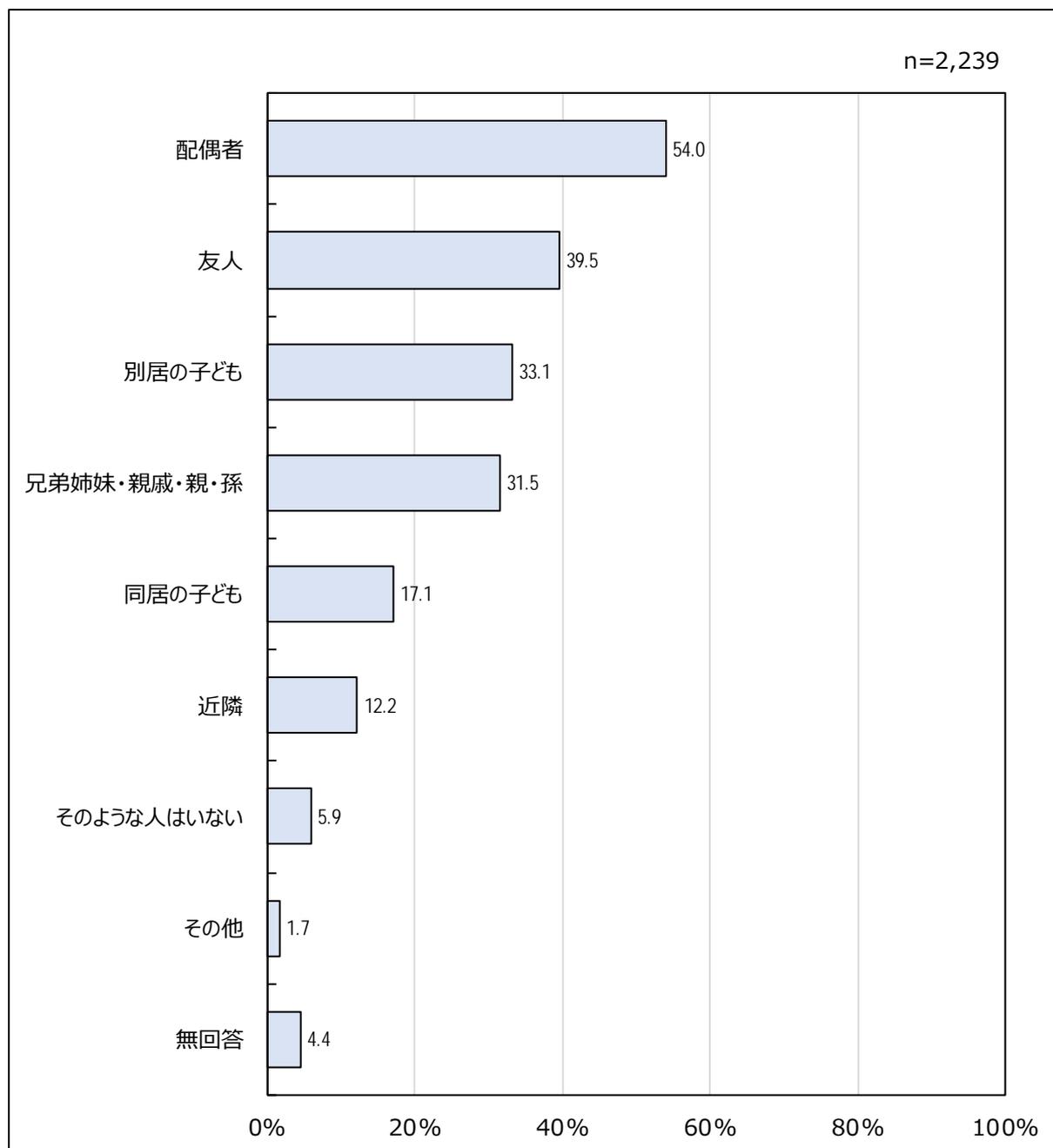
図表 2-8-2 あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人（属性別）

	(%)								
	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	そのような人はいない	その他	無回答
全体 (n=2,239)	57.4	16.9	34.5	26.6	9.0	37.5	4.0	2.5	3.6
性別									
男性 (n=1,023)	72.5	11.4	24.6	16.8	4.4	23.5	6.3	2.5	4.0
女性 (n=1,216)	44.7	21.5	42.8	34.9	12.8	49.3	2.1	2.4	3.3
年齢階層別									
65～69歳 (n=613)	63.0	14.2	32.3	28.2	7.5	45.5	4.9	3.9	1.3
70～74歳 (n=640)	64.8	15.3	36.9	30.9	11.3	41.7	2.8	1.1	2.5
75～79歳 (n=473)	59.2	14.0	32.3	23.0	9.3	34.7	3.8	1.3	5.5
80～84歳 (n=307)	45.6	23.1	33.2	24.8	8.1	28.0	4.9	3.3	4.9
85歳以上 (n=206)	31.6	27.7	40.3	19.4	6.8	21.4	4.4	3.9	7.8
要介護度別									
自立 (n=2,076)	60.1	16.2	34.5	26.8	8.9	38.2	4.1	2.3	3.5
事業対象者 (n=26)	19.2	19.2	26.9	23.1	15.4	30.8	-	15.4	3.8
要支援 1 (n=84)	25.0	26.2	36.9	23.8	9.5	29.8	3.6	-	8.3
要支援 2 (n=53)	24.5	28.3	34.0	24.5	7.5	26.4	3.8	5.7	1.9
生活圏域別									
西の里地区 (n=210)	54.8	18.6	33.3	32.9	10.0	41.4	3.8	3.8	1.0
西地区 (n=601)	54.6	18.8	31.1	25.5	9.8	35.1	4.2	2.8	4.0
東部地区 (n=565)	58.8	15.4	35.9	28.1	7.3	35.0	4.2	1.4	4.1
北広島団地A地区 (n=408)	57.1	15.4	34.3	23.5	7.8	40.0	4.4	3.9	4.9
北広島団地B地区 (n=455)	61.1	16.9	37.8	26.2	10.5	39.8	3.3	1.3	2.6

### 問7. (2) 反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人

- 全体では、「配偶者」が約5割で最も高く、次いで「友人」「別居の子ども」となっている。
- 性別にみると、男性は「配偶者」の割合が女性に比べて高くなっている。また、女性は「同居の子ども」「別居の子ども」「兄弟姉妹・親戚・親・孫」「近隣」「友人」の割合が男性に比べて高くなっている。
- 年齢階層別にみると、年齢が高くなるにつれて「配偶者」「別居の子ども」「友人」の割合が低くなっている。
- 要介護度別にみると、要介護度が高くなるにつれて「そのような人はいない」の割合が高くなり、「近隣」の割合が低くなっている。

図表 2-8-3 あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人(全体)



図表 2-8-4 あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人（属性別）

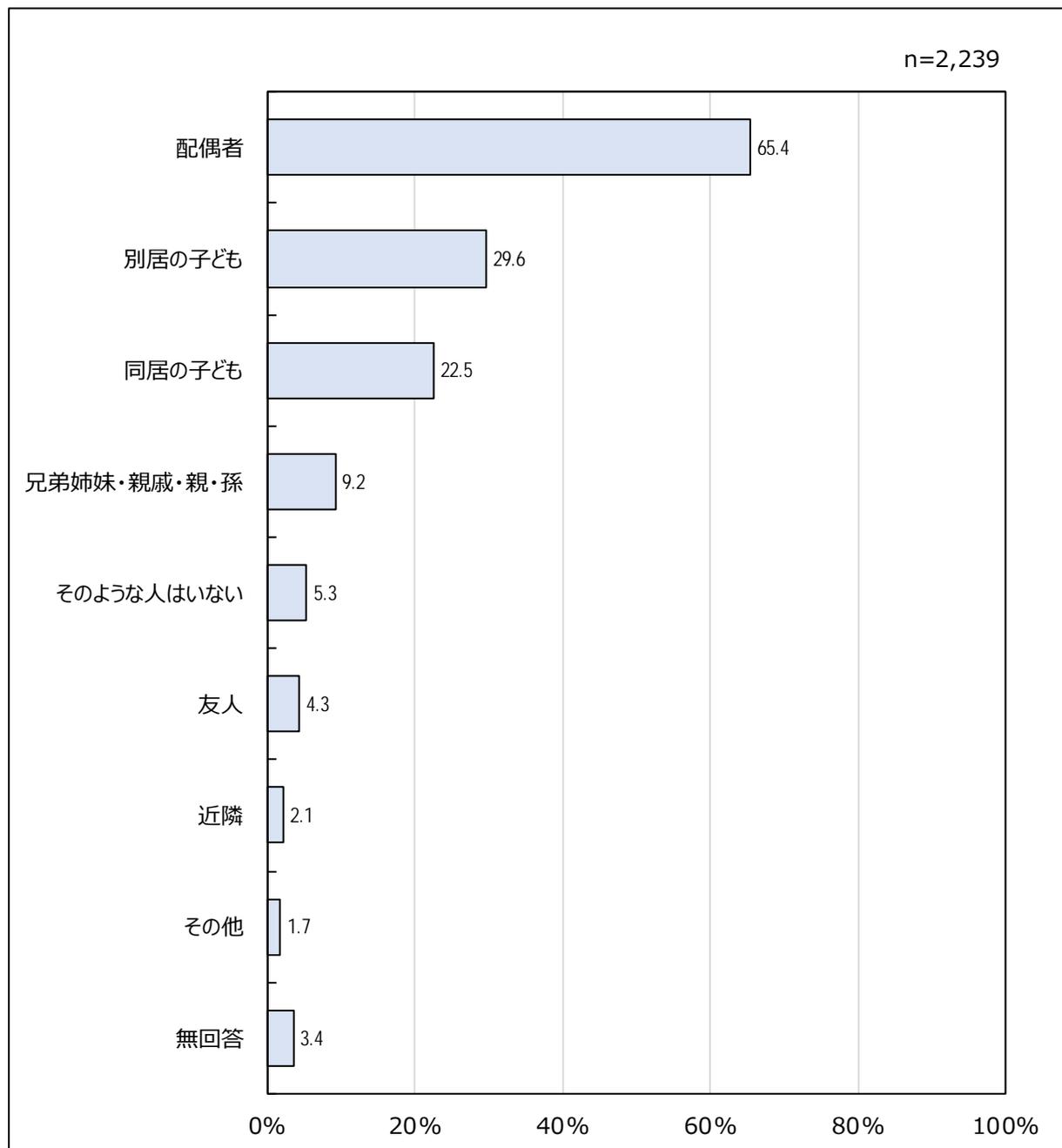
(%)

	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	そのような人はいない	その他	無回答
全体 (n=2,239)	54.0	17.1	33.1	31.5	12.2	39.5	5.9	1.7	4.4
性別									
男性 (n=1,023)	69.8	13.5	27.9	22.4	7.8	24.7	6.9	1.9	4.1
女性 (n=1,216)	40.6	20.1	37.6	39.1	15.9	52.0	4.9	1.5	4.7
年齢階層別									
65～69歳 (n=613)	61.2	17.8	37.0	36.2	11.4	45.8	4.9	3.1	1.6
70～74歳 (n=640)	60.3	15.6	36.3	36.7	13.6	43.9	3.1	0.5	3.1
75～79歳 (n=473)	52.6	14.6	30.7	27.3	14.4	37.8	5.5	1.1	5.9
80～84歳 (n=307)	44.6	19.5	27.0	26.7	9.1	31.9	7.8	2.0	6.5
85歳以上 (n=206)	29.6	21.8	26.7	18.0	9.7	22.3	15.0	1.9	10.2
要介護度別									
自立 (n=2,076)	56.4	17.1	34.2	32.6	12.4	39.9	5.0	1.7	4.0
事業対象者 (n=26)	19.2	11.5	11.5	7.7	11.5	42.3	11.5	3.8	11.5
要支援1 (n=84)	26.2	19.0	21.4	20.2	10.7	36.9	11.9	1.2	10.7
要支援2 (n=53)	18.9	18.9	18.9	17.0	7.5	28.3	26.4	-	5.7
生活圏域別									
西の里地区 (n=210)	49.5	18.1	30.5	31.0	14.3	39.0	7.6	2.9	3.3
西地区 (n=601)	52.9	19.6	29.5	31.1	13.1	38.1	5.2	2.0	4.7
東部地区 (n=565)	53.5	15.9	34.3	34.5	10.8	36.5	6.7	1.6	4.8
北広島団地A地区 (n=408)	53.7	15.4	34.1	29.2	10.0	43.4	6.4	1.5	6.1
北広島団地B地区 (n=455)	58.2	16.3	36.9	30.5	13.6	42.0	4.4	0.9	2.6

問7. (3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話役をしてくれる人

- 全体では、「配偶者」が約7割で最も高く、そのほかは3割未満となっている。
- 性別にみると、男性は「配偶者」、女性は「同居の子ども」「別居の子ども」の割合が高くなっている。
- 年齢階層別にみると、80歳以上は「同居の子ども」「別居の子ども」の割合が他の年齢階層に比べて高く、「配偶者」の割合が他の年齢階層に比べて低くなっている。
- 要介護度別にみると、事業対象者以上は「配偶者」の割合が自立と比べて低く、「同居の子ども」の割合が自立と比べて高くなっている。

図表 2-8-5 看病や世話役をしてくれる人（全体）



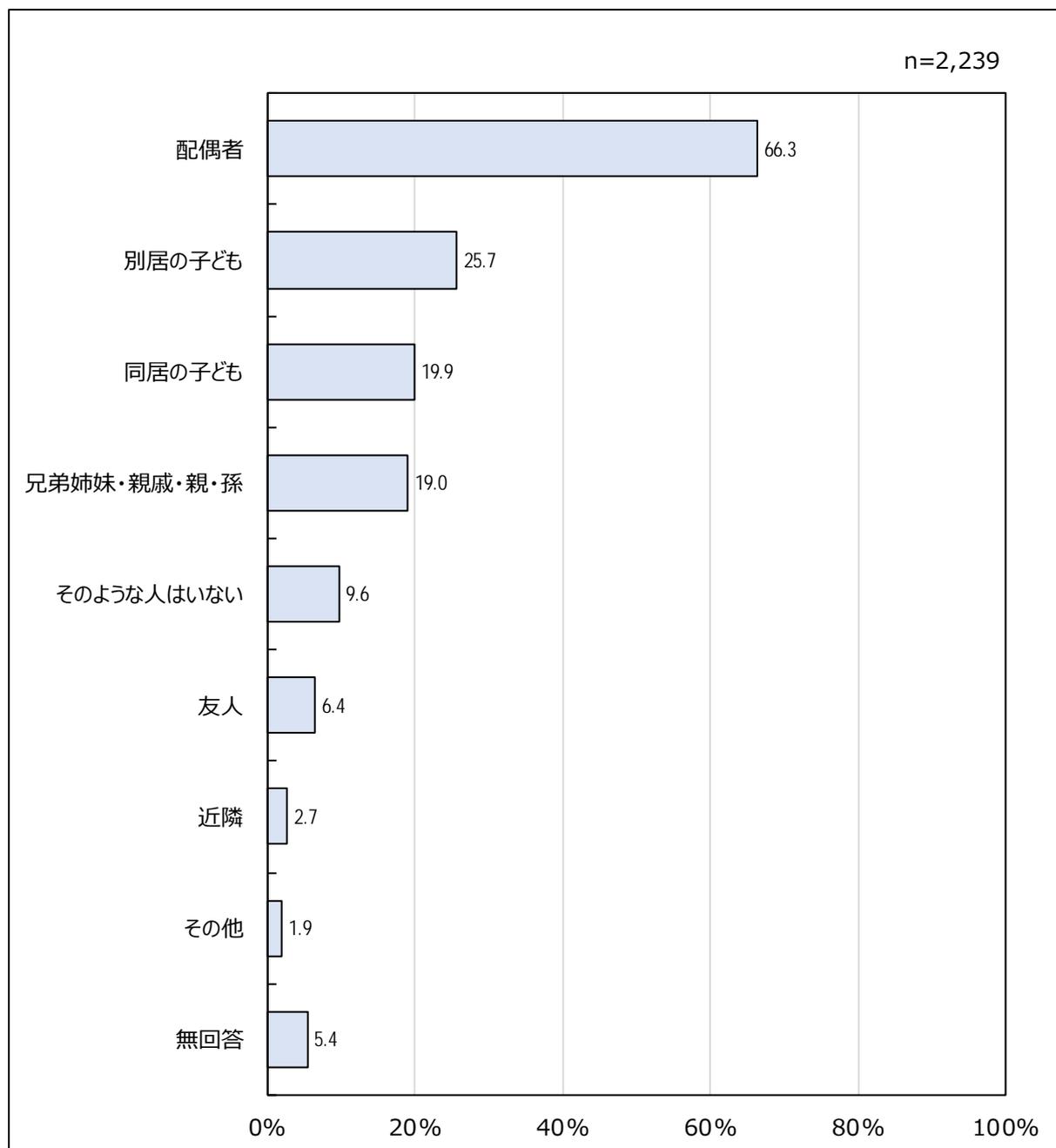
図表 2-8-6 看病や世話役をしてくれる人（属性別）

	(%)								
	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	そのような人はいない	その他	無回答
全体 (n=2,239)	65.4	22.5	29.6	9.2	2.1	4.3	5.3	1.7	3.4
性別									
男性 (n=1,023)	80.0	15.9	21.6	7.2	0.8	1.9	5.1	1.5	2.9
女性 (n=1,216)	53.1	28.0	36.3	10.8	3.2	6.3	5.5	2.0	3.9
年齢階層別									
65～69歳 (n=613)	73.1	19.7	24.8	11.3	1.5	5.7	6.2	2.1	1.8
70～74歳 (n=640)	74.7	19.2	28.9	9.1	2.8	4.5	3.8	0.2	3.0
75～79歳 (n=473)	66.8	19.2	28.1	8.7	2.1	4.2	6.1	1.1	4.7
80～84歳 (n=307)	52.8	30.3	34.9	7.2	2.0	2.3	5.5	2.9	3.6
85歳以上 (n=206)	29.1	36.9	41.7	7.3	1.9	2.4	5.3	5.3	6.8
要介護度別									
自立 (n=2,076)	68.4	21.5	29.2	9.4	2.0	4.3	4.9	1.3	3.2
事業対象者 (n=26)	30.8	42.3	38.5	3.8	-	3.8	3.8	19.2	3.8
要支援1 (n=84)	29.8	32.1	32.1	4.8	6.0	4.8	13.1	3.6	8.3
要支援2 (n=53)	20.8	35.8	35.8	7.5	1.9	1.9	9.4	9.4	5.7
生活圏域別									
西の里地区 (n=210)	65.7	24.8	25.2	10.5	1.4	4.8	6.7	2.9	0.5
西地区 (n=601)	64.1	27.0	30.0	9.2	1.8	3.2	3.8	1.5	3.7
東部地区 (n=565)	65.8	21.6	28.8	8.3	1.9	5.0	6.2	1.6	4.8
北広島団地A地区 (n=408)	63.2	19.6	30.6	8.8	2.0	5.1	5.1	2.7	4.2
北広島団地B地区 (n=455)	68.4	19.3	31.2	9.9	3.1	4.0	5.7	0.9	2.2

#### 問7. (4) 反対に、看病や世話をしあける人

- 全体では、「配偶者」が約7割で最も高く、そのほかは3割未満となっている。
- 性別にみると、男性は「配偶者」の割合が女性と比べて高くなっている。また、女性は「同居の子ども」「別居の子ども」「兄弟姉妹・親戚・親・孫」の割合が男性と比べて高くなっている。
- 年齢階層別にみると、年齢が高くなるにつれて「兄弟姉妹・親戚・親・孫」「友人」の割合が低くなっている。
- 要介護度別にみると、事業対象者以上は「そのような人はいない」の割合が自立と比べて高くなっている。

図表 2-8-7 看病や世話役をしあける人（全体）



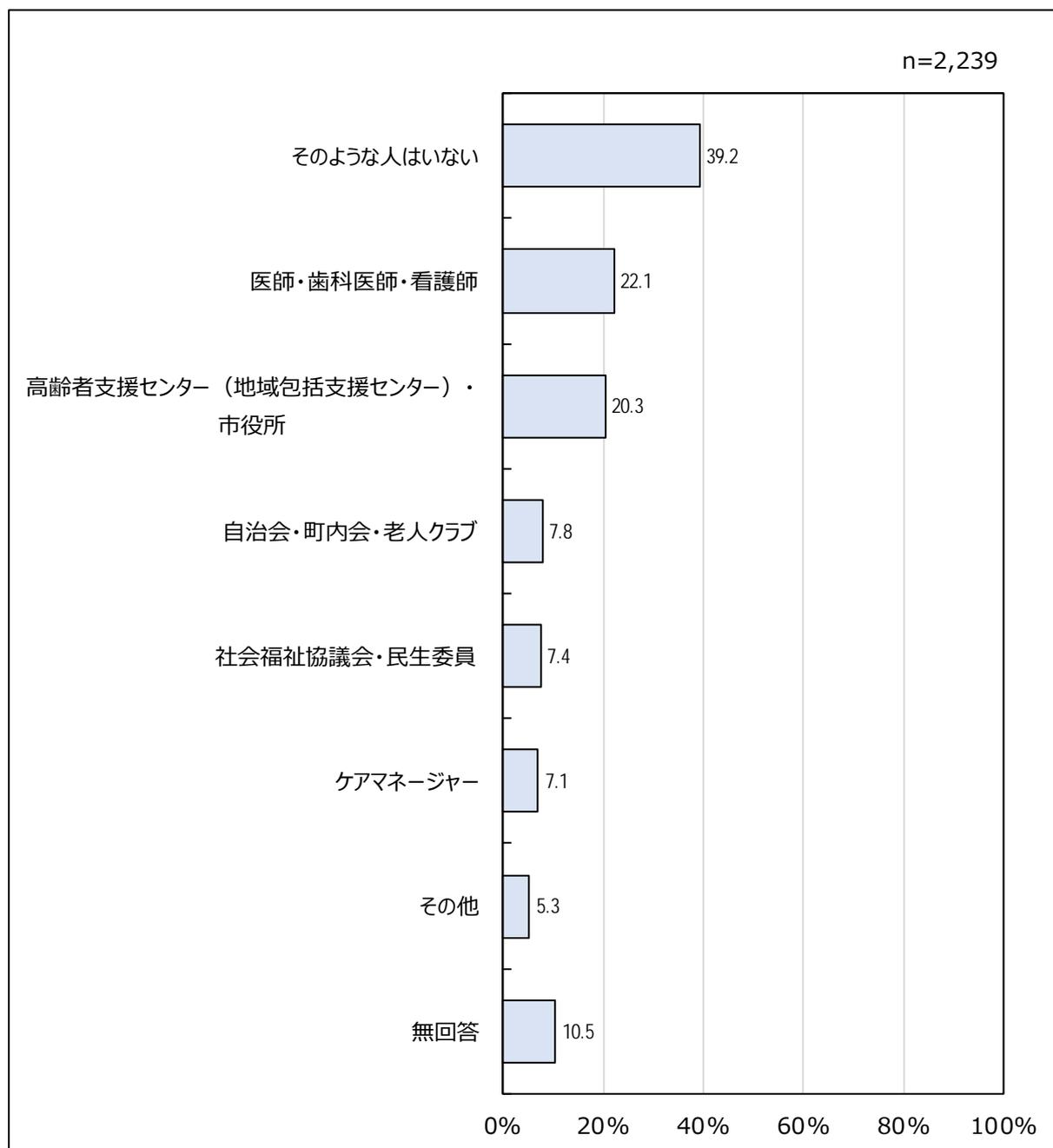
図表 2-8-8 看病や世話役をしてあげる人（属性別）

	(%)								
	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	そのような人はいない	その他	無回答
全体 (n=2,239)	66.3	19.9	25.7	19.0	2.7	6.4	9.6	1.9	5.4
性別									
男性 (n=1,023)	76.8	15.2	19.0	14.2	1.5	3.0	9.0	1.5	4.5
女性 (n=1,216)	57.5	23.8	31.3	23.1	3.7	9.3	10.2	2.3	6.1
年齢階層別									
65～69歳 (n=613)	74.1	21.4	29.0	26.4	2.6	8.6	7.0	2.1	1.8
70～74歳 (n=640)	74.5	19.5	29.7	22.0	3.6	7.5	6.3	0.9	3.9
75～79歳 (n=473)	66.0	17.8	24.7	15.6	2.5	5.1	8.9	1.1	7.6
80～84歳 (n=307)	55.7	21.8	19.2	12.1	2.0	4.2	11.7	2.9	6.8
85歳以上 (n=206)	34.5	18.4	15.0	5.8	1.5	2.9	26.7	4.9	13.1
要介護度別									
自立 (n=2,076)	69.3	20.0	26.9	20.3	2.7	6.6	7.8	1.5	4.7
事業対象者 (n=26)	23.1	19.2	7.7	3.8	-	3.8	34.6	-	23.1
要支援1 (n=84)	34.5	20.2	14.3	3.6	2.4	3.6	26.2	9.5	13.1
要支援2 (n=53)	22.6	15.1	3.8	1.9	1.9	3.8	43.4	7.5	9.4
生活圏域別									
西の里地区 (n=210)	68.6	22.9	23.8	17.1	1.4	6.7	8.6	3.8	4.8
西地区 (n=601)	63.7	23.0	23.5	18.8	2.8	4.5	9.5	1.2	5.5
東部地区 (n=565)	66.0	19.1	26.7	19.8	2.3	7.4	11.2	1.6	6.0
北広島団地A地区 (n=408)	62.5	16.9	26.7	17.6	2.2	6.9	11.0	2.7	6.4
北広島団地B地区 (n=455)	72.5	18.0	27.3	20.4	4.0	7.3	7.3	1.8	3.7

問7. (5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください

- 全体では、「そのような人はいない」が約4割で最も高くなっている。
- 相談する相手がいると回答した中では、「医師・歯科医師・看護師」「高齢者支援センター（地域包括支援センター）・市役所」がそれぞれ約2割となっており、そのほかの相談相手は1割未満となっている。
- 要介護度別にみると、事業対象者以上は「ケアマネジャー」の割合が自立と比べて高く、「高齢者支援センター（地域包括支援センター）・市役所」の割合が自立と比べて低くなっている。

図表 2-8-9 家族や友人・知人以外で相談する相手（全体）



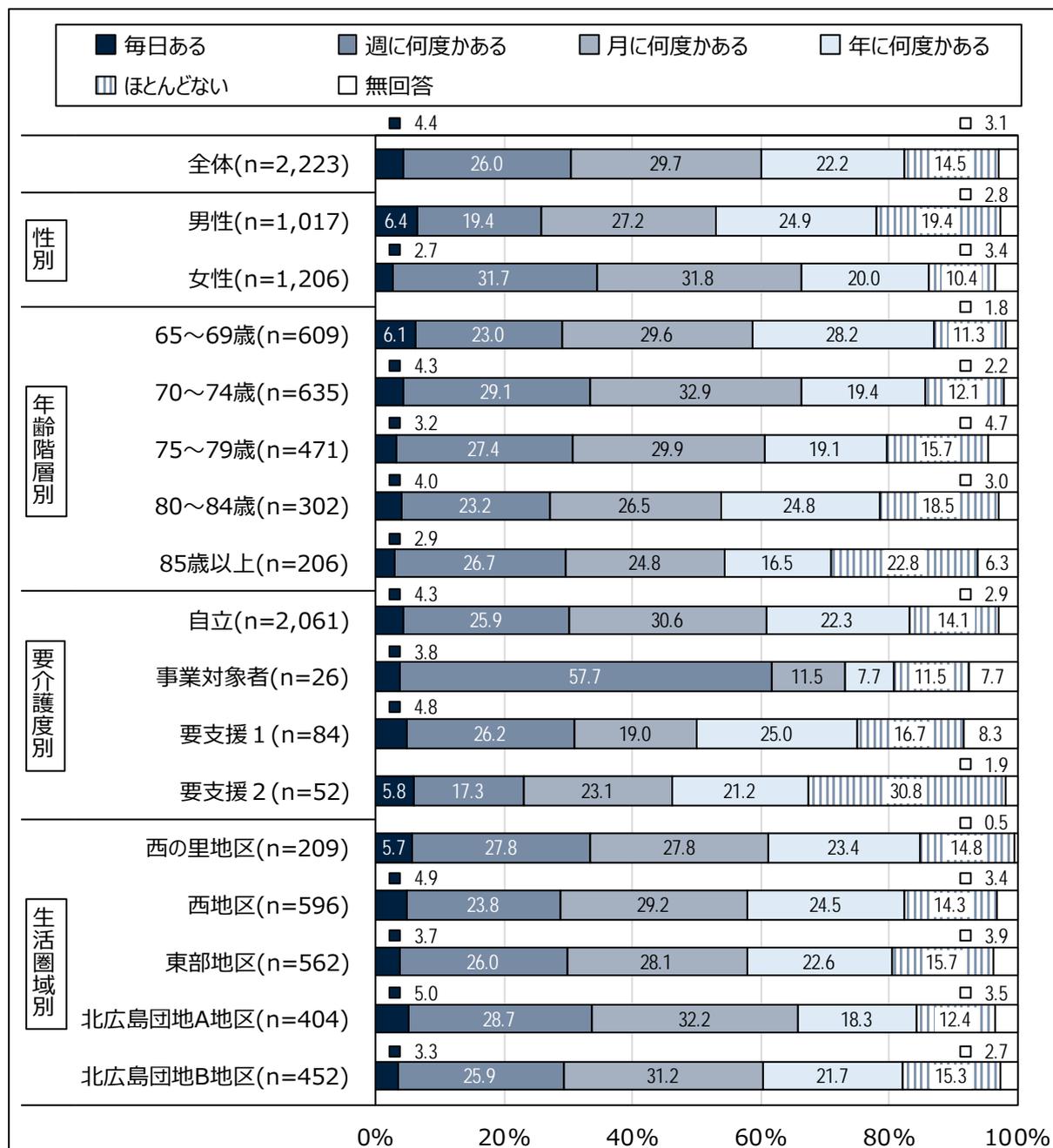
図表 2-8-10 家族や友人・知人以外で相談する相手（属性別）

	自治会・町内会・老人クラブ	社会福祉協議会・民生委員	ケアマネージャー	医師・歯科医師・看護師	高齢者支援センター（地域包括支援センター）・市役所	そのような人はいない	その他	無回答
全体 (n=2,239)	7.8	7.4	7.1	22.1	20.3	39.2	5.3	10.5
性別								
男性 (n=1,023)	10.3	8.2	5.5	22.8	17.5	43.3	4.6	8.6
女性 (n=1,216)	5.8	6.7	8.4	21.5	22.7	35.8	5.9	12.1
年齢階層別								
65～69歳 (n=613)	5.2	3.9	5.5	21.2	13.1	49.4	8.0	7.5
70～74歳 (n=640)	8.4	8.0	4.2	24.7	20.3	42.3	2.2	9.5
75～79歳 (n=473)	8.0	9.5	5.7	20.5	22.6	34.9	4.9	14.6
80～84歳 (n=307)	11.7	8.5	12.1	21.5	28.7	26.1	7.2	10.7
85歳以上 (n=206)	7.3	9.7	16.0	20.9	24.3	28.6	5.3	12.6
要介護度別								
自立 (n=2,076)	8.1	7.3	4.6	22.7	19.1	41.0	5.2	10.5
事業対象者 (n=26)	7.7	11.5	34.6	15.4	46.2	11.5	11.5	7.7
要支援1 (n=84)	3.6	6.0	33.3	10.7	36.9	17.9	7.1	13.1
要支援2 (n=53)	1.9	11.3	47.2	17.0	28.3	17.0	5.7	7.5
生活圏域別								
西の里地区 (n=210)	7.1	7.1	7.1	20.5	20.0	40.5	7.6	10.0
西地区 (n=601)	7.7	8.0	6.8	19.0	20.0	38.1	5.2	12.1
東部地区 (n=565)	7.4	8.8	6.9	23.0	20.9	39.1	3.4	11.0
北広島団地A地区 (n=408)	9.8	7.1	6.1	21.1	16.7	40.2	6.4	11.3
北広島団地B地区 (n=455)	7.0	5.3	8.4	26.6	23.5	39.3	5.9	7.3

### 問7. (6) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか

- ・全体では、『ある（年に何度か以上の合計）』は8割を占めている。
- ・性別にみると、男性は「ほとんどない」が約2割で女性と比べて高くなっている。
- ・年齢階層別にみると、年齢が高くなるにつれて「ほとんどない」の割合が高くなっている。
- ・要介護度別にみると、要支援2は「ほとんどない」が約3割で他の要介護度と比べて高くなっている。

図表 2-8-11 友人・知人と会う頻度

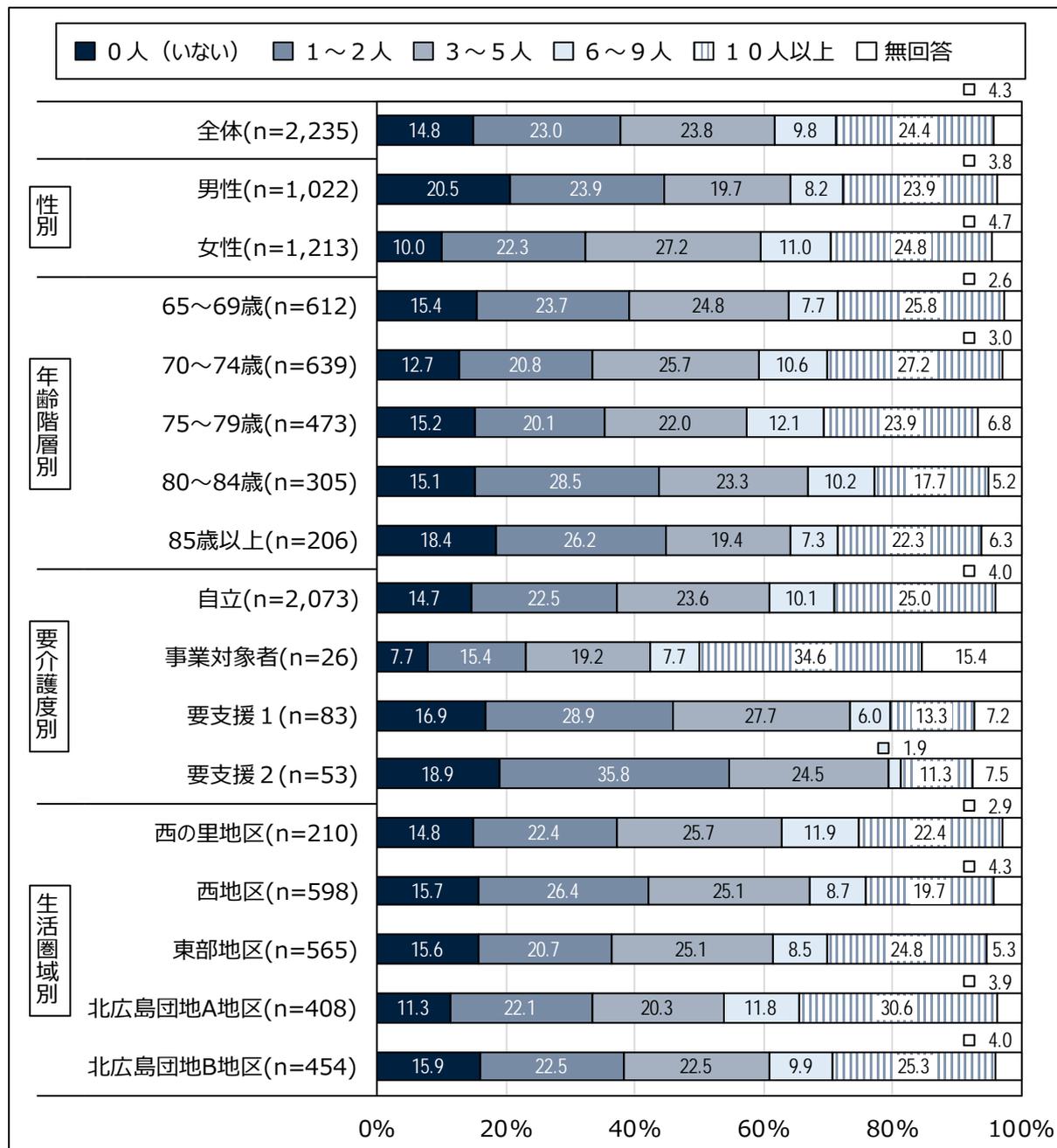


問7. (7) この1ヵ月間、何人の友人・知人と会いましたか

※同一人物は何度会っても1人とする

- ・全体では、『会った友人がいる（1人以上の合計）』は約8割を占めている。
- ・性別にみると、男性は「0人（いない）」が約2割で女性と比べて高くなっている。

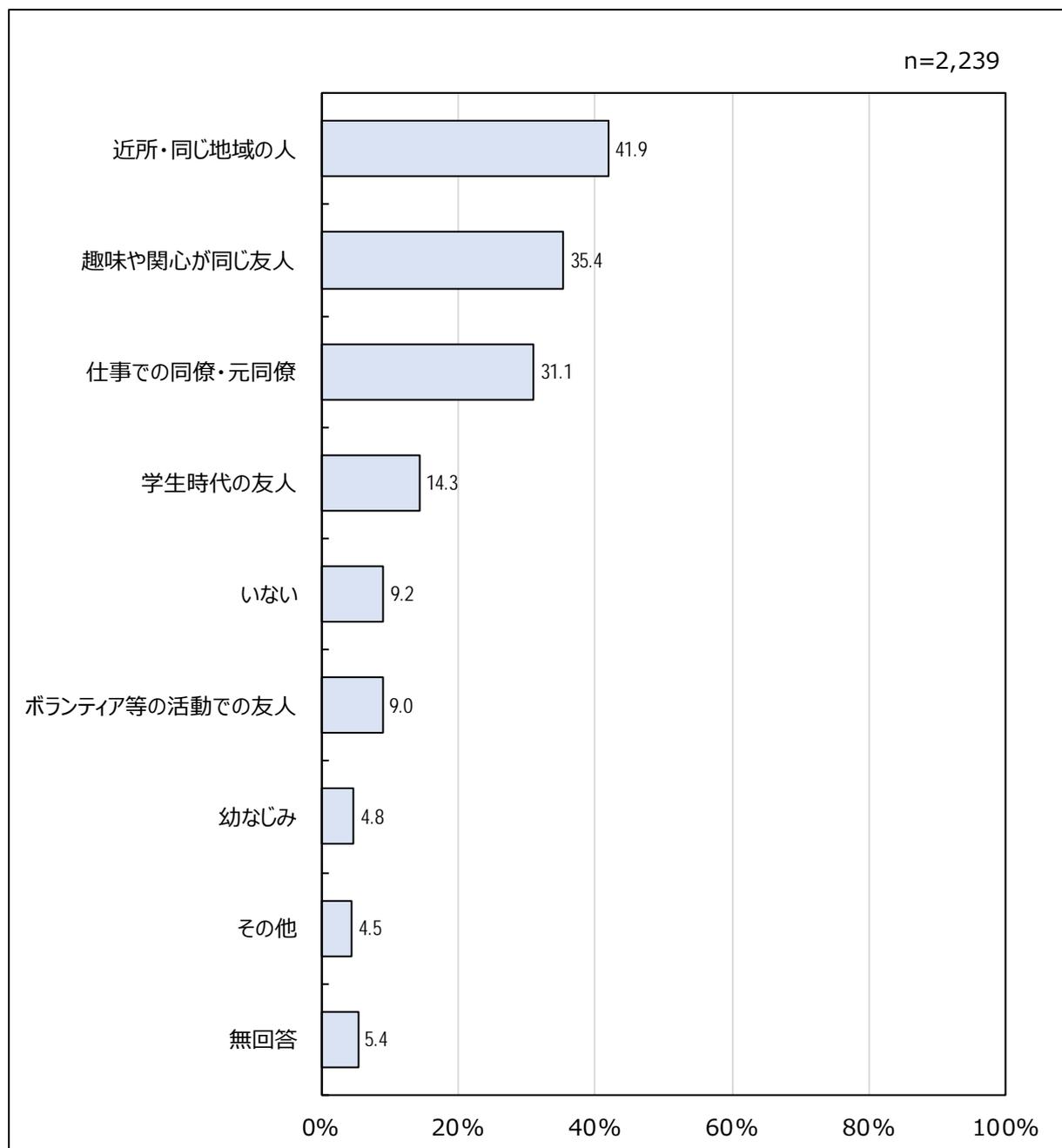
図表 2-8-12 この1ヵ月間に会った、友人・知人の数



### 問7. (8) よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか

- 全体では、「近所・同じ地域の人」の割合が約4割で最も高く、次いで「趣味や関心が同じ友人」「仕事での同僚・元同僚」となっている。
- 性別にみると、男性は「仕事での元同僚」の割合が女性と比べて高くなっている。また、女性は「近所・同じ地域の人」「趣味や関心が同じ友人」の割合が男性と比べて高くなっている。
- 年齢階層別にみると、年齢が高くなるにつれて「学生時代の友人」「仕事での同僚・元同僚」の割合が低くなっている。また、70歳以上は年齢が高くなるにつれて「いない」の割合が高くなっている。

図表 2-8-13 よく会う友人・知人の関係（全体）



図表 2-8-14 よく会う友人・知人の関係（属性別）

(%)

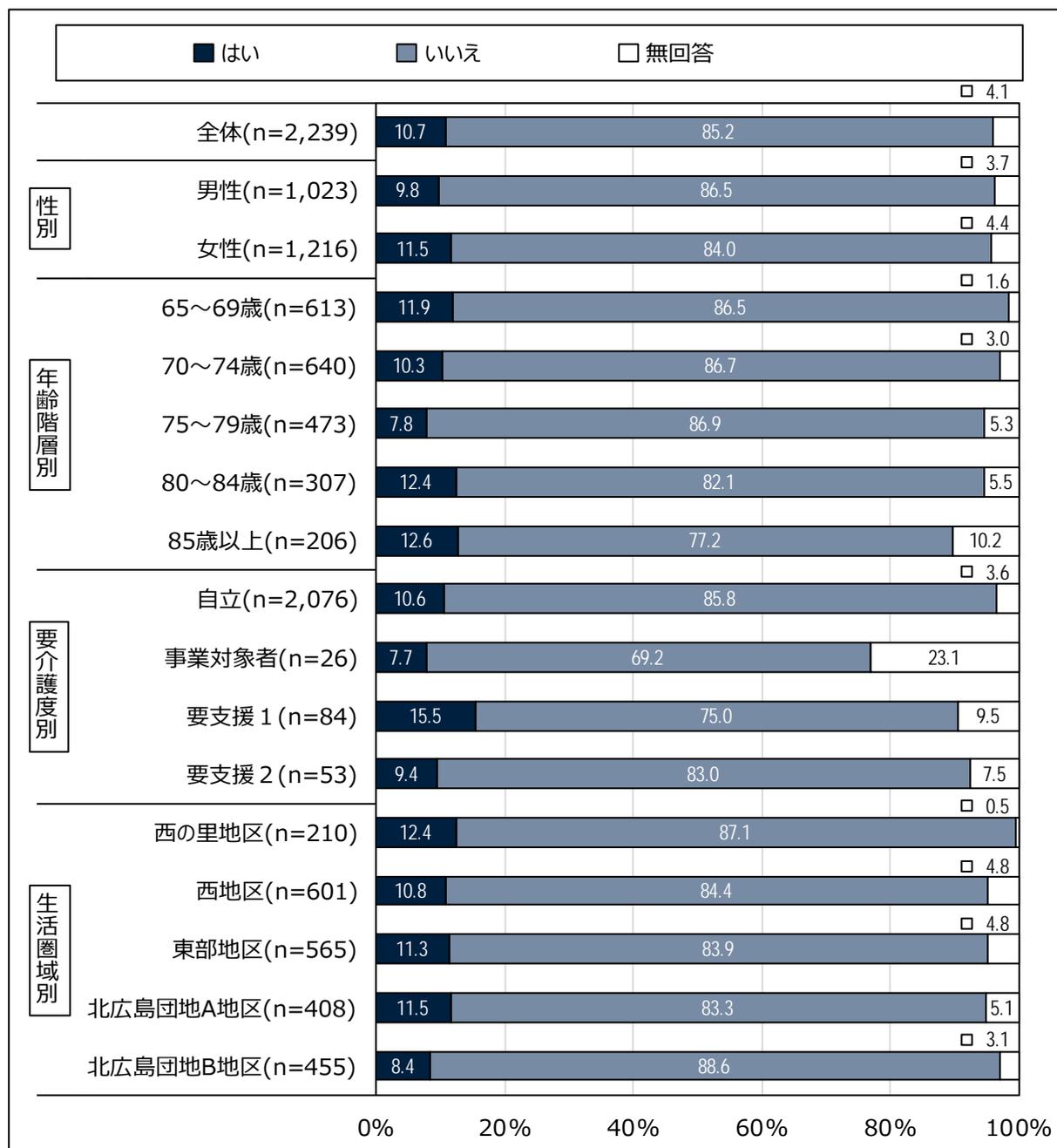
	近所・同じ地域の人	幼なじみ	学生時代の友人	仕事での同僚・元同僚	趣味や関心が同じ友人	ボランティア等の活動での友人	いない	その他	無回答
全体 (n=2,239)	41.9	4.8	14.3	31.1	35.4	9.0	9.2	4.5	5.4
性別									
男性 (n=1,023)	33.6	3.9	14.9	39.1	29.2	8.5	12.8	3.2	5.2
女性 (n=1,216)	48.9	5.5	13.9	24.3	40.6	9.4	6.1	5.6	5.5
年齢階層別									
65～69歳 (n=613)	37.0	6.7	19.2	49.6	30.7	6.9	8.5	4.7	2.0
70～74歳 (n=640)	44.8	4.7	17.3	33.8	39.5	10.8	7.5	2.5	4.5
75～79歳 (n=473)	42.3	4.2	11.6	21.6	42.1	11.6	9.3	4.0	7.4
80～84歳 (n=307)	47.2	4.9	11.1	17.3	30.9	7.2	10.7	6.8	6.5
85歳以上 (n=206)	38.8	0.5	1.5	10.2	28.2	6.3	13.6	7.8	11.7
要介護度別									
自立 (n=2,076)	41.9	4.9	15.0	32.9	36.2	9.4	8.9	3.9	4.9
事業対象者 (n=26)	57.7	-	3.8	3.8	46.2	11.5	3.8	11.5	15.4
要支援1 (n=84)	39.3	4.8	8.3	10.7	28.6	2.4	10.7	8.3	10.7
要支援2 (n=53)	39.6	1.9	1.9	5.7	9.4	1.9	20.8	17.0	9.4
生活圏域別									
西の里地区 (n=210)	48.1	4.3	16.7	32.4	31.9	6.7	10.0	5.2	1.0
西地区 (n=601)	43.4	4.8	10.8	33.6	29.6	8.2	8.7	4.7	5.8
東部地区 (n=565)	38.2	5.0	14.3	29.6	38.6	9.6	10.3	4.1	6.2
北広島団地A地区 (n=408)	41.4	5.6	15.4	30.9	39.2	9.8	6.6	4.9	6.9
北広島団地B地区 (n=455)	42.2	4.0	16.9	29.2	37.4	9.7	10.3	4.2	4.4

## 2. 9 認知症にかかる相談窓口の把握について

### 問8. (1) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか

- ・全体では、「はい」が約1割、「いいえ」が約9割となっている。
- ・要介護度別でみると、事業対象者は「いいえ」が7割未満で他の要介護度と比べて低くなっている。

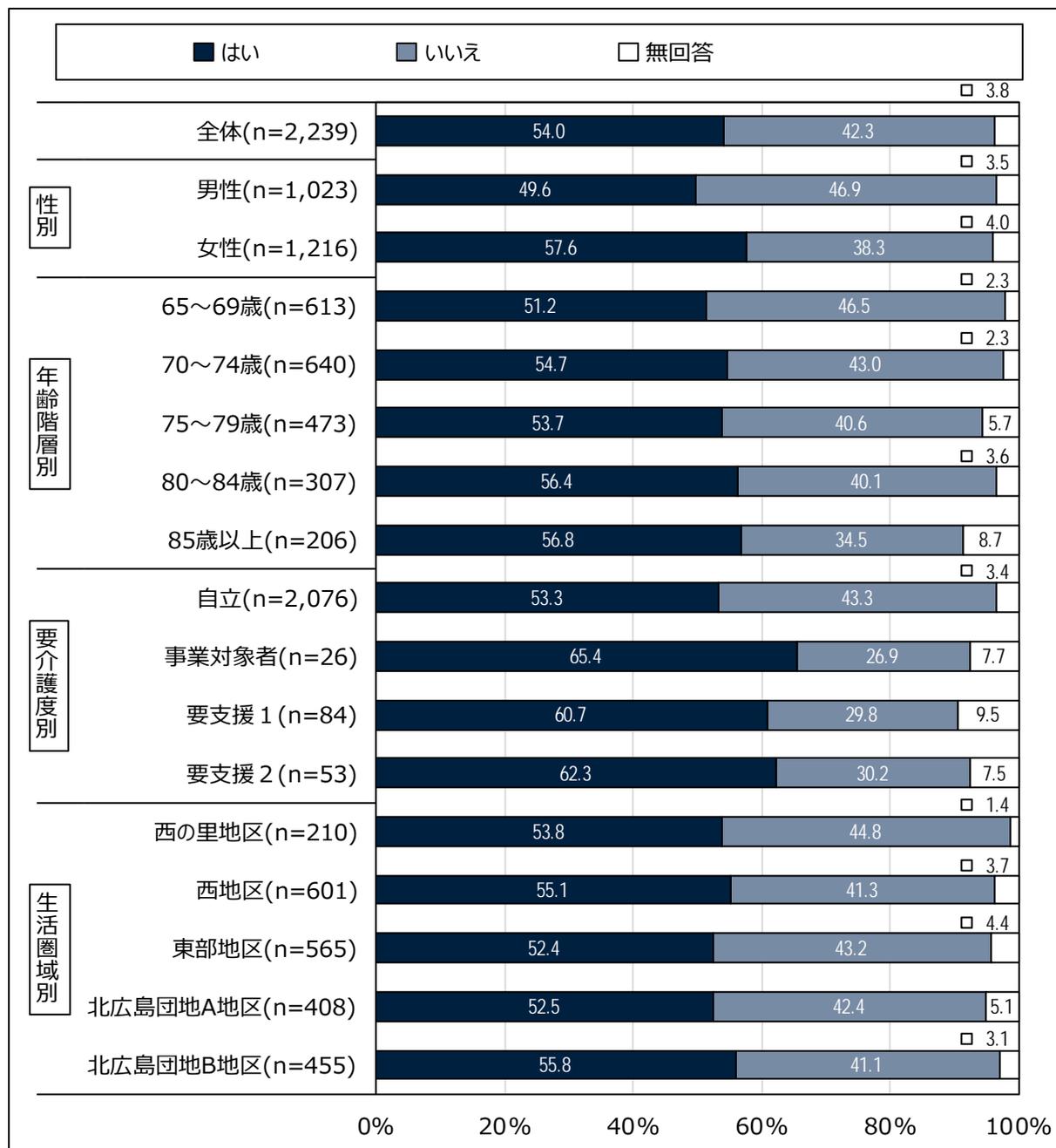
図表 2-9-1 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいるか



問 8. (2) 認知症に関する相談窓口（高齢者支援センター）を知っていますか

- 全体では、「はい」が約5割、「いいえ」が約4割となっている。
- 性別でみると、男性は「いいえ」が約5割で女性と比べて高くなっている。
- 要介護度別にみると、事業対象者以上は「はい」が6割以上で自立と比べて高くなっている。

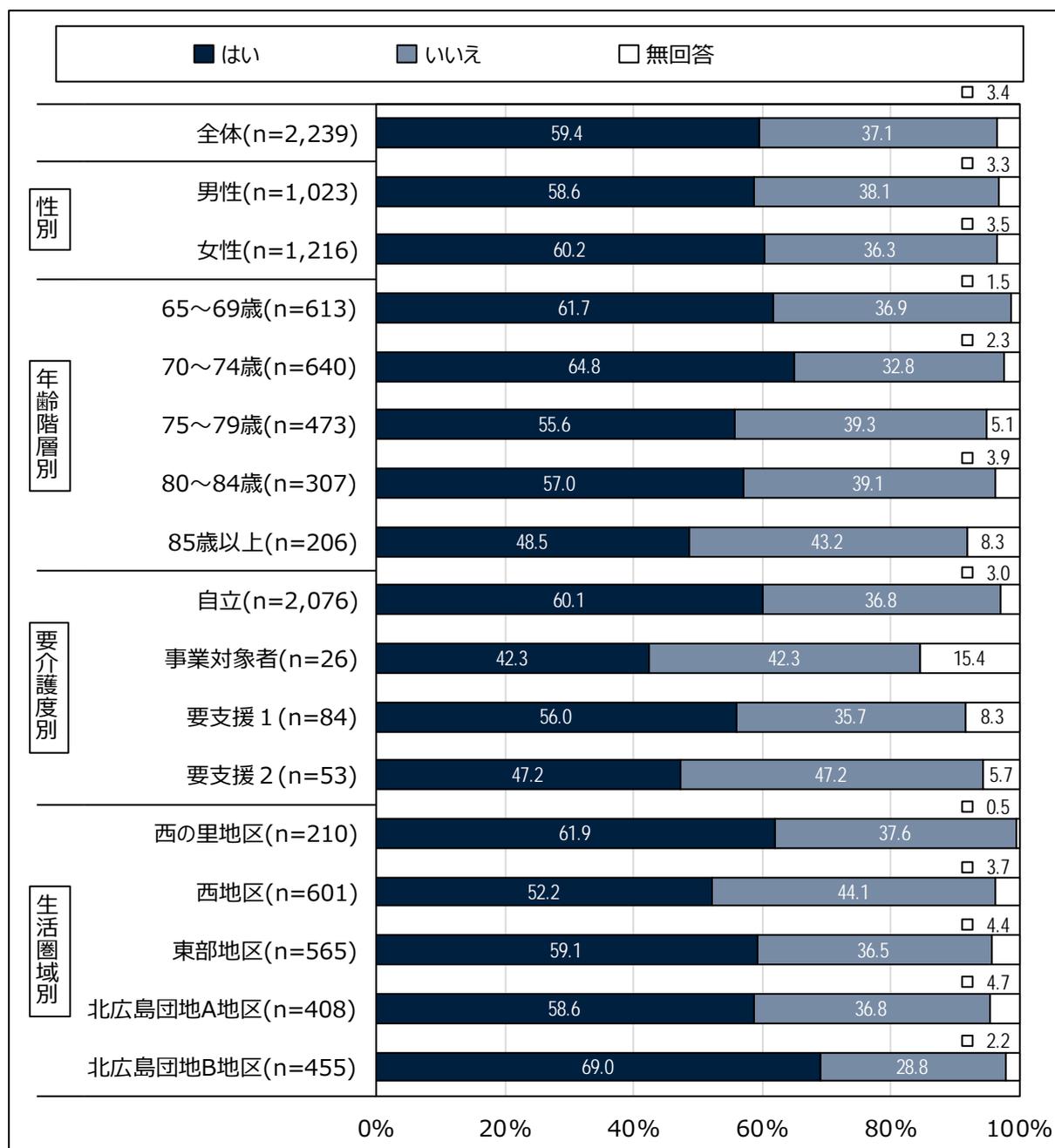
図表 2-9-2 認知症に関する相談窓口（高齢者支援センター）を知っているか



**問 8. (3) 認知症の方のお金の管理や契約などを支援する成年後見制度を知っていますか**

- 全体では、「はい」が約6割、「いいえ」が約4割となっている。
- 年齢階層別にみると、85歳以上は「いいえ」が4割以上で他の年齢階層と比べて高くなっている。
- 要介護度別にみると、事業対象者と要支援2は「いいえ」の割合が4割以上で自立と要支援1と比べて高くなっている。
- 生活圏域別にみると、西地区は「いいえ」が4割以上で他の生活圏域と比べて高くなっている。

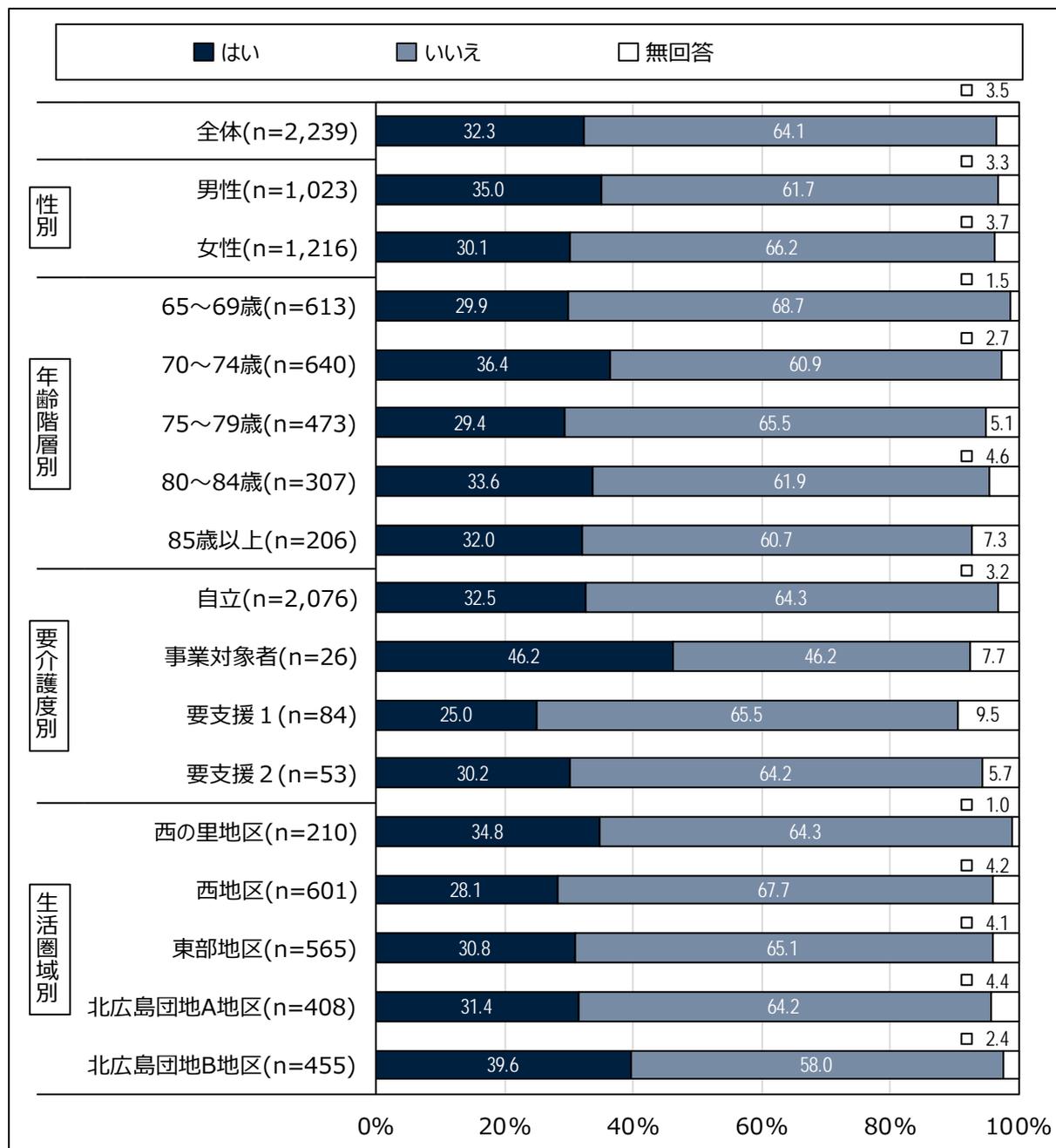
図表 2-9-3 認知症の方のお金の管理や契約などを支援する成年後見制度を知っているか



問 8. (4) 成年後見制度に関する相談窓口（北広島市成年後見センター）を知っていますか

- ・全体では、「はい」が約3割、「いいえ」が約6割となっている。
- ・要介護度別にみると、事業対象者は「いいえ」が約5割で、他の要介護度と比べて低くなっている。

図表 2-9-4 成年後見制度に関する相談窓口（北広島市成年後見センター）を知っているか



## 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 【調査票】

### 記入に際してのお願い

1. この調査票の対象は、令和元年10月1日現在、65歳以上の方です。
2. ご回答にあたっては、封筒に貼付したあて名のご本人についてお答えください。
3. ご家族の方がご本人の代わりに回答、又は一緒に回答されてもかまいません。
4. ご回答にあたっては、質問をよくお読みいただき、該当する番号を○で囲み、数字記入欄は、右詰めでご記入ください。
5. この調査で使う用語の意味は、以下の通りです。  

<b>介護</b>	… 介護保険のサービスを受けている場合のほか、認定を受けていない場合でも、常時ご家族などの援助を受けている状態
<b>介助</b>	… ご自分の意思により、一時的に他人に援助を頼んでいる状態
6. この調査についてのお問い合わせは下記までお願いします。
7. 調査票記入後は、3つ折りにして同封の返信用封筒（※切手不要）に入れ、12月27日（金）までにご返送ください。

【問い合わせ先】北広島市 保健福祉部 高齢者支援課

電話：011-372-3311（内線 2162・2163）

↓ こちらから記入してください

調査票記入日	令和 元 年 12 月 日
調査票を記入されたのはどなたですか。（該当するもの1つに○）	
1. あて名のご本人が記入	
2. ご家族が記入（あて名のご本人からみた続柄：	）
3. その他（具体的に：	）

質問に対し当てはまる項目の番号に○をつけ、数字記入欄は数字を記入してください

問 1   あなたのご家族や生活状況について	
(1) 家族構成をお教えてください (当てはまる項目 1 つに○)	
1. 1人暮らし	2. 夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)
3. 夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	4. 息子・娘との2世帯
5. その他 (具体的に: _____) )	
(2) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか (当てはまる項目 1 つに○)	
1. 介護・介助は必要ない⇒ (3) の質問へ	
2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない	(2)-1・(2)-2 の質問へ
3. 現在、何らかの介護を受けている (※介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)	
(2)-1. ※(2)で「1」以外を選択した方のみ回答 介護・介助が必要になった主な原因は何ですか (当てはまる項目すべてに○)	
1. 脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)	2. 心臓病
3. がん (悪性新生物)	
4. 呼吸器の病気 (肺気腫・肺炎等)	5. 関節の病気 (リウマチ等)
6. 認知症 (アルツハイマー病等)	7. パーキンソン病
8. 糖尿病	
9. 腎疾患 (人工透析等)	10. 視覚・聴覚障害
11. 骨折・転倒	
12. 脊椎損傷	13. 高齢による衰弱
14. 不明	
15. その他 (具体的に: _____) )	
(2)-2. ※(2)で「1」以外を選択した方のみ回答 主にどなたの介護・介助を受けていますか (当てはまる項目すべてに○)	
1. 配偶者 (夫・妻)	2. 息子
3. 娘	4. 子の配偶者
5. 孫	
6. 兄弟・姉妹	7. 介護サービスのヘルパー
8. その他 (具体的に: _____) )	
(3) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどのように感じていますか (当てはまる項目 1 つに○)	
1. 大変苦しい	2. やや苦しい
3. ふつう	
4. ややゆとりがある	5. 大変ゆとりがある
(4) お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか (当てはまる項目 1 つに○)	
1. 持家 (一戸建て)	2. 持家 (集合住宅)
3. 公営賃貸住宅	
4. 民間賃貸住宅 (一戸建て)	5. 民間賃貸住宅 (集合住宅)
6. 借家	
7. その他 (具体的に: _____) )	

※国の修正により、問1(2)-2は問1(2)で「3」を選択した方のみ回答



### 問3 からだを動かすことについて

(1) 階段を手すりや壁をつたわずに上っていますか (当てはまる項目1つに○)

1. できるし、している    2. できるけどしていない    3. できない

(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか (当てはまる項目1つに○)

1. できるし、している    2. できるけどしていない    3. できない

(3) 15分位続けて歩いていますか (当てはまる項目1つに○)

1. できるし、している    2. できるけどしていない    3. できない

(4) 過去1年間に転んだ経験がありますか (当てはまる項目1つに○)

1. 何度もある    2. 1度ある    3. ない

(5) 転倒に対する不安は大きいですか (当てはまる項目1つに○)

1. とても不安である    2. やや不安である    3. あまり不安でない    4. 不安でない

(6) 週に何回外出していますか (当てはまる項目1つに○)

1. ほとんど外出しない    2. 週1回    3. 週2~4回    4. 週5回以上

(7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか (当てはまる項目1つに○)

1. とても減っている    2. 減っている    3. あまり減っていない    4. 減っていない

(8). 外出を控えていますか (当てはまる項目1つに○)

1. はい (8)-1の質問へ    2. いいえ ⇒ (9)の質問へ

(8)-1. ※ (8)で「1」を選択した方のみ回答

外出を控えている理由は、次のどれですか (当てはまる項目すべてに○)

- |                       |                   |
|-----------------------|-------------------|
| 1. 病気                 | 2. 障害 (脳卒中の後遺症など) |
| 3. 足腰などの痛み            | 4. トイレの心配 (失禁など)  |
| 5. 耳の障害 (聞こえの問題など)    | 6. 目の障害           |
| 7. 外での楽しみがない          | 8. 経済的に出られない      |
| 9. 交通手段がない            |                   |
| 10. その他 (具体的に: _____) |                   |

<b>(9) 外出する際の移動手段は何ですか (当てはまる項目すべてに○)</b>		
1. 徒歩	2. 自転車	3. バイク
4. 自動車 (自分で運転)	5. 自動車 (人に乗せてもらう)	6. 電車
7. 路線バス	8. 病院や施設のバス	9. 車いす
10. 電動車いす (カート)	11. 歩行器・シルバーカー	12. タクシー
13. その他 (具体的に：		)

<b>問4   食べることについて</b>		
<b>(1) 身長・体重 (それぞれの枠内に数字を記入)</b>		
身長：約	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> cm	／ 体重：約 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> kg (記入例) <input type="text" value="0"/> <input type="text" value="6"/> <input type="text" value="3"/> kg
<b>(2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか (当てはまる項目1つに○)</b>		
1. はい <span style="margin-left: 200px;">2. いいえ</span>		
<b>(3) お茶や汁物等でむせることがありますか (当てはまる項目1つに○)</b>		
1. はい <span style="margin-left: 200px;">2. いいえ</span>		
<b>(4) 口の渴きが気になりますか (当てはまる項目1つに○)</b>		
1. はい <span style="margin-left: 200px;">2. いいえ</span>		
<b>(5) 歯磨き (人にやってもらう場合も含む) を毎日していますか (当てはまる項目1つに○)</b>		
1. はい <span style="margin-left: 200px;">2. いいえ</span>		
<b>(6) 噛み合わせは良いですか (当てはまる項目1つに○)</b>		
1. はい <span style="margin-left: 200px;">2. いいえ</span>		

<p>(7) 歯の数と入れ歯の利用状況を教えてください (当てはまる項目 1つに○)          (※成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です)</p>		
<p>1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用          3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用</p> <p>「1」又は「3」を選択          (7)-1の質問へ</p>	<p>2. 自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし          4. 自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし</p> <p>「2」又は「4」を選択          ⇒ (8)の質問へ</p>	
<p>(7)-1. ※ (7) で「1」又は「3」のいずれかを選択した方のみ回答          毎日入れ歯の手入れをしていますか (当てはまる項目 1つに○)</p>		
1. はい	2. いいえ	
<p>(8) 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか (当てはまる項目 1つに○)</p>		
1. はい	2. いいえ	
<p>(9) どなたかと食事をとる機会がありますか (当てはまる項目 1つに○)</p>		
1. 毎日ある	2. 週に何度かある	3. 月に何度かある
4. 年に何度かある	5. ほとんどない	

問5   毎日の生活について			
(1) 物忘れが多いと感じますか (当てはまる項目1つに○)			
1. はい	2. いいえ		
(2) 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか (当てはまる項目1つに○)			
1. はい	2. いいえ		
(3) 今日が何月何日かわからない時がありますか (当てはまる項目1つに○)			
1. はい	2. いいえ		
(4) バスや電車 (自家用車でも可) を使って1人で外出していますか (当てはまる項目1つに○)			
1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない	
(5) 自分で食品・日用品の買い物をしていますか (当てはまる項目1つに○)			
1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない	
(6) 自分で食事の用意をしていますか (当てはまる項目1つに○)			
1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない	
(6) -1. ※(6)で、「3」を選択した方のみ回答 どなたが食事の用意をしていますか (当てはまる項目すべてに○)			
1. 同居の親族	2. 同居ではない親族	3. 知人	4. 業者等
5. その他(具体的に: )			
(7) 自分で請求書の支払いをしていますか (当てはまる項目1つに○)			
1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない	
(8) 自分で預貯金の出し入れをしていますか (当てはまる項目1つに○)			
1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない	
(9) 年金などの書類 (役所や病院などに出す書類) が書けますか (当てはまる項目1つに○)			
1. はい	2. いいえ		
(10) 新聞を読んでいますか (当てはまる項目1つに○)			
1. はい	2. いいえ		

<b>(11) 本や雑誌を読んでいますか (当てはまる項目1つに○)</b>	
1. はい	2. いいえ
<b>(12) 健康についての記事や番組に関心がありますか (当てはまる項目1つに○)</b>	
1. はい	2. いいえ
<b>(13) 友人の家を訪ねていますか (当てはまる項目1つに○)</b>	
1. はい	2. いいえ
<b>(14) 家族や友人の相談にのっていますか (当てはまる項目1つに○)</b>	
1. はい	2. いいえ
<b>(15) 病人を見舞うことができますか (当てはまる項目1つに○)</b>	
1. はい	2. いいえ
<b>(16) 若い人に自分から話しかけることがありますか (当てはまる項目1つに○)</b>	
1. はい	2. いいえ
<b>(17) 趣味はありますか (当てはまる項目1つに○)</b>	
1. 趣味あり (趣味の内容 : _____ )	
2. 思いつかない	
<b>(18) 生きがいがありますか (当てはまる項目1つに○)</b>	
1. 生きがいあり (生きがいの内容 : _____ )	
2. 思いつかない	
<b>(19) どなたがご自宅の除雪作業をしていますか (当てはまる項目1つに○)</b>	
1. 自分または同居の家族	2. 同居ではない親族
3. 知人	4. 業者等
5. 除雪の必要がない (住宅の管理人がしてくれる等)	6. できないため、していない
7. その他 (具体的に : _____ )	

## 問6 | 地域での活動について

(1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの程度で参加していますか  
(※①～⑧の全ての項目について、それぞれ当てはまる数字1つに○)

	週4回 以上	週2～ 3回	週1回	月1～ 3回	年に 数回	参加して いない
記入例) 趣味関係のグループ (「週1回」の場合)	1	2	③	4	5	6
①ボランティアのグループ	1	2	3	4	5	6
②スポーツ関係のグループや クラブ	1	2	3	4	5	6
③趣味関係のグループ	1	2	3	4	5	6
④学習・教養サークル	1	2	3	4	5	6
⑤介護予防のための通いの場 (体操、脳トレ、茶話会等)	1	2	3	4	5	6
⑥老人クラブ	1	2	3	4	5	6
⑦町内会・自治会	1	2	3	4	5	6
⑧収入のある仕事	1	2	3	4	5	6

(2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか (当てはまる項目1つに○)

1. 是非参加したい    2. 参加してもよい    3. 参加したくない    4. 既に参加している

(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか (当てはまる項目1つに○)

1. 是非参加したい    2. 参加してもよい    3. 参加したくない    4. 既に参加している

**問7 | たすけあいについて（あなたとまわりの人の「たすけあい」）**

**(1) あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人（当てはまる項目すべてに○）**

1. 配偶者      2. 同居の子ども      3. 別居の子ども      4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫  
5. 近隣      6. 友人      7. そのような人はいない  
8. その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )

**(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人（当てはまる項目すべてに○）**

1. 配偶者      2. 同居の子ども      3. 別居の子ども      4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫  
5. 近隣      6. 友人      7. そのような人はいない  
8. その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )

**(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話役をしてくれる人  
（当てはまる項目すべてに○）**

1. 配偶者      2. 同居の子ども      3. 別居の子ども      4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫  
5. 近隣      6. 友人      7. そのような人はいない  
8. その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )

**(4) 反対に、看病や世話をしてあげる人（当てはまる項目すべてに○）**

1. 配偶者      2. 同居の子ども      3. 別居の子ども      4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫  
5. 近隣      6. 友人      7. そのような人はいない  
8. その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )

**(5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください  
（当てはまる項目すべてに○）**

1. 自治会・町内会・老人クラブ      2. 社会福祉協議会・民生委員      3. ケアマネージャー  
4. 医師・歯科医師・看護師      5. 高齢者支援センター（地域包括支援センター）・市役所  
6. そのような人はいない  
7. その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )

**(6) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか（当てはまる項目1つに○）**

1. 毎日ある      2. 週に何度かある      3. 月に何度かある  
4. 年に何度かある      5. ほとんどない

(7) この1ヵ月間、何人の友人・知人と会いましたか (当てはまる項目1つに○) (※同じ人には何度会っても1人と数えることとします)		
1. 0人 (いない)	2. 1~2人	3. 3~5人
4. 6~9人	5. 10人以上	
(8) よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか (当てはまる項目すべてに○)		
1. 近所・同じ地域の人	2. 幼なじみ	3. 学生時代の友人
4. 仕事での同僚・元同僚	5. 趣味や関心が同じ友人	
6. ボランティア等の活動での友人	7. いない	
8. その他 (具体的に : _____ )		

問 8   認知症にかかる相談窓口の把握について	
(1) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか (当てはまる項目1つに○)	
1. はい	2. いいえ
(2) 認知症に関する相談窓口 (高齢者支援センター) を知っていますか (当てはまる項目1つに○)	
1. はい	2. いいえ
(3) 認知症の方のお金の管理や契約などを支援する成年後見制度を知っていますか (当てはまる項目1つに○)	
1. はい	2. いいえ
(4) 成年後見制度に関する相談窓口 (北広島市成年後見センター) を知っていますか (当てはまる項目1つに○)	
1. はい	2. いいえ

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

記入もれがないか、今一度お確かめください。

調査票を切り離すことなく、3つ折りにしていただき、同封した返信用封筒  
(※切手不要) で、令和元年12月27日 (金) までに投函してください。



## 介護予防・日常生活圏域二一ズ調査報告書

発行：令和2年3月

企画・編集：北広島市保健福祉部高齢者支援課

〒061-1192 北広島市中央4丁目2番地1

電話 011-372-3311（代表）